

目黒区美術館 年報 平成7年度

目黒区美術館 年報
平成7年度

目次

I. 展覧会	4
II. 教育普及	49
III. 入館状況	54
IV. 作品収集	55
V. 作品等貸出	56
VI. 刊行	58
VII. 区民ギャラリー	59
VIII. ボランティア	61
IX. 名簿	62
X. 施設	63
XI. 沿革	64
XII. 案内	64

1. 展覧会

戦後文化の軌跡 1945-1995

会期：1995(平成7)年4月19日～6月4日(41日間)

会場：展示室ABC, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール, 区民ギャラリー,
区民センター展示室

主催：目黒区, 目黒区教育委員会, 目黒区美術館, 朝日新聞社

協賛：資生堂, 竹中工務店, ハザマ, プレスキット

協力：松下電気

担当学芸員：正木基, 家村珠代

巡回スケジュール：1995年6月14日～7月21日 広島市現代美術館

8月15日～9月24日 兵庫県立近代美術館

10月8日～11月5日 福岡県立美術館

本展は、戦後50年を記念して、美術を中心に、写真、グラフィック・デザイン、インダストリアル・デザイン、建築、ファッション、生け花、漫画、映像など総計600点余りにより、戦後視覚文化の総合的な検証を意図したものです。その背景には、1970年代から美術館建設が相次ぎ、その後それらの美術館を中心に、戦後美術史ならびにその周辺の視覚文化を時代ごと、あるいはジャンルごとに再検証する実績が積み上げられたという事実があり、本展はそれらの業績を踏まえ、さらに検討を加えることで戦後の視覚文化を総合しての回顧検証を行い、ポスト戦後への道筋を探った。

関連催事：①シンポジウム・戦後社会と視覚文化

②ミュージック・イン・ミュージアム

③映像表現の戦後

●カタログ

寸法：21.0×29.7cm

ページ数：288ページ

内容：はじめに(主催者)／世界史のなかの戦後日本と文化(多木浩二)／戦後視覚文化の回顧(戦後文化の軌跡研究会)／混乱から立ち上がる敗戦直後の美術(出原均)／戦後写真のアクチュアリティー(中島徳博)／“欠落感”を引きずる戦後の家族(家村珠代)／リアリズムとアヴァンギャルドの50年代美術(西本匡伸)／解体に向かうマンガ・メディア(村上知彦)／建築に見る「戦後」概念の風化(松葉一清)／理念と自由を求める日本画・陶芸・書(中島徳博)／前衛いけばなの興亡1945-55頃(川浪千鶴)／「美術と/の映画」の50年代・60年代(正木基)／東京国際版画ビエンナーレと版画概念の拡散(正木基)／過剰と沸騰の60年代美術(山崎均)／東京オリンピックのデザイン(家村珠代)／大阪万博と生活の未来(山崎均)／戦後デザインの根拠(柏木博)／小劇場運動以後の現代演劇(扇田昭彦)／西欧モダニズムを懐疑し、逸脱する現代美術(建島哲, 帯金章郎)／世界性をもった日本のファッション・デザイン(深井晃子)／テレビCMの前衛性(藤本圭太)／戦後文化史年表(石井亜矢子)／主要参考文献(石井亜矢子)／出品リスト／謝辞

●ポスター

サイズ：B1, B2, B3

デザイン：横尾忠則

●チラシ

サイズ：A3二つ折

デザイン：横尾忠則

サイズ：B4二つ折

デザイン：山田勇男



B2 ポスター

●主要関連記事

多彩に並ぶ「文化」、迫る「空洞化」 田中三蔵 朝日新聞夕刊1995年5月9日
 時代を読み取らせる「戦後文化の軌跡」展 三田晴夫 毎日新聞夕刊1995年5月1日
 「戦後」展への批判と回答 読売新聞夕刊 1995年5月20日
 「50年の横断的通史の試み」 松村寿雄 産経新聞1995年5月21日
 「過去の組み立て誘う」 山梨俊夫 東京新聞夕刊1995年4月28日

「創造生む混とん」 宝玉正彦 日経新聞 1995年5月15日
 「A look back at 50 years of postwar art in Japan」 Tatsumi Sinoda ASAHI EVENING NEWS 1995年5月14日
 「Everything but the kitchen sink」 Joel Perron THE DAILY YOMIURI 1995年5月5日
 「Giappone: the day after tra occidentalizzazione e tradizione」 Gian Carlo Calza IL GIORNALE DELL'ARTE 1995年



会場風景



会場風景

出品目録

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
I a 1 1	浜田知明	焼け跡のスケッチ	1945	コンテ・紙	22.5×27.5
I a 1 2	浜田知明	焼け跡のスケッチ	1945	コンテ・紙	22.5×27.5
I a 1 3	浜田知明	焼け跡のスケッチ	1945	コンテ・紙	27.5×22.5
I a 1 4	浜田知明	焼け跡のスケッチ	1946	コンテ・紙	27.5×22.5
I a 2	松本竣介	焼け跡の橋	1945	インク・墨・紙	31.0×47.0
I a 3	向井潤吉	まひる	1946	油彩・キャンバス	148.2×202.6
I a 5	香月泰男	埋葬	1948	油彩・キャンバス	72.2×117.1
I a 6	福沢一郎	敗戦群像	1948	油彩・キャンバス	193.9×259.1
I a 7	北脇昇	クオ・ヴァディス	1949	油彩・キャンバス	91.0×117.0
I a 9	古沢岩美	唄えない夜	1949	油彩・キャンバス	116.5×91.0
I a 10	丸木位里・俊	原爆の図 夜	1950	紙本墨画	各174.0×90.0 (双幅)
I a 11	麻生三郎	ひとり	1951	油彩・キャンバス	90.8×72.8
I b 1	濱谷浩	8月15日の太陽	1945	ゼラチン・シルバー・プリント	20.0×30.0
I b 2 1	林忠彦	太宰治	1946	ゼラチン・シルバー・プリント	57.0×38.0
I b 2 2	林忠彦	太宰治	1948	小説新潮 1 948.1	
I b 3	林忠彦	織田作之助	1946	ゼラチン・シルバー・プリント	57.0×38.0
I b 4 1	林忠彦	坂口安吾	1948	ゼラチン・シルバー・プリント	57.0×85.0
I b 4 2	林忠彦	坂口安吾	1948	小説新潮 1 948.1	
I b 5 1	木村伊兵衛	秋田市仁井田「秋田」より	1952	ゼラチン・シルバー・プリント	22.6×32.4
I b 5 2	木村伊兵衛	秋田市追分「秋田」より	1953	ゼラチン・シルバー・プリント	22.6×32.5
I b 5 3	木村伊兵衛	秋田市大曲「秋田」より	1953	ゼラチン・シルバー・プリント	32.6×21.4
I b 6	木村伊兵衛	『傑作写真集』	1954	写真集	
I b 7	木村伊兵衛	『外遊写真集』	1955	写真集	
I b 8	木村伊兵衛	『ヨーロッパの印象-第2回外遊写真集』	1956	写真集	
I b 9 1	土門拳	「こどもたち」より	1955	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2×35.2
I b 9 2	土門拳	紙芝居「こどもたち」より	1955	ゼラチン・シルバー・プリント	23.3×35.2
I b 10 1	土門拳	左顔面醜形癩痕植皮「ヒロシマ」より	1957	ゼラチン・シルバー・プリント	35.0×23.2

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
I b 10 2	土門拳	『ヒロシマ』	1958		
I b 11	土門拳	『筑豊のこどもたち』	1960		
I b 12	土門拳	『るみえちゃんはお父さんが死んだー続・筑豊のこどもたち』	1960		
I b 13 1	木村伊兵衛	『写真』	1950		
I b 13 2	菊池俊吉ほか	『広島ー戦争と都市』	1952		
I b 13 3	影山光洋	『戦争と日本人 あるカメラマンの記録』	1953		
I b 13 4	東松照明ほか	『水害と日本人』	1954		
I b 13 5	東松照明	『やきものの町ー瀬戸』	1955		
I b 13 6	名取洋之助	『北京』	1957		
I b 13 7	名取洋之助	『江南ー蘇州・紹興など』	1957		
I b 13 8	名取洋之助	岩波写真文庫『四川ー揚子江など』	1957		
I b 13 9	名取洋之助	『麦積山』	1957		
I b 13 10	名取洋之助	『広州ー大同一中国 南から北へ』	1957		
I b 14 1	濱谷浩	『怒りと悲しみの記録』	1960		
I b 14 2	濱谷浩, 東松照明ほか	『主権者の怒り』	1960		
I b 14 3	主婦と生活労組写真班	『網ばしごと鉄かぶと 主婦と生活労組318日斗争写真集』	1960		
I b 14 4	三池労組写真班	『三池ー200日の闘いの記録』	1960		
I b 14 5	ジャパン・プレス写真部ほか	『ゆるせない日からの記録』	1960		
I b 14 6	永田登三	『ヒロシマ・1960』	1960		
I b 14 7	河又松次郎	『小児マヒとたたかう母と子』	1961		
I c 1 1	前川國男	プレモス 7型	1946	平面図	
I c 1 2	前川國男	プレモス 7型	1946	外壁パネル詳細図	
I c 1 3	前川國男	プレモス 721型(73型)	1947	写真	
I d 1		電気パン焼き器	1945-48頃	木材, 金属	12.0×19.0×11.0
I d 2		進駐軍向け家庭用電気製品 (写真・説明書)	1946-48		
I d 3		雑誌『工芸ニュース』	1946-48		
I d 4		電熱器	1948頃	不明(ニクロム線, 素焼き)	7.0×18.0×18.0
I d 5		「ラビットスクータ S-23型」	1950	金属, ゴム等	100.0×66.0×165.0
I e 1	長谷川町子	『サザエさん』	1947		
I e 2	画: 手塚治虫 原案: 酒井七馬	『新宝島』(育英出版)	1946		
I e 3	手塚治虫	『ロストワールド (前世紀)』(不二書房)	1948		
I e 4	手塚治虫	『メトロポリス(大都会)』(育英出版)	1949		
I e 5	チック・ヤング	『ブロンディ』(朝日新聞社)	1947		13.9×20.5
I e 6	横井福次郎	『不思議な国のプッチャー』	1948		
I e 7	永松健夫	「黄金バット」	1948	『冒険活劇文庫』創刊号(明々社)	
I e 8	小松崎茂	「地球SOS」	1948	『冒険活劇文庫』第2号(明々社)	
I e 9		赤本・ポケット本	1950年前後		
I f 1		『装苑』(文化服装学院出版部)	1946年7月号, 8月号, 9月10月合併号		
I f 2		『ソレイユ』(ひまわり社)	1946年8月号, 1947年 2月号, 1948年7月号		3冊
I f 3		『美しい暮しの手帖』(衣装研究所)	創刊号ほか		
I f 4		『ドレスメーカー』(鎌倉書房)	創刊号ほか		25.7×18.2
I h 1 1		カストリ雑誌『赤と黒』創刊号(リフアイン社)	1946	雑誌	
I h 1 2		カストリ雑誌『猟奇』創刊号(茜書房)	1946	雑誌	
I h 1 3		カストリ雑誌『くいーん』第1巻第3号(くいーん社)	1947	雑誌	
I h 1 4		カストリ雑誌『ナンバーワン』創刊号(ナンバーワン社)	1947	雑誌	
I h 1 5		カストリ雑誌『猟奇』第5号(茜書房)	1947	雑誌	
I h 1 6		カストリ雑誌『文化グラフ[S]』第9号(展望社)	1947	雑誌	
I h 1 7		カストリ雑誌『Venus』第1巻第1号(耽美館)	1947	雑誌	
I h 1 8		カストリ雑誌『探奇クラブ』(漫画書院)	1947	雑誌	
I h 1 9		カストリ雑誌『狂艶』第3号(興文社)	1947	雑誌	
I h 1 10		カストリ雑誌『探偵小説: 江戸川乱歩・ 大下宇陀児・木々高太郎3人集』(白亜書房)	1947	雑誌	

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
I h 1 11	江戸川乱歩	カストリ雑誌『OK(オーケー)』創刊号(オーケー社)	1947	雑誌	
I h 1 12		カストリ雑誌『地獄風景』(白亜書房)	1947	雑誌	
I h 1 13		カストリ雑誌『犯罪読物』創刊号(犯罪科学社)	1947	雑誌	
I h 1 14		カストリ雑誌『犯罪百面相』1巻3号(出版研究社)	1947	雑誌	
I h 1 15		カストリ雑誌『官能』創刊特別号(メトロ・ペンクラブ)	1948	雑誌	
I h 1 16		カストリ雑誌『新世相』創刊号(新世相社)	1948	雑誌	
I h 1 17		カストリ雑誌『マダム』1巻2号(マダム社)	1948	雑誌	
I h 1 18		カストリ雑誌『パン』1号(新世社)	1948	雑誌	
II a 1	岡本太郎	重工業	1949	油彩・キャンバス	206.0×266.5
II a 2	村井正誠	黄色い太陽	1950	油彩・キャンバス	161.5×130.5
II a 3	山元恵一	貴方を愛する時と憎む時	1951	油彩・合板	91.8×183.2
II a 4	漆原英子	MICROCOSM	1951	油彩・キャンバス	64.8×53.2
II a 5	実験工房	実験工房発表会プログラム・案内状	1951-55	リーフレット, はがき	14点
II a 6 1	山口勝弘, 北代省三ほか	連載写真コラム「APN」			
II a 6 2	山口勝弘	「APN」のための構成	1953	写真(撮影:大辻清司)	
II a 7	実験工房	水泡は創られる	1953	オートスライド	6分20秒
II a 8	実験工房	試験飛行家 W・S 氏の眼の冒険	1953	オートスライド	4分40秒
II a 9	実験工房	見知らぬ世界の話	1953	オートスライド	9分40秒
II a 10	実験工房	オートスライド制作風景(写真)	1953		
II a 11	実験工房ほか	A. ジロー原作/A. シェーンベルク作曲 「月に憑かれたピエロ」(写真 撮影:北代省三)	1955	原作:A. ジロー/ 作曲:A. シェーンベルク/ 制作・演出:武智鉄二/ 訳詩:秋山邦晴/ 装置・仮面デザイン:北代省三/ 衣装:福島秀子/照明:今井直次	
II a 12	内田巖	一九五二年	1952	油彩・キャンバス	130.5×193.8
II a 13	桂川寛	小河内村	1952	油彩・キャンバス	97.2×145.7
II a 14	箕田源二郎, 中山正, 島田澄也, 桂川寛, 山下菊二, 尾藤豊, 入野達弥	週刊 小河内	1952	ガリ版, 木版・紙	各13.5×18.7(8枚組)
II a 15	草間彌生	集積 No5	1952	水彩, 墨・紙	61.0×33.0
II a 16	草間彌生	増殖する網	1953	インク, 墨・紙	43.0×30.0
II a 17	佐藤忠良	群馬の人	1952	ブロンズ	29.5×19.0×24.0
II a 18	山下菊二	あけぼの村物語	1953	油彩・キャンバス	137.0×214.0
II a 19	顰嘔	悲劇よりもより悲痛なるものの静寂	1953	油彩・キャンバス	436.0×436.0
II a 20	河原温	孕んだ女	1954	油彩・キャンバス	140.0×134.5
II a 21	池田龍雄	埋められた魚	1954	油彩, インク・紙	26.8×38.0
II a 22	池田龍雄	10000カウント	1954	インク・紙	27.8×37.3
II a 24	石井茂雄	暴力シリーズ-曲芸	1956	油彩・キャンバス	162.0×130.4
II a 25	堀内正和	Exercice 2	1956	鉄	53.0×29.0×42.0
II a 26	利根山光人	発電所 佐久間ダムシリーズ	1956-58	油彩・キャンバス	130.3×162.1
II a 27	曹良奎	密閉せる倉庫	1957	油彩・キャンバス	162.0×130.5
II a 28	朝倉摂	日本1958-2	1958	紙本彩色	167.6×369.0(6曲1隻屏風)
II a 29	小山田二郎	はりつけ	1959	油彩・キャンバス	193.9×130.3
II a 30	斎藤義重	絵画 2	1960	油彩, 蜜蝋・合板	169.0×121.0
II a 31	山口長男	地形	1960	油彩・合板	182.0×182.0
II a 32	オノサト・トシノブ	三つの丸	1960	油彩・キャンバス	130.0×90.0
II b 1 1	奈良原一高	緑なき島-軍艦島 # 28 「人間の土地」より	1954-56	ゼラチン・シルバー・プリント	48.2×31.8
II b 1 2	奈良原一高	緑なき島-軍艦島 # 5 「人間の土地」より	1954-57	ゼラチン・シルバー・プリント	
II b 1 3	奈良原一高	人間の土地	1957		
II b 2	奈良原一高	復活-#3 笑うスケルトン「空 Ku-Emptiness」より	1990	ハイメタリックペーパー・プリント	
II b 3 1	東松照明	「チューインガムとチョコレート」全25点	1959-78		
II b 3 2	東松照明	岩国	1960		
II b 3 3	東松照明	基地-ヨコスカ	1959		

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
II b 3 4	東松照明	基地—HARLEM(黒人街)	1960		
II b 3 5	東松照明	基地—視線	1960		
II b 3 6	東松照明	基地—周辺の子供たち	1960		
II b 4 1	細江英公	おとこと女 #24	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	
II b 4 2	細江英公	おとこと女 #20	1960	ゼラチン・シルバー・プリント	
II b 4 3	細江英公	『おとこと女』	1961		
II b 5 1	細江英公	薔薇刑 #32	1962	プラチナ・プリント	
II b 5 2	細江英公	『薔薇刑』初版本(デザイン:杉浦康平)	1963		
II b 5 3	細江英公	『薔薇刑』(デザイン:横尾忠則)	1971		
II b 5 4	細江英公	『薔薇刑』(デザイン:粟津潔)	1985		
II b 6 1	川田喜久治	高射砲陣地跡「地図」より	1960-65	ゼラチン・シルバー・プリント	
II b 6 2	川田喜久治	コカ・コーラ「地図」より	1960-65	ゼラチン・シルバー・プリント	
II b 6 3	川田喜久治	日の丸「地図」より	1960-65	ゼラチン・シルバー・プリント	41.2×53.2
II b 6 4	川田喜久治	原爆ドーム 天井 しみ「地図」より	1960-65	ゼラチン・シルバー・プリント	
II b 6 5	川田喜久治	原爆ドーム「地図」より	1960-65	ゼラチン・シルバー・プリント	
II b 6 6	川田喜久治	地図—a・要塞	1962		
II b 6 7	川田喜久治	地図—b・汚点(しみ)	1962		
II b 6 8	川田喜久治	地図—c・街	1962		
II b 6 9	川田喜久治	『地図』	1965		
II c 1 1	アントニン・レイモンド	リーダーズ・ダイジェスト東京支社(東京都千代田区・現存せず)	1951	写真	
II c 1 2	アントニン・レイモンド	リーダーズ・ダイジェスト東京支社(東京都千代田区・現存せず)	1951	立面図	56.8×80.0
II c 1 3	アントニン・レイモンド	リーダーズ・ダイジェスト東京支社(東京都千代田区・現存せず)	1951	矩計図	56.8×80.0
II c 2 1	市浦 健	スターハウス 54 C-II型	1954	写真	
II c 2 2	市浦 健	スターハウス 54 C-II型	1954	間取り図	
II c 3 1	丹下健三	広島平和記念資料館(広島市)	1955	写真(撮影:石元泰博)	
II c 3 2	丹下健三	広島平和記念公園と施設案(広島市)	1955	模型写真(撮影:平山忠治)	
II c 4	丹下健三	香川県庁舎(高松市)	1958	写真(撮影:村井修)	
II c 5 1		佐久間ダム(静岡県佐久間町/愛知県豊根村)	1956	写真	
II c 5 2				ビデオ『佐久間ダム』 (総集編 1958年/90分)	90分
II c 6	内藤多仲	東京タワー(東京都港区)	1958	写真	
II c 7	村野藤吾	日本生命日比谷ビル(東京都千代田区)	1963	写真	34.5×42.0
II d 1 1		雑誌『モーターファン』	1949		
II d 1 2		雑誌『オートバイ』	1954-56		
II d 1 3		雑誌『モーターサイクリスト』	1955		
II d 1 4		パンフレット「ペンリィ」「ドリーム号」			
II d 2	富永直樹	4号自動式卓上電話機	1950	ベークライト	14.0×25.0×23.0
II d 3 1	レイモンド・ローウィー	「ピース」試作デザイン	1951頃		各7.0×4.3×1.7
II d 3 2	レイモンド・ローウィー	「ピース」パッケージ	1952	紙	7.0×4.3×1.7
II d 4		トースター「TT-1型」	1952頃	金属	18.0×23.0×12.0
II d 5		掃除機「VC-1型」	1953		
II d 6'		洗濯機「SW-57型」	1957		
II d 7		扇風機「4DF-30 T型」	1954	金属	47.0×36.0×24.0
II d 8	東京芝浦電気デザイン部	電気炊飯器「電気釜ER-4型」	1955		
II d 9	泉真也	8ミリシネカメラ「8 T」	1956	金属	14.4×8.8×5.2
II d 10 1	佐々木達三	「スバル360」(写真)	1958		
II d 10 2	佐々木達三	「スバル360」(1/5モデル)	1957	木	26.0×26.0×60.0
II d 11		「スーパーカブC-100」	1958		94.5×178×57.5
II d 12	亀倉雄策	「ニコンF」	1959		16.0×11.1×7.1
II d 13		冷蔵庫「MR-110 ES型」	1959		
II d 14		5点1式ステレオ「STL-3型」	1959		
II d 15	GK イングストリアル デザイン研究所	しょうゆ卓上瓶	1961	ガラス, プラスチック	φ6.5 H15.0
II e 1	手塚治虫	「ジャングル大帝」	1950-54	『漫画少年』1952年1月号(学童社)	
II e 2	手塚治虫	「アトム大使」	1951-52	『少年』1951年7月号(光文社)	

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
II e 3	辰巳ヨシヒロ	「幽霊タクシー」	1957	『街』1957年12号(セントラル文庫)	
II e 4	白土三平	『忍者武芸帳一影丸伝』(三洋社)	1959-62		
II e 5	水木しげる	「幽霊一家」「墓場の鬼太郎」	1959	『妖奇伝』(兎月書房)	
II e 6	佐藤まさあき	『黒い傷痕の男』(三洋社)	1961-62		
II e 7		『漫画少年』(学童社)	1951ほか		
II e 8		貸本マンガ	1950年代前半~1960年代前半頃		
II e 9		『影』創刊号ほか(八興, のち日の丸文庫)	1956ほか		
II e 10		『街』創刊号ほか(セントラル文庫)	1957ほか		
II e 11		『魔像』(日の丸文庫)	1957ほか		
II e 12		『迷路』創刊号ほか(若木書房)	1958ほか		
II e 13		『泉』創刊号(若木書房)	1958		
II e 14		『ぼくら』(講談社)	1958年11月号		
II e 15		『摩天楼』創刊号ほか(兎月書房)	1959ほか		
II e 16		『少年クラブ』(講談社)	1959年1月号		
II e 17		『少女クラブ』(講談社)	1959年1月号		
II e 18		『少年』(光文社)	1959年1月号		
II e 19		『少女』(光文社)	1959年1号		
II e 20		『漫画王』(秋田書店)	1959年11月号		
II e 21		『X』創刊号(鈴木出版)	1960		
II e 22		『少年画報』(少年画報社)	1960年1月号		
II e 23		『りぼん』(集英社)	1960年11月号		
II h 1 1		公団住宅(2DKの室内)の再現(部分)	1957/1995再現		
II h 1 2		堺市・金岡団地のDK(写真)			
II h 1 3		金岡団地の間取り図			
II h 2		公団住宅用流し台	1957頃		55.0×180.0×79.8
II h 3		公団住宅用テーブル	1957頃		64.3×110.0×74.0
II h 4		映画『団地への招待』			
III a 2	東山魁夷	道	1950	絹本彩色	134.4×102.2
III a 3	恩地孝四郎	アレゴリー No.2 : 廃墟	1948	木版・紙	49.5×38.5
III a 4	斎藤清	埴輪	1950	木版・紙	44.0×75.0
III a 5	駒井哲郎	東の間の幻影	1951	アクアチント・紙	18.0×29.0
III a 6	棟方志功	天妃乾坤韻	1952	木版, 彩色	59.8×44.3
III a 8	イサム・ノグチ	かぶと	1952	テラコッタ	71.5×33.0×31.5
III a 10	瑛九	旅人	1957	石版・紙	37.5×52.3
III a 11	加藤正	愛しあっている二人は殺された (ローゼンバーグ夫妻に捧ぐ)	1953	銅版・紙	36.1×20.0
III a 12	森田子龍	坐俎上	1953	墨・紙	70.0×136.0
III a 15	加山又造	凍れる日輪	1964	紙本彩色	162.3×130.5
III a 16	八木一夫	ザムザ氏の散歩	1954	陶	26.0×26.0
III a 17	安原喜明	焼締花器・港	1954	陶	55.3×48.5×13.3
III a 18	井上有一	作品A	1955	エナメル・紙	87.6×115.2
III a 20	吉原英雄	ひまわり	1956	石版・紙	42.0×31.0
III a 21	横山操	塔	1957	綿布彩色	317.0×134.0
III a 23	泉茂	闘鶏	1957	石版・紙	52.0×43.0
III a 24	林康夫	作品	1958	陶	h30.0
III a 27	岩橋英遠	記録(I)	1964	紙本彩色	135.0×150.0
III a 28	大野倣嵩	Two Forms	1959	顔料, 木屑, 綿・麻布	136.0×121.0
III a 29	一原有徳	轉	1959	石版, モノタイプ・紙	40.0×66.0
III a 30	一原有徳	X II 1	1964	銅版・紙	60.0×60.0
III a 32	堂本印象	交響	1961	紙本彩色	160.0×130.0
III a 33	池田満寿夫	女・動物たち	1960	ドライポイント、アクアチント・紙	23.5×18.0
III a 34	池田満寿夫	女の肖像	1960	ドライポイント、アクアチント・紙	23.5×18.0
III a 35	池田満寿夫	女	1960	ドライポイント、アクアチント・紙	23.5×18.0
III a 36	加納光於	翼・予感	1961	インタリオ・紙	66.6×33.2
III a 37	篠田桃紅	無題	1961	墨, 顔料・紙	226.0×148.0

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
III a 39	三上誠	異性の街 A	1962	段ボール、木・着色	121.4×153.0
III a 40	磯辺行久	Work 62-35	1962	石版、エンボス・紙	63.5×45.7
III a 41	鈴木治	歩く子	1962	陶	20.0×20.0×22.0
III a 42	清宮質文	トパーズ	1963-64	木版・紙	24.6×22.4
III a 44	中村正義	イト	1964	紙本彩色	227.0×180.7
III a 45	山田光	塔	1964	陶	36.7×43.0×19.5
III a 46	星野真吾	喪中の作品 A	1965	顔料・紙	182.0×92.0
III a 47	下村良之介	鳥のほころ	1965	顔料、紙粘土・紙	182.0×169.5
III a 48	片岡球子	面構 足利尊氏	1966	紙本彩色	162.0×130.0
III a 51	熊倉順吉	風人'67	1967	陶	37.0×50.0×48.0
III a 52 1	横尾忠則	責場 A	1968	シルクスクリーン・紙	90.8×67.7
III a 52 2	横尾忠則	責場 B	1968	シルクスクリーン・紙	90.8×67.7
III a 52 3	横尾忠則	責場 C	1968	シルクスクリーン・紙	90.8×67.7
III a 53	滝口修造	Duo de D' ecalcomanie	1971-72	デカルコマニー	左19.8×13.6 右19.8×13.5
III a 54		『いけばな藝術』創刊号, 最終号ほか(いけばな芸術社)	1949-55	雑誌(編集:重森三玲, 重森弘滝)	
III a 55	小原豊雲	山の幸(写真)	1949	あおぎり,白樺,松枯杉,花器:宇野三吾	
III a 56	編集:小原流学芸部, 発行人:小原豊雲, 表紙:吉原治良	『前衛挿花』第1号	1950	雑誌(編集:小原流学芸部, 発行人:小原豊雲, 表紙:吉原治良)	
III a 57	小原豊雲	第2回日本花道展出品作(写真 撮影:土門拳)	1951	藤づる, 枯木, 猿の腰掛, 鉄線, バビエ・コレ 花器:宇野三吾	
III a 58	勅使河原蒼風	黒いひまわり(写真 撮影:土門拳)	1951	枯ひまわり, 君子蘭, ガラス器	
III a 59	勅使河原蒼風	汽関車	1951/77	鹿鉄材(一部1951年制作時のパー ツ使用),パンパス, 菊, さんきらい	211.0×275.0×92.0
III a 60	勅使河原蒼風	『IKEBANA』(発行・草月会)	1952	作品集(撮影:土門拳/英文テキスト付)	
III a 61	中川幸夫	いきる(写真 撮影:石井直矢)	1954	ほうの木	
III a 62	中川幸夫	『中川幸夫作品集』(自費出版)	1955	作品集(撮影:土門拳, 新居義久ほか)	
III a 63	中川幸夫	花坊主(写真 撮影:牧直視)	1973	カーネーション900本, 自作ガラス器	
III d 1 1	イサム・ノグチ	「あかり1 A」	1951	美濃和紙, 竹ひご	43×φ26
III d 1 2	イサム・ノグチ	「あかり45 A」	1951	美濃和紙, 竹ひご	42×φ45
III d 1 3	イサム・ノグチ	「あかり10 A」	1951	美濃和紙, 竹ひご	123×φ53
III d 2	渡邊力	ひも椅子	1952/93	オーク材, ロープ	73.0×53.0×75.0
III d 3	山城隆一	グラフィック'55展の出品ポスター「森・林」	1955	シルクスクリーン	109.7×79.2
III d 4	細谷巖	勅使河原蒼風展のためのポスター	1956	原画制作	103.0×72.8
III d 5	柳宗理	スツール「バタフライ T-7238型」	1956	合板, 金属	39.0×42.0×31.0
III d 6	早川良雄	日本宣伝美術会展の出品ポスター「Japan」	1958	シルクスクリーン	103.6×72.9
III d 7	原弘	日本宣伝美術会展の出品ポスター「日本タイポグラフィ展」	1959	シルクスクリーン	103.0×72.6
III d 8	田中一光	第8回産経観世能のためのポスター	1961	シルクスクリーン	103.3×73.0
III d 9	剣持勇	籐椅子「C-3150型」	1961	籐	72.0×93.0×86.0
IV a 1	金山明	作品	1957	インク・板	182.4×183.4
IV a 2	難波田龍起	宇宙塵	1958	油彩・キャンバス	131.0×163.5
IV a 3	桜井孝身	リンチ	1958	ペンキ, アスファルト, プラスチック, 金網, 釘, 針金, 絵の具チューブ・板	91.5×80.5
IV a 4	白髪一雄	天異星赤髪鬼	1959	油彩・キャンバス	182.5×272.5
IV a 5	嶋本昭三	作品	1960	ペンキ・ガラス, キャンバス	251.5×193.5
IV a 6	田中敦子	作品	1960	ビニール塗料・キャンバス	161.5×130.0
IV a 7	荒川修作	もうひとつのテクスチャー1	1960/86補修	セメント, 綿, 木	200.7×101.5×20.3
IV a 8	村岡三郎	鉄板を持つ手	1960	鉄	75.0×35.0×14.0
IV a 9	篠田守男	テンションとコンプレッション“サーカス”	1960	ブロンズ・ワイヤー	22.0×40.0×43.5
IV a 10	工藤哲巳	X型基本体に於ける増殖性連鎖反応	1960	ビニールチューブ, 紐, タワシ, 鉄	h65.0
IV a 11	山田正亮	Work C-81	1960-61	油彩・キャンバス	162.0×112.0
IV a 12	高松次郎	点	1961	針金, ラッカー	43.0×37.0×28.0
IV a 13	高松次郎	影(#394)	1974-75	油彩・合板	193.5×130.5
IV a 14	元永定正	作品	1962	アクリル・布, 合板	172.0×229.0

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
IV a 15	菊畑茂久馬	奴隷系図一九	1962	カシュー・合板	120.2×91.0
IV a 16	菊畑茂久馬	奴隷系図一円鏡による	1962	カシュー・合板	137.0×90.0
IV a 17	村上三郎	作品	1963	アクリル・石膏、布	137.8×183.5
IV a 18	赤瀬川原平	押収品・千円札パネル作品 I	1963	千円札印刷作品、ボルト、パネル	82.0×79.0
IV a 19	赤瀬川原平	千円札裁判押収品目録	1967	ポスター	59.0×43.3
IV a 20	砂沢ビッキ	ANIMAL - 隔生	1963	タモの木	221.0×33.0×24.0
IV a 21	若林奮	残り元素 I	1965/84	ブロンズ	50.0×65.0×65.0
IV a 22	三木富雄	EAR	1965頃	アルミニウム	最長108.0
IV a 23	篠原有司男	てかがみ	1966	蛍光塗料、ラッカー、プラス チック板・キャンバス	225.0×181.0
IV a 24	谷川晃一	ウルサマルカンドの花嫁	1966	グワッシュ・紙	121.0×182.0
IV a 25	郭徳俊	偽善者の微笑667	1967	絵具、石膏、胡粉、樹脂・パネル	162.1×130.3
IV a 26	幸村真佐男	Deformation of Kennedy	1968	ゼラチン・シルバー・プリント、 XYプロッターによる出力	245.5×81.0
IV a 27	山口勝弘	Sign Pole	1968	アクリル樹脂、蛍光灯	260.0×55.0×55.0
IV a 28	多田美波	Epicycle	1968	アクリル樹脂・アルミニウム	140.0×14.0×140.0
IV a 30	吉村益信	豚 ; pig lib;	1971	剝製、プラスチック、ワックス、木	86.0×136.0×72.0
IV a 31	吉原治良	作品(二の字)	1971	油彩・キャンバス	130.3×162.1
IV b 1 1		『PROVOKE』第1号～第3号	1968-69		
IV b 1 2	多木浩二, 中平卓馬, 森山大道, 高梨豊, 岡田隆彦, 天野道映	『まずたしからしさの世界をすてる』	1970		
IV b 2 1	高梨豊	船橋市ヘルスセンター 7月17日「東京人」より	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	28.0×35.6
IV b 2 2	高梨豊	豊島区西武デパート 4月25日「東京人」より	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×28.0
IV b 2 3	高梨豊	新宿区角筈-1 ビュッフェ・ととや「東京人」より	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	28.0×35.6
IV b 2 4	高梨豊	東京人	1966		
IV b 3	中平卓馬	夜	1969		
IV b 4	中平卓馬	風景1	1970		
IV b 5	中平卓馬	風景2	1970		
IV b 6	中平卓馬	『来たるべき言葉のために』	1970		
IV b 7 1	森山大道	「にっぽん劇場写真帖」より	1968	ゼラチン・シルバー・プリント	
IV b 7 2	森山大道	「にっぽん劇場写真帖」より	1968	ゼラチン・シルバー・プリント	
IV b 7 3	森山大道, 寺山修司	『にっぽん劇場写真帖』	1968		
IV b 8 1	森山大道	犬「狩人」より	1971	ゼラチン・シルバー・プリント	
IV b 8 2	森山大道	『狩人』	1972		
IV b 9	森山大道	『写真よさようなら』	1972		
IV b 10	寺山修司	『幻想写真館 犬神家の人々』	1975		
IV c 1 1	前川國夫	京都会館(京都市)	1960	写真(撮影: 渡辺義雄)	
IV c 1 2	前川國夫	京都会館(京都市)	1960	1階平面図	
IV c 1 3	前川國夫	京都会館(京都市)	1960	立面図	
IV c 2	丹下健三	東京計画1960	1961	模型写真(1961年制作 撮影: 川澄建築写真事務所)	
IV c 3 1	丹下健三	代々木国立屋内総合競技場(東京都渋谷区)	1964	写真(撮影: 村井修)	
IV c 3 2	丹下健三	代々木国立屋内総合競技場(東京都渋谷区)	1964	第1体育館断面図	
IV c 3 3	丹下健三	代々木国立屋内総合競技場(東京都渋谷区)	1964	第1体育館メインポール詳細図	
IV c 3 4	丹下健三	代々木国立屋内総合競技場(東京都渋谷区)	1964	第2体育館断面図	
IV c 3 5	丹下健三	代々木国立屋内総合競技場(東京都渋谷区)	1964	第2体育館トップライト廻り詳細図	
IV c 4	山下寿郎設計事務所	霞ヶ関ビル(東京都千代田区)	1968	写真	
IV c 5	黒川紀章	メタモルフォーシス'65	1965	スケッチ	
IV c 6 1	黒川紀章	東芝IHI館(日本万国博覧会)	1970	写真(撮影: 大橋富夫)	
IV c 6 3	黒川紀章	東芝IHI館(日本万国博覧会)	1970	塔の部分の模型	H:98.5×φ14.0
IV c 7 1	黒川紀章	ソニータワー大阪(大阪市)	1976	写真(撮影: 大橋富夫)	
IV c 7 2	黒川紀章	ソニータワー大阪(大阪市)	1976	模型	30.0×30.0×78.0
IV d 1	亀倉雄策	第18回オリンピック競技大会(東京)のためのポスター	1961	グラビア印刷	103.0×54.8
IV d 2	亀倉雄策 撮影: 早崎治	第18回オリンピック競技大会(東京)のためのポスター	1962	グラビア印刷	103.0×72.8

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
IV d 3	亀倉雄策 撮影:早崎治	第18回オリンピック競技大会(東京)のためのポスター	1963	グラビア印刷	103.0×72.8
IV d 4	亀倉雄策 撮影:早崎治	第18回オリンピック競技大会(東京)のための公式ポスター	1964	グラビア印刷	103.0×72.8
IV d 5	山城隆一	第18回オリンピック競技大会(東京)の芸術展示のためのポスター	1964		103.0×72.8
IV d 6	原弘	第18回オリンピック競技大会(東京)の 各国オリンピック委員会への招請状	1964	布, 和紙	[たとう] 開いた状態 69.6×70.2 閉じた状態 34.3×22.8 [招請状] 開いた状態 33.8×44.4 閉じた状態 34.3×22.4
IV d 7	原弘	第18回オリンピック競技大会(東京)の入場券	1964	和紙	大 : 8.0×23.3 小 : 8.0×18.3
IV d 8	岡本太郎	第18回オリンピック競技大会(東京)の参加記念メダル	1964	クルミ銅	φ 60.0×0.5
IV d 9	柳宗理	第18回オリンピック競技大会(東京)のトーチ・ホルダー	1964	アルミニウム合金	19.6×φ 17.0
IV d 10	柳宗理	第18回オリンピック競技大会(東京)の聖火灯	1964	ステンレス	55.0×φ 3.0
IV d 11	河野鷹思	第18回オリンピック競技大会(東京)の識章バッジ	1964	金メッキ, 布	大 : 15.0×5.0 小 : 14.0×3.8
IV d 12	オリンピック東京 大会組織委員会 デザイン室	第18回オリンピック競技大会(東京)の デザイン・ガイド・シート	1964		25.8×24.7
IV d 13	オリンピック東京 大会組織委員会 デザイン室	第18回オリンピック競技大会(東京)の施設 シンボル(雑誌『グラフィック・デザイン』より)	1964		
IV d 14	宮野力哉	第18回オリンピック競技大会(東京)横浜駅西口歓迎装飾(写真)	1964		
IV d 15	串田光弘	自由劇場「イスメネ 地下鉄」のためのポスター	1966	シルクスクリーン	
IV d 16	横尾忠則	『話の特集』の表紙デザイン「ケネディー」	1966	雑誌	20.8×15.0
IV d 17	横尾忠則	状況劇場「腰巻お仙ー忘却編」のためのポスター	1966	シルクスクリーン	103.0×72.8
IV d 18	横尾忠則	天井棧敷の定期会員募集のためのポスター	1967	シルクスクリーン	103.0×72.8
IV d 19	横尾忠則	『平凡パンチ』のイラスト「浅丘ルリ子」	1968	雑誌	25.8×25.8
IV d 20	横尾忠則	『週刊明星』のイラスト「初春人気者拾貳衆年賀状裸身之図」	1968	雑誌	25.8×50.5
IV d 21	横尾忠則	細江英公写真展「土方巽と日本人」のためのポスター	1968		103.0×72.8
IV d 22	横尾忠則	草月アートセンター「ヤクザ映画 戦後日本のひとつの流れ」のためのポスター	1968		109.5×77.9
IV d 23	横尾忠則	『プレイボーイ』付録のイラスト「横尾忠則の豆本艶歌」	1969	雑誌	9.0×12.8
IV d 24	横尾忠則	『週刊アンボ』第2号, 第7号の表紙デザイン「佐藤栄作」	1970	雑誌	25.7×18.3
IV d 25	横尾忠則	細江英公の写真集『新輯薔薇刑』のカバー・デザイン	1970		
IV d 26	横尾忠則	日本万国博覧会せんい館のためのポスター	1970		
IV d 27	横尾忠則	『朝日ジャーナル』の表紙デザイン	1971	雑誌	
IV d 28	宇野亜喜良	天井棧敷「毛皮のマリー」のためのポスター	1968		
IV d 29	粟津潔	天井棧敷「犬神」のためのポスター	1969		
IV d 30	及川正通	天井棧敷「書を捨てよ! 町へ出よう!」のためのポスター	1969		103.0×72.8
IV d 31	金子國義, 構成レイ アウト: 平野甲賀	状況劇場「愛の乞食」のためのポスター	1970	オフセット	
IV d 32	林静一	発見の会「怨霊血染めの十字架」のためのポスター	1970		
IV d 33	平野甲賀	演劇センター68/71「嗚呼鼠小僧次郎吉」のためのポスター	1971	シルクスクリーン	110.0×80.0
IV d 34	福田繁雄	日本万国博覧会のためのポスター	1967	オフセット	103.0×72.8
IV d 35	亀倉雄策	日本万国博覧会のためのポスター	1967	オフセット	103.0×72.8
IV d 36	亀倉雄策 撮影:早崎治	日本万国博覧会のためのポスター	1969	オフセット	103.0×72.8
IV d 37	日本万国博覧会基 幹施設設計グループ	日本万国博覧会シンボルゾーン模型	1970		約100.0×600.0
IV d 38		公式記録映画「日本万国博 総集編」	1970	32mmフィルム, オールカラー, 2時間53分	
IV e 1	白土三平	「カムイ伝」	1964-71	『ガロ』1964年12月号(青林堂)	
IV e 2 1	水木しげる	『ガロ』表紙	1966	『ガロ』1966年3月号(青林堂)	
IV e 2 2	水木しげる	『ガロ』表紙原画	1965		
IV e 2 3	つげ義春	『ガロ』表紙	1968	『ガロ』1968年6月増刊号(青林堂)	
IV e 2 4	つげ義春	『ガロ』表紙	1971	『ガロ』1971年4月増刊号(青林堂)	
IV e 2 5	水島慎二	『ガロ』表紙	1968	『ガロ』1968年11月号(青林堂)	
IV e 2 6	滝田ゆう	『ガロ』表紙	1969	『ガロ』1969年4月増刊号(青林堂)	
IV e 2 7	滝田ゆう	『ガロ』表紙	1970	『ガロ』1970年1月号(青林堂)	

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
IV e 2 8	白土三平	『ガロ』表紙	1969	『ガロ』1969年8月号	
IV e 2 9	白土三平	『ガロ』表紙原画	1969		
IV e 3	手塚治虫	「火の鳥 黎明編」	1967	『COM』1967年1月号(虫プロ商事)	
IV e 4 1	手塚治虫	『COM』表紙	1971	『COM』1971年7月号表紙(虫プロ商事)	
IV e 4 2	手塚治虫	『COM』表紙原画	1971		
IV e 5 1	永島慎二	「シリーズ黄色い涙 青春残酷物語4 フーテン」	1967-68	『COM』1967年6月号(虫プロ商事)	
IV e 5 2	永島慎二	「シリーズ黄色い涙 青春残酷物語4 フーテン」原画		1967	
IV e 6	石ノ森章太郎	「章太郎のファンタジワールド ジェン」	1967-69	『COM』1968年4月号(虫プロ商事)	
IV e 7	つげ義春	ねじ式	1968	『ガロ』1968年6月増刊号(青林堂)	
IV e 8	佐々木マキ	「うみべのまち」	1968	『ガロ』1968年9月増刊号(青林堂)	
IV e 9	岡田史子	「ガラス玉」	1968	『COM』1968年1月号(虫プロ商事)	
IV e 10 1	高森朝雄原作・ちばてつや画	「あしたのジョー」	1968-73	『週刊少年マガジン』 1970年2月8日号(講談社)	
IV e 10 2	ちばてつや	「あしたのジョー」原画	1970		
IV e 11	横尾忠則デザイン	『週刊少年マガジン』表紙	1970	『週刊少年マガジン』 1970年5月24日号ほか(講談社)	
IV e 12	大伴昌司構成	『週刊少年マガジン』グラフィック	1970	『週刊少年マガジン』 1970年5月31日号(講談社)	
IV e 13	林静一	「赤色エレジー」	1970-71	『ガロ』1970年1月号(青林堂)	
IV e 14	つげ忠男	「どぶ街」	1970	『ガロ』1970年4月号(青林堂)	
IV e 15		『週刊少年マガジン』創刊号ほか(講談社)	1959	ほか	
IV e 16		『週刊少年サンデー』創刊2号(小学館)	1959		
IV e 17		『週刊少女フレンド』創刊号ほか(講談社)	1962	ほか	
IV e 18		『週刊マーガレット』(集英社)	1963	ほか	
IV e 19		『週刊少年キング』創刊号(少年画報社)	1963		
IV e 20		『ガロ』創刊号ほか(青林堂)	1964	『ガロ』1968年9月号10月号(青林堂)	
IV e 21 1		『COM』創刊号ほか(虫プロ商事)	1967	ほか	
IV e 21 2		『COM』ぐらこん月例新人入選作の一部と別冊付録「ぐらこん特集」	1967	ほか	
IV e 22		『週刊少年ジャンプ』創刊号(集英社)	1968		
IV e 23	経葉社	『木造モルタルの王国』(CD-ROM)	1995		
V a 1	松澤宥	消滅の幟と	1966/95	幟22m	
V a 2	関根伸夫	位相-大地	1968/95	スクリーンに印刷	
V a 4	野田哲也	日記1987年5月30日柏市亀甲台2-12-4	1987	木版, シルクスクリーン・紙	59.5×119.0
V a 5	菅木志雄	斜位相	1969/95	木, 鉄パイプ, 石	180.0×90.0×130.0
V a 6	原口典之	無題	1970/95	古角材, 油, 砂	180.0×105.0×18.0
V a 7	野村仁	Time on a Curved Line	1970	写真	104.0×104.0
V a 8	神田日勝	室内風景	1970	油彩・合板	227.3×181.8
V a 9	日和崎尊夫	詩画集『卵』(詩:嶋岡晨)	1970	木口木版・紙	41.3×33.5
V a 10	柏原えつとむ	The Paint is Dropt	1971	油彩・キャンバス	162.1×130.3
V a 11	鯉江良二	土に還る-68	1971	陶	30.0×40.0×56.0
V a 12 1	松本旻	富嶽三十六色(13-A)	1971	シルクスクリーン, フェルトペン・麻布	21.2×33.4
V a 12 2	松本旻	富嶽三十六色(13-B)	1971	シルクスクリーン・麻布	21.2×33.4
V a 12 3	松本旻	富嶽三十六色(13-C)	1971	シルクスクリーン・コーティング紙	21.2×33.4
V a 12 4	松本旻	富嶽三十六色(13-D)	1971	写真(ネガ)・印画紙	21.2×33.4
V a 13	木村光佑	現在位置-存在A	1971	リトグラフ, シルクスクリーン・紙	73.5×103.0
V a 15	榎倉康二	二つのしみ	1972	孔版・フェルト, 布, テント綿布	149.0×167.0
V a 16	百瀬寿	Cosmic Square' 72	1972	シルクスクリーン・紙	70.0×70.0
V a 17	李禹煥	Relatum	1974/95	鉄, 石, 木炭	100.0×100.0×120.0
V a 18	山崎博	OBSERVATION	1974	写真	30.0×45.0
V a 19	北辻良央	作品 パウル・クレー 〈熱い知らせ〉	1974	鉛筆・トレーシングペーパー/ 青焼きコピー, 水彩・紙	各29.4×42.0 (2枚組)
V a 20	北辻良央	作品 ゴッホ 〈オーヴェールの教会〉	1974	鉛筆・トレーシングペーパー/ 青焼きコピー, 水彩・紙	各29.4×42.0 (2枚組)
V a 21	上田薫	コップの水	1974	油彩, アクリル・キャンバス	162.0×130.0
V a 22	嶋剛	団地S	1974	アクリル・キャンバス/写真	各162.0×130.0

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
V a 23	木村秀樹	Pencil 2-3	1974	シルクスクリーン・紙	70.0×100.0
V a 24	河口龍夫	DARK BOX	1975	鉄, 闇	35.0×60.0×37.0
V a 25	植松奎二	見ること I - Seeing I	1975	ゼラチン・シルバー・プリント	各39.0×50.0 (3枚組)
V a 26	山本容子	Papa Aid 1975 <JUNE BRAND' 75>	1975	エッチング・紙	45.0×60.0
V a 27	島州一	カーテン	1975	シルクスクリーン・布	182.0×173.0
V a 28	秋山祐徳太子	東京都知事選挙立候補ポスター	1975	印刷・紙	36.1×25.7
V a 29	秋山祐徳太子	東京都知事選挙立候補ポスター	1979	印刷・紙	40.0×30.0
V a 30	秋山祐徳太子	東京都知事選挙立候補ポスター	1979	印刷・紙	42.0×39.2
V a 31	斎藤智	無題 A	1976	シルクスクリーン・紙	59.3×70.3
V a 32	宇佐美圭司	プロフィールのこだま: 積層	1976	油彩・キャンバス	214.0×196.0
V a 33	井田照一	Floor, Paper and Four Stones	1976	木片, リトグラフ, 両面刷り・紙	143.0×110.0
V a 34	三島喜美代	Newspaper-82-P	1976-82	陶	90.0×30.0×42.0
V a 35	三輪龍作	花 I	1977	陶	31.0×46.0×32.5
V a 36	櫃田伸也	流	1978	鉛筆, パステル・紙	72.0×103.0
V a 37	辰野登恵子	WORK 78-P-9	1978	アクリル, 色鉛筆・キャンバス	50.5×120.6
V a 38	彦坂尚嘉	ウッド・ペインティングによるプラクティス8(森)	1978	アクリル・木	66.5×107.2×8.6
V a 40	北山善夫	出所	1979	鉛筆, ボールペン, 麻紙, 竹, 木, 鉄, 銅, 布	132.0×132.0×18.0
V a 41	池田良二	アントニ・タピエス氏に捧げる Scattered Seed	1979	銅版・和紙	79.0×56.3
V a 42	小清水漸	作業台一硯一	1980	福合板, ウレタン塗装, 水	70.0×120.0×90.0
V a 43	山中信夫	マンハッタン太陽(19)	1980	ピンホール写真・紙	11.0×16.0
V a 44	山中信夫	東京太陽(15)	1981	ピンホール写真・紙	30.5×25.4
V a 45	堀浩哉	エリゼの肖像へー No.7	1980	アクリル・ジュート, 合板	227.0×182.0
V a 46	岡崎乾二郎	あかさかみつげ	1981	アクリル・ポリステレン	27.5×25.0×17.5
V a 47	柄澤齊譚・出口裕弘	譚画集『迷宮の潭』	1980	木口木版	19.0×11.0
V a 48	田窪恭治	OBELISK 82-18	1982	桂, 金箔, 古材, 石膏, 蜜蝋	60.0×21.0×9.0
V a 49	戸谷成雄	塔状のもの	1982	石膏, 鉄筋	170.0×50.0×50.0
V a 50	荒木高子	砂の聖書	1982	陶	47.0×65.0×18.0
V a 51	日比野克彦	PRESENT AIRPLANE	1982	アクリル, 色鉛筆, 墨・段ボール, 紙	72.8×103.0
V a 52	川俣正	APARTMENT PROJECT 《テトラハウス N-3 W-26 プロジェクト・プラン(10)》	1983	コンテ, チョーク, 鉛筆・ベニヤ板, パルサ材	68.5×91.5×9.0
V a 53	安齋重男	川俣正 テトラハウス・プロジェクト・ドキュメント	1983	シルバー・プリント	90.0×90.0(4枚組)
V a 54	遠藤利克	塔	1984	木, 鉄, 水, タール(火)	148.0×31.0×30.0
V a 55	中村一美	孤島の照葉樹林	1984	油彩・キャンバス	194.0×130.3
V a 56	森村泰昌	肖像(ヴァン・ゴッホ)	1985	カラー写真	85.0×82.0
V a 57	舟越桂	夏のシャワー	1985	樟, 大理石, アクリル絵の具	52.0×33.5×77.2
V a 58	木下晋	祈り	1987	鉛筆・ケント紙	122.8×80.5
V a 59	宮島達男	CLOCK FOR 300 THOUSAND YEARS	1987	発光ダイオード, IC, 電線, 土, ラインテープ	25.0×18.0×5.0
V a 60	西村陽平	10冊の少年ジャンプ	1988	雑誌, 土	39.0×32.0×23.0
V a 61	山口啓介	王の方舟	1988	エッチング・紙	67.0×98.3
V a 62	岡部昌生	同潤会代官山アパート第29号館屋上焼夷弾被弾痕	1989	フロッタージュ, 鉛筆・キャンソン紙	136.0×152.0
V a 63	日高理恵子	樹を見上げて V	1991	岩絵具・麻紙	162.0×162.0
V a 64	福田美蘭	Woman With a Letter	1991	アクリル・顔料, 12パネル	各62.0×31.5(12パネル)
V b 1 1	篠山紀信	「Shinjuku」より	1990	カラー・プリント	
V b 1 2	篠山紀信	「Shinjuku」より	1990	カラー・プリント	
V b 2	篠山紀信	Death Valley - 死の谷 『nude』より	1970		
V b 3 1	篠山紀信	『百恵』	1980		
V b 3 2	篠山紀信	山口百恵			
V b 3 3	篠山紀信	山口百恵			
V b 4	篠山紀信	Sinthia	1974		
V b 5 1	荒木経惟	「センチメンタルな旅」より	1971	ゼラチン・シルバー・プリント	
V b 5 2	荒木経惟	『センチメンタルな旅』	1971		
V b 6 1	藤原新也	印度放浪	1971		
V b 6 2	藤原新也	『印度放浪』			

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
V b 7 1	藤原新也	西藏放浪	1971		
V b 7 2	藤原新也	『西藏放浪』	1977		
V b 8	藤原新也	81年10月2日 金属バット両親撲殺事件の家		カラー・プリント	
V b 9 1	藤原新也	川俣軍司	1981		
V b 9 1	藤原新也	81年10月2日 金属バット両親撲殺事件の家	1983		
V b 9 2	藤原新也	81年10月2日 金属バット両親撲殺事件の家	1981		
V b 9 3	藤原新也	犬	1981		
V b 10 2	藤原新也	82年5月23日 家屋取り壊し さら地になる	1983		
V b 10 3	藤原新也	82年9月26日 夏草 生い茂る	1983		
V b 10 4	藤原新也	84年10月14日	1986		
V b 11 1	木村恒久	『キムラカメラ』より	1979		
V b 11 2	木村恒久	キムラカメラ(コーラ)	1979	原画(コラージュ)	(タブロイド版くらい)
V c 1 1	毛綱毅曠	反住器(釧路市)	1972	写真	
V c 1 2	毛綱毅曠	反住器(釧路市)	1972	曼荼羅図	
V c 1 3	毛綱毅曠	反住器(釧路市)	1972	模型	10.0×10.0(開いて置くと10.0×20.0)
V c 2 1	磯崎 新	群馬県立近代美術館(高崎市)	1974	写真(撮影:石元泰博)	
V c 2 2	磯崎 新	群馬県立近代美術館(高崎市)	1974	シルクスクリーン	
V c 3 1	磯崎 新	北九州市立中央図書館(北九州市)	1974	写真(撮影:藤塚光政)	
V c 3 2	磯崎 新	北九州市立中央図書館(北九州市)	1974	スケッチ	75.0×60.0
V c 3 3	磯崎 新	北九州市立中央図書館(北九州市)	1974	スケッチ	75.0×60.0
V c 3 4	磯崎 新	北九州市立中央図書館(北九州市)	1974	模型	135.0×105.0×105.0
V c 4 1	象設計集団(共同設計:アトリエ・モビル)	名護市庁舎(沖縄県)	1981	写真(撮影:北田英治)	全紙サイズ
V c 4 2	象設計集団(共同設計:アトリエ・モビル)	名護市庁舎(沖縄県)	1981	設計コンセプト	
V c 5 1	石井和紘	直島町役場(香川県)	1984	写真(提供:新建築社)	
V c 5 2	石井和紘	直島町役場(香川県)	1984	コンピューター・グラフィックスのプリント	
V c 5 3	石井和紘	直島町役場(香川県)	1984	模型	40.0×40.0
V c 6 1	石山修武	開拓者の家(長野県菅平)	1987	写真(撮影:大橋富夫)	
V c 6 2	石山修武	開拓者の家(長野県菅平)	1987	図面	
V c 6 3	石山修武	開拓者の家(長野県菅平)	1987	模型	約100.0×80.0
V c 7 1	原 広司	梅田スカイビル(大阪市)	1993	写真(撮影:藤塚光政)	
V c 7 2	原 広司	梅田スカイビル(大阪市)	1993	ファースト・スケッチ	60.0×84.5
V c 7 3	原 広司	梅田スカイビル(大阪市)	1993	模型(プロポーザル案)	140.0×59.4×84.1
V c 8 1	安藤忠雄	大阪府立近つ飛鳥博物館(大阪府河南町)	1994	写真	
V c 8 2	安藤忠雄	大阪府立近つ飛鳥博物館(大阪府河南町)	1994	模型	180.0×100.0
V d 1	永井一正	「アサヒスタイナー」のためのポスター	1965	オフセット	103.0×72.8
V d 2	中村誠	ファンデーション「ビューティケイク」のためのポスター	1966	オフセット	103.0×72.8
V d 3	中村誠	香水「舞」のためのポスター	1984	オフセット	103.0×72.8
V d 4 1	長谷川好男	「ディスカバー・ジャパン」キャンペーンのためのポスター	1973		36.4×51.5
V d 4 2	長谷川好男	「ディスカバー・ジャパン」キャンペーンのためのポスター	1973		36.4×51.5
V d 4 3	長谷川好男	「ディスカバー・ジャパン」キャンペーンのためのポスター	1973		36.4×51.5
V d 4 4	長谷川好男	「ディスカバー・ジャパン」キャンペーンのためのポスター	1973		36.4×51.5
V d 5	石岡瑛子	パルコのためのポスター	1976	オフセット	103.0×72.8
V d 6		「ウォークマン TPS-L2型」	1979	アルミニウム	13.35×8.8×2.9
V d 7		「ウォークマン WM-2型」	1981	アルミニウム	10.9×8.0×2.95
V d 8	浅葉克己	西武百貨店のためのポスター	1981		103.0×72.8
V d 9	米谷美久	「オリンパス XA2」	1981		10.2×6.5×4.0(本体のみ)
V d 10	泉屋政昭	「バドワイザー」のためのポスター	1982		103.0×145.6
V d 11	細谷巖	「キューピーマヨネーズ」のためのポスター	1984	オフセット	103.0×145.6
V d 12	鈴木八朗	「エキゾチック・ジャパン」キャンペーンのためのポスター	1984	オフセット	103.0×145.6
V d 13	奥村毅正	細野晴臣アルバム「S・F・X」のためのポスター	1984		103.0×72.8
V d 14	杉浦康平	時間軸でみる日本列島	1985		51.5×72.8

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
V d 15	勝井三雄	大日本印刷のためのポスター	1985	オフセット	103.0×72.8
V d 16	サイトウ・マコト	はせがわのためのポスター	1985	オフセット	103.0×145.6
V d 17	松永真	広島アピールズのための平和ポスター「PEACE」	1986	オフセット	103.0×72.8
V d 18		携帯電話「TZ802-B」	1987		
V d 19	戸田正寿	ビブレ21のためのポスター	1988	オフセット	103.0×145.6
V d 20		ビデオカメラ「液晶ビューカム VL-HL1」	1992	ステンレス	14.8×7.8×19.8
V d 21	横尾忠則	展覧会「戦後文化の軌跡1945-1995」のためのポスター	1995		103.0×72.8
V e 1	真崎守	「はみだし野郎の子守唄」	1969	『ヤングコミック』 1969年9月9日号(少年画報社)	
V e 2	かわぐちかいじ	「夜が明けたら」	1969	『ヤングコミック』 1969年12月23日号(少年画報社)	
V e 3	ダディー・グース	「ドンキホーテ!!お前は誰だ?」	1969	『週刊漫画アクション』1969年 11月1日号(双葉社)から写真パネル	
V e 4	上村一夫	「俺とお前の春歌考」	1969	『週刊漫画アクション』 1969年11月27日号(双葉社)	
V e 5	山岸涼子	「白い部屋のふたり」	1971	『りほんコミック』 1971年2月号(集英社)	
V e 6	萩尾望都	「11月のゴムナジウム」	1971	『別冊少女コミック』 1971年11月号(小学館)	
V e 7	つげ義春	ねじ式	1968	『ガロ』1968年6月増刊号(青林堂)	
V e 8	赤瀬川原平	『櫻画報大全』(青林堂)	1977		
V e 9	林静一	『ガロ』(表紙・林静一)	1974	『ガロ』1974年1月号ほか(青林堂)	
V e 10	山上たつひこ	『喜劇新思想大系』(青林堂)	1973-75		
V e 11	諸星大二郎	「生物都市」	1974	『失楽園』1988年(集英社)	
V e 12	石井隆	「カーニバル・イン・ブルー」	1975	『ヤングコミック』 1975年12月10日号(少年画報社)	
V e 13	竹宮恵子	「夏への扉」	1975	『花とゆめ』1975年19号(白泉社)	
V e 14	赤塚不二夫	『赤塚不二夫1000ページ』(話の特集社)	1975		
V e 15	大島弓子	「7月7日に」	1976	『別冊少女コミック』 1976年7月号(小学館)	
V e 16	いしいひさいち	『バイトくん』(プレイガイドジャーナル社)	1977		
V e 17 1	宮西計三	『リリカ』(ペヨトル工房)	1994		
V e 17 2	宮西計三	「貧しきフルーツ」原画	1977		
V e 18	谷岡ヤスジ	『谷岡ヤスジのギャグトピア』(白夜書房)	1980		
V e 19	高野文子	「田辺のつる」	1980	『絶対安全剃刀』1982年(白泉社)	
V e 20	いがらしみきお	『ネ暗トピア』(竹書房)	1982-85		
V e 21 1	杉浦日向子	『二つ枕』(青林堂)	1986		
V e 21 2	杉浦日向子	『二つ枕』原画	1981		
V e 22 1	湊谷夢吉	『魔都の群盲』(北冬書房)	1984		
V e 22 2	湊谷夢吉	「魔都の群盲」原画	1981		
V e 23	大友克洋	『AKIRA』各国語バージョン(講談社)	1982-94		
V e 24	大友克洋	『童夢』(双葉社)	1983		
V e 25	吉田秋生	『吉祥天女』(小学館)	1983-84		
V e 26	内田春菊	「南くんの恋人」	1985-87	『ガロ』1986年10月号(青林堂)	
V e 27	伊藤重夫	『踊るミシン』(北冬書房)	1986		
V e 28	丸尾末広、花輪和一	「江戸昭和競作 無惨絵 英名二十八衆句」(リプロポート)	1988		
V e 29	吉田戦車	『鋼の人』(白泉社)	1989		
V e 30	岡崎京子	『リバーズ・エッジ』(宝島社)	1994		
V e 31		『ヤングコミック』創刊号(少年画報社)	1967		
V e 32		『週刊漫画アクション』創刊号(双葉社)	1967		
V e 33		『ビッグコミック』創刊号ほか(小学館)	1968ほか		
V e 34		『跋折羅』創刊号ほか(跋折羅社)	1971ほか		
V e 35		『夜行』創刊号ほか(北冬書房)	1971ほか		
V e 36	赤塚不二夫 編	『まんがNo.1』(フジオプロ)	1972		
V e 37		『漫金超』創刊号ほか(チャンネルゼロ)	1980ほか		

NO.	作家名等	作品名等	制作年等	技法・素材等	寸法 (cm) 等
V e 38		『銀星倶楽部』創刊号ほか(ペヨトル工房)	1984ほか		
V e 39	ばばこういち編	『ART COMIC 「A・ha」』創刊号ほか	1990ほか		
V e 40		『コミックマーケット46カタログ』	1994		
V e 41	いしかわじゅん編	『週刊漫画アクション別冊 アクションラボ』(双葉社)	1994		
V e 42	江口寿史	『COMIC CUE』(イーストプレス)	1995		
V f 1 1	高田賢三	コート, カーディガン, パンツ	1975-76秋冬	ウール	
V f 1 2	高田賢三	シャツ, スカート	1975-76秋冬	シルク, 木綿	
V f 2 1	川久保玲	ブラウス, スカート	1983春夏	綿ジャージほか	
V f 2 2	川久保玲	スカート	1983春夏	綿ブロード, レーヨンサテン, 麻ガーゼほか	
V f 2 3	川久保玲	ブラウス, スカート	1985春夏	綿ジャージ, レーヨンサテン, 麻ガーゼほか	
V f 2 4	川久保玲	ブラウス, スカート	1985春夏	綿ジャージ, レーヨンサテン, 麻ガーゼほか	
V f 2 5	川久保玲	ウエディングドレス	1990-91秋冬	ポリエステル綿	
V f 3 1	山本耀司	ロングジャケット	1994-95秋冬	ウール	
V f 3 2	山本耀司	ニット付ワンピース	1994-95秋冬	シルク(京友禪), ウール	
V f 3 3	山本耀司	ニット付ワンピース	1994-95秋冬	シルク, ポリエステル, ウール	
V f 4	三宅一生	プリーツ プリーズ イッセイ ミヤケ	1994-95秋冬	ポリエステル	
V h 1	資生堂宣伝部 コンピュータ・ デザイングループ	変わりゆく街・銀座	1995	コンピューターグラフィック	約10分
V g 1	三共	クシャミ3回ルル3錠	1957		120秒
V g 2	サントリー	トリスパー	1958		30秒
V g 3	文明堂	カステラー番, 電話は二番	1961		30秒
V g 4	アイデアル	洋傘の骨	1963		5秒
V g 5	レナウン	イエイエ	1967		60秒
V g 6	パイロット	はっばふみふみ	1969		30秒
V g 7	富士ゼロックス	モーレツからビューティフルへ	1970		30秒
V g 8	中外製薬	ガンバラナクッチャ	1971		30秒
V g 9	マンダム	男の所在	1971		60秒
V g 10	ライオン	ふりむき	1971		30秒
V g 11	日本損害保険協会	うしろ姿	1976		30秒
V g 12 1	関西電気保安協会	玄関口編	1976		15秒
V g 12 2	関西電気保安協会	どんな字編	1987		15秒
V g 12 3	関西電気保安協会	アパート編	1990		15秒
V g 13	資生堂	ナツコの夏	1979		60秒
V g 14	大日本除虫菊	歯医者	1981		15秒
V g 15	松下電器産業	光のメニュー	1982		90秒
V g 16	サントリー	ランボオ	1983		60秒
V g 17	小学館	ピッカピカの一年生	1984		60秒
V g 18 1	ダスキン	その程度ですか	1984		15秒
V g 18 2	ダスキン	そこをなんとか	1989		15秒
V g 19	大日本除虫菊	町内会	1986		30秒
V g 20	ソニー	さる	1987		15秒
V g 21	東海旅客鉄道	クリスマス・エクスプレス	1989		60秒
V g 22 1	大阪府	迷惑駐車 おばはん編	1991		15秒
V g 22 2	大阪府	迷惑駐車 くいだおれ編	1991		15秒
V g 22 3	大阪府	迷惑駐車 大根役者編	1991		15秒
V g 23	ニッセン	見てるだけ	1994		30秒
V g 24	大阪広告協会	貧乏神	1994		15秒
V g 25	メルセデス・ベンツ日本	マーク・イメージ広告'94 安全編	1994		30秒
V g 26	日清食品	Hungry?	1994		30秒
V g 27	湖池屋	ストリート・オブ・ドンタコス	1994		15秒
V g 28	公共広告機構	井戸水	1995		30秒

古寺巡礼—土門拳展

会期：1995(平成7)年6月21日—7月23日(29日間)

会場：展示室ABC, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール,

主催：目黒区美術館, 毎日新聞社

協賛：恭文堂書店, 大成建設

協力：土門拳記念館

担当学芸員：重田誠

巡回スケジュール：1995年4月8日—5月14日 いわき市立美術館

5月20日—6月13日 ナビオ美術館

7月26日—8月27日 笠間日動美術館

9月2日—9月26日 河口湖美術館

1990年80歳で死去した土門拳は、日本を代表する写真家であり、数多くの作品を残し写真芸術史上に一時代を築いた。1939年に室生寺を訪れて以来40年かけた「古寺巡礼」をはじめ「ヒロシマ」、「筑豊のこどもたち」など、その作品は常に人間の喜怒哀楽、日本の伝統・美術・風土に目が向らされた。

本展は、ライフワークとなった「古寺巡礼」シリーズを中心に、各地の仏像、寺院等を撮影した写真作品110点余を展示、土門拳がとらえた日本の美の精髓をたどった。

●カタログ

寸法：23.0×28.2cm

ページ数：200ページ

内容：あいさつ(主催者)／土門美学の原点(藤田良一)／「古寺巡礼」撮影記(藤森武)／土門さんを偲んで(谷内乾岳)／あの頃(亀倉雄策)／図版／土門拳自筆文より／「古寺巡礼」ご案内-土門拳とともに(岸哲男)／土門拳が主に撮影した寺社一覧／土門拳年譜／主要参考文献／出品目録

●ポスター

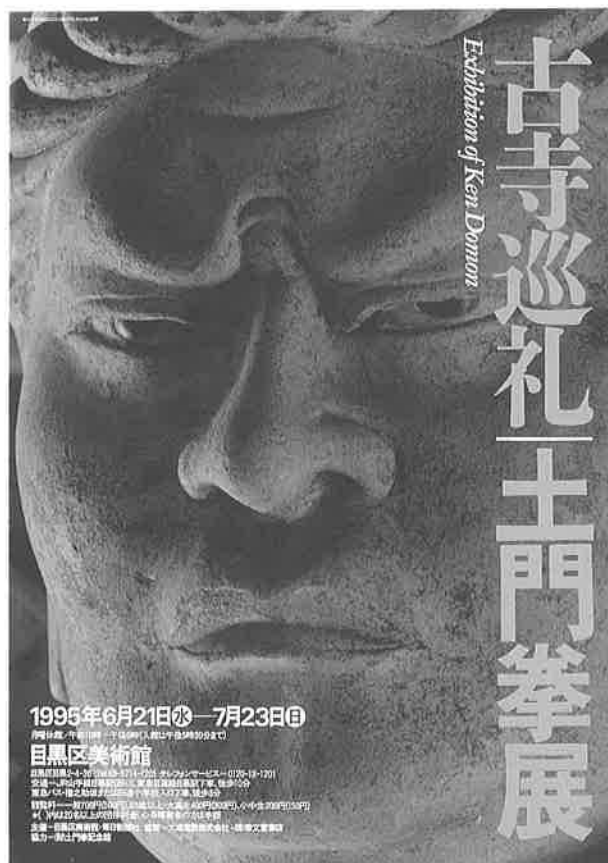
サイズ：B2, B3

●チラシ

サイズ：A4



会場風景



B2 ポスター

出品目録

* [古寺巡礼] nos. 1-56, [室生寺] nos. 57-88, [日本の彫刻] nos. 89-116

NO.	作品名	寸法 (縦×横/cm)	撮影年
1	法隆寺西院中門列柱	75.0×105.0	1960年
2	法隆寺西院金堂全景	75.5×105.5	1961年
3	法隆寺西院金堂釈迦三尊像	105.5×75.5	1960年
4	法隆寺西院金堂多聞天立像 (四天王のうち) 上半身	105.5×75.5	1961年
5	法隆寺西院金堂天蓋彈琵琶飛天坐像	103.0×73.0	1961年
6	法隆寺西院五重塔全景	105.5×75.5	1961年
7	法隆寺西院五重塔初重軒隅斗棋	72.0×105.5	1961年
8	法隆寺西院大宝蔵殿観音菩薩立像 (百済観音) 頭部	75.5×103.0	1960年
9	法隆寺東院夢殿観音菩薩立像 (救世観音) 頭部	105.0×75.0	1960年
10	法隆寺東院夢殿観音菩薩立像 (救世観音) 面相	105.0×75.0	1960年
11	法隆寺東院夢殿観音菩薩立像 (救世観音) 裳	105.5×75.5	1960年
12	薬師寺遠望 (七条大池より)	72.0×105.5	1962年
13	薬師寺東塔	105.5×75.5	1961年
14	薬師寺金堂薬師如来坐像	105.5×75.5	1961年
15	薬師寺金堂日光菩薩立像頭部	105.5×75.5	1961年
16	薬師寺東院堂観音菩薩立像 (聖観音)	105.5×75.5	1961年
17	薬師寺東院堂観音菩薩立像 (聖観音) 頭部	73.0×103.0	1962年
18	薬師寺東院堂観音菩薩立像 (聖観音) 脚部	105.5×75.5	1962年
19	飛鳥寺 (安居院) 金堂釈迦如来坐像面相詳細	75.5×105.5	1964年
20	唐招提寺金堂全景	73.0×103.0	1963年
21	唐招提寺金堂千手観音立像右脇千手詳細	105.0×75.0	1963年
22	唐招提寺金堂千手観音立像左脇千手詳細	105.0×75.0	1963年
23	唐招提寺金堂盧舎那仏坐像	105.5×75.5	1961年
24	唐招提寺新宝蔵如来形立像	105.5×75.5	1950年
25	神護寺金堂薬師如来立像	105.5×75.5	1965年
26	神護寺金堂薬師如来立像頭部	105.5×75.5	1965年
27	神護寺金堂薬師如来立像腹部衣文詳細	105.5×75.5	1963年
28	神護寺金堂薬師如来立像足部	75.5×105.5	1963年
29	向源寺観音堂大日如来坐像面相	75.0×105.0	1963年
30	向源寺観音堂十一面観音立像頭部	73.0×103.0	1963年
31	向源寺観音堂十一面観音立像	105.5×75.5	1963年
32	向源寺観音堂十一面観音立像頭部背面	105.0×75.0	1963年
33	平等院鳳凰堂大棟南端鳳凰詳細	105.5×75.5	1964年
34	平等院鳳凰堂全景	72.0×105.5	1966年
35	平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像見上げ	75.0×105.0	1966年
36	平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像	103.0×73.0	1966年
37	平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像八重蓮華座	75.5×105.5	1966年
38	平等院鐘楼梵鐘池の間飛天図浮彫詳細	72.0×105.5	1965年
39	平等院鳳凰堂夕焼け	72.0×105.5	1961年
40	浄瑠璃寺本堂遠望	72.0×105.5	1961年
41	浄瑠璃寺本堂九体阿弥陀如来坐像	72.0×105.5	1961年

NO.	作品名	寸法 (縦×横/cm)	撮影年
42	浄瑠璃寺本堂吉祥天立像	103.0×73.0	1965年
43	浄瑠璃寺本堂吉祥天立像面相	73.0×103.0	1965年
44	中尊寺金色堂覆堂東北面全景 (旧状)	73.0×103.0	1961年
45	中尊寺金色堂内陣正面全景	72.0×105.5	1961年
46	中尊寺金色堂内陣東北隅卷柱詳細	105.5×75.5	1963年
47	中尊寺金色堂内陣東北隅卷柱菩薩坐像頭部	105.5×75.5	1965年
48	中尊寺金色堂内陣中央須弥壇正面格狭間孔雀文	72.0×105.5	1963年
49	中尊寺金色堂迦陵頻伽文華蔓詳細	72.0×105.5	1963年
50	三十三間堂背面 (西面)	75.5×105.5	1965年
51	三十三間堂内陣千体千手観音立像群	75.0×105.0	1962年
52	三十三間堂内陣千体千手観音立像群正面	75.5×105.5	1962年
53	三十三間堂内陣千体千手観音立像のうち第520号	105.5×75.5	1964年
54	三十三間堂内陣風神像	105.5×75.5	1974年
55	三十三間堂内陣雷神像面相	105.5×75.5	1974年
56	龍安寺石庭全景	72.0×105.5	1961年
57	室生山朝ぎり	180.0×95.0×4枚組	1959年
58	弥勒大石仏と室生川 (春)	180.0×81.0×3枚組	1966年
59	女人高野室生寺	100.0×150.0	1962年
60	室生寺鎧坂から金堂を見る (夏)	180.0×135.0	1966年
61	室生寺鎧坂石段	150.0×100.0	1959年
62	室生寺金堂正面全景 (夏)	180.0×81.0×3枚組	1966年
63	室生寺金堂内陣	180.0×85.0×3枚組	1976年
64	室生寺金堂十一面観音立像	180.0×100.0	1966年
65	室生寺金堂十一面観音立像頭部	150.0×100.0	1941年頃
66	室生寺金堂釈迦如来立像	180.0×100.0	1966年
67	室生寺金堂釈迦如来立像頭部	150.0×100.0	1966年
68	室生寺金堂釈迦如来立像衣文	150.0×100.0	1967年
69	室生寺金堂木造十二神将 (午神)	150.0×100.0	1976年
70	室生寺金堂木造十二神将 (丑神)	150.0×100.0	1942, 43年頃
71	室生寺金堂木造十二神将 (未神)	150.0×100.0	1942, 43年頃
72	室生寺金堂木造十二神将 (未神) 頭部	150.0×100.0	1942, 43年頃
73	室生寺金堂木造十二神将 (丑神) 頭部	150.0×100.0	1942, 43年頃
74	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像	180.0×135.0	1940年
75	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像頭部	150.0×100.0	1966年
76	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像右半面相	150.0×100.0	1942, 43年頃
77	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像左半面相	150.0×100.0	1967年
78	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像翻波衣文	150.0×100.0	1967年
79	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像脚部	180.0×90.0×3枚組	1942, 43年頃
80	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像右手	150.0×100.0	1942, 43年頃
81	室生寺弥勒堂釈迦如来坐像左手	150.0×100.0	1942, 43年頃
82	室生寺灌頂堂 (本堂) 正面全景 (夏)	180.0×90.0×3枚組	1942, 43年頃
83	室生寺灌頂堂 (本堂) 如意輪観音像	180.0×135.0	1966年
84	室生寺五重塔遠望 (春)	180.0×135.0	1966年
85	室生寺五重塔見上げ	180.0×135.0	1964年
86	室生寺五重塔 (夏)	180.0×135.0	1964年
87	室生寺奥の院参道杉木立	180.0×135.0	1960年
88	たそがれる室生山 (秋)	180.0×135.0×2枚組	1941年
89	中宮寺半跏思惟像	35.6×27.9	1961年
90	中宮寺半跏思惟像顔面	35.6×27.9	1940年
91	広隆寺靈宝館半跏思惟像 (宝冠弥勒)	35.6×27.9	1943年
92	広隆寺靈宝館半跏思惟像 (宝冠弥勒) 顔面	35.6×27.9	1943年
93	法華寺十一面観音立像顔面	35.6×27.9	1940年頃
94	法華寺十一面観音立像	35.6×27.9	1943年
95	法華寺十一面観音立像右手先	35.6×27.9	1943年
96	東大寺南大門金剛力士立像 (阿形)	35.6×27.9	1967年

NO.	作品名	寸法 (縦×横/cm)	撮影年
97	東大寺南大門金剛力士立像 (吽形) <small>うんぎょう</small>	35.6×27.9	1967年
98	東大寺戒壇院広目天立像 (四天王のうち) 顔面 <small>かいだんいんこうもくてん</small>	35.6×27.9	1967年
99	東大寺戒壇院多聞天立像 (四天王のうち) 顔面 <small>たもんてん</small>	35.6×27.9	1967年
100	三仏寺投入堂諸尊 <small>さんぶつじにげいれいどう</small>	27.9×35.6	1966年
101	三仏寺投入堂蔵王権現立像 <small>ざおうごんげん</small>	35.6×27.9	1966年
102	三仏寺投入堂蔵王権現立像左手先	35.6×27.9	1966年
103	薬師寺僧形八幡神坐像頭部 <small>やくしじそうごうはちまんじん</small>	35.6×27.9	1940年
104	薬師寺伝神功皇后坐像上半身 <small>やくしじでんしんこうこうごう</small>	35.6×27.9	1940年
105	薬師寺伝神功皇后坐像顔面	35.6×27.9	1967年
106	教王護国寺 (東寺) 僧形八幡神坐像 <small>きょうおうこくごじ</small>	35.6×27.9	1964年
107	教王護国寺 (東寺) 女神坐像顔面	35.6×27.9	1964年
108	松尾大社男神坐像顔右側面 <small>まつのおたいしや</small>	27.9×35.6	1940年頃
109	松尾大社女神坐像 <small>しょうびじやうじ</small>	35.6×27.9	1943年
110	勝常寺薬師如来坐像 <small>しょうじやうじ</small>	35.6×27.9	1959年
111	勝常寺月光菩薩立像頭部 <small>がっこうぼくさつ</small>	35.6×27.9	1940年
112	勝常寺持国天立像 (四天王のうち) 上半身 <small>じこくてん</small>	35.6×27.9	1940年
113	勝常寺持国天立像 (四天王のうち) 顔面	35.6×27.9	1940年
114	勝常寺增長天立像 (四天王のうち) 上半身 <small>せうぢやうてん</small>	35.6×27.9	1940年
115	勝常寺聖観音立像	35.6×27.9	1940年
116	勝常寺聖観音立像顔面	35.6×27.9	1940年

手と目の冒険広場

積むかたち＋組むかたち II パズル・パズル・アート展

会期：1995(平成7)年8月5日～9月17日(38日間)

会場：展示室 BC, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール,

主催：目黒区美術館

協賛：日本コダック株式会社

担当学芸員：降旗千賀子 ワークショップ：榎本寿紀

同時開催：和の技・洋の心-多色摺木版による海外現代版画展

当館では、日本や欧米の作家が制作した積み木や立体構成などのユニークな「トイ・コレクション」を教材として収集している。さまざまな工夫から生み出された玩具は、単なる遊具ではなく、イマジネーションを広げる装置や道具として、手や頭を使って遊ぶことの本当の意味を教えてくれる。

本展では、これまで集めたトイ138点を一堂に展示し、その中にプレイコーナを併設し触れて遊べるように構成、デザインと遊びの両面から色と形の不思議な造形の世界を紹介し、“手で考える”ことの再認識をアピールした。同時に、ワークショップと遊びの広場を開催した。

※ワークショップについてはp. 49 参照。

●カタログ

寸法：15.5×15.5 cm

ページ数：120ページ 蛇腹型

内容：目黒区美術館トイ・コレクション-手で考えるオブジェクト／索引／図版 117点

デザイン：インフォメディア

●ポスター

サイズ：B2, B3 (和の技・洋の心-多色摺木版による海外現代版画展と共通)

デザイン：インフォメディア

●チラシ

サイズ：A4(裏面 和の技・洋の心-多色摺木版による海外現代版画展)

A4(こどもチラシ)

デザイン：インフォメディア

●主要関連記事

“Toying with art to activate creative minds” Julia Cassim, Arts, Japan Times 1995. 9. 17



B3 ポスター



会場風景

出品目録

NO.	作品名	作家名等	制作年等	制作会社等	素材等	寸法 (cm)
1	ネフスピール	クルト・ネフ	1958	ネフ社	木	20.0×20.0×5.0
2	リグノ	ペーター・シュミット	1958	ネフ社 1962	木	20.0×20.0×5.0
3	マルチイツリ	ヨハネス・シャーフェンスタイン	1974	ネフ社	木	27.3×23.8×3.8
4	アニマルパズル	アオイ・フーパー	1975	ネフ社	木	17.5×17.5×3.5
5	ワンウェイ パズル	ヘンリィ・アダムス	1981	ネフ社	木	6.3×14.2×3.0
6	セラ	ピエール・クラーセン	1967	ネフ社 1978	木	10.0×10.0×10.0
7	キュービックス	ピエール・クラーセン	1965	ネフ社 1969	木	10.0×10.0×10.0
8	ダイヤモンド	ピエール・クラーセン	1965	ネフ社 1982	木	12.5×12.5×18.0
9	ロンバス	ピエール・クラーセン	1968	ネフ社 1982	木	23.5×20.3×2.5
10	アングーラ	ピエール・クラーセン	1967	ネフ社 1972	木	22.5×22.5×2.5
11	オルデイーノ	ピエール・クラーセン	1970	ネフ社	木	径6.5×1.6
12	イクス	ピエール・クラーセン	1977	ネフ社	木	13.7×13.7
13	モデュロン	ヨー・ニーメイヤー	1984	ネフ社	木	11.0×11.0×11.0
14	バウハウス バウスピール	アルマ・ジードホッフ・ブーシャー	1923	ネフ社 1977	木	5.5×26.3×4.1
15	カスカド	ウルリッヒ・ナミスロウ	1985	ネフ社 1985	木	22.5×42.0×3.5
16	モザイク	カテリン・キーナー	1987	ネフ社	木	17.2×17.2×3.2
17	オルナボ	フーベルト・ツィマーマン	1960	ネフ社	木	17.5×17.5×3.5
18	タリス	ピエール・クラーセン	1984	ネフ社	木	径6.5 × 高15.5
19	モテイボ	アオイ・フーパー	1979	ネフ社	木	7.0×7.0×7.0
20	ペンタルピィ	アルベルト・グユベリィ	1981	ネフ社	木	25.0×26.0×0.5
21	コロリー	マルセル・アシュヴァンデン	1977	ネフ社	木・金属	径26.0 × 高5.5
22	クニフ	マンフレッド・ジップフェル, コルデュラ・フォン・テッタウ	1980	ネフ社	木	14.0×14.0×2.0
23	ジェミニ	別宮利昭	1980	ネフ社	木	8.7X7.0X7.0
24	マナゴン	ヨースト・ヘニー	1974	ネフ社	木	7.4×7.4×7.4
25	デイスコン	ヨースト・ヘニー	1976	ネフ社	木	径6.0×高 10.5
27	コンツーラ	マンフレッド・ジップフェル, コルデュラ・テッタウ	1977	ネフ社	木	径12.5× 高5.5
28	イゾラ	クリステル&クリスター・ホルムグレン	1982	ネフ社	木	15.0×15.0×10.0
29	プラニーモ	ゲルハルト・ファン・ストウーテン	1979	ネフ社	木	25.5×25.5×1.0
30	カンパニーレ	マンフレッド・ジップフェル, コルデュラ・フォン・テッタウ	1979	ネフ社	木	5.4×5.4×21.0
31	オクタソン	ピエール・クラーセン	1968	ネフ社 1984	木	20.0×10.0
32	バウハウス チェス盤・コマ	ヨセフ・ハルトヴィッヒ	1923	ネフ社 1981	木	35.0×35.0×1.0
33	紐通し(羊・ライオン・ラクダ・ポニー)	フレドゥン シャブール	1976	ネフ社	木・紐	11.0×14.0×0.8
34	タッチテスト	クルト ネフ	1968	ネフ社	木・紙・その他	22.3×22.3×2.0
35	玉の塔	ハンスペーター・リュッティ		ネフ社	木・ガラス玉	15.0×15.0×42.0
36	ロールバーン	ローガー・リムブリックと マイク, マイク・アイレス	1979	ネフ社	木	45.0×17.0×60.0
37	人形の家	ピエール・クラーセン	1970	ネフ社	木	54.0×54.0×25.8
38	人形の家 家具	ピエール・クラーセン	1970	ネフ社	木	
39	ホルツ・ドミノ		1983	ネフ社	木	9.0×22.7×3.5
40	コ・オルディ	ハンスペーター・リュッティ	1977	ネフ社	木	26.8×26.8×2.8
43	コンツーラ	マンフレッド・ジップフェル, コルデュラ・フォン・テッタウ	1977	ネフ社	木	径12.5× 高5.5
45	ヨーヨープティック	田尻ひろとし	1983	ネフ社	木・ひも	径9.0×2.2
46	触察ボード A	小黒三郎	1978	遊ブラン1983	木	26.7×28.0×22.5
47	触察ボード B	小黒三郎	1978	遊ブラン1983	木	26.7×28.0×22.5
48	触察ボード C	小黒三郎	1978	遊ブラン1983	木	26.7×28.0×22.5
49	4つの箱のキューブ	小黒三郎	1981	遊ブラン1983	木	17.0×17.0×17.0
50	銀杏びな2段飾り	小黒三郎	1984	遊ブラン	木	44.0
51	ダイスボックス	加藤裕三	1983	遊ブラン	木	9.5×9.5×9.5
52	5匹の仔ブタ	小黒三郎	1979	遊ブラン1983	木	9.4×18.2×1.9

NO.	作品名	作家名等	制作年等	制作会社等	素材等	寸法 (cm)
53	ネコの家族	小黒三郎	1979	遊プラン1983	木	12.2×17.5×2.5
54	3頭のライオン	小黒三郎	1976	遊プラン1983	木	8.6×16.5×2.3
55	30の動物	小黒三郎	1978	遊プラン1983	木	24.5×38.0×2.3
56	動物パズル(汽車)	小黒三郎	1977	遊プラン1984	木	39.5×59.5×2.5
57	動物パズル(汽船)	小黒三郎	1977	遊プラン1984	木	39.5×59.0×2.5
59	木の動物たち		1964	スビール・フォーム社	木	
60	街の小さな建築家			デュシマ	木	
61	不思議なモザイク	ヨハネス・シャーフェスタイン		デュシマ社	木	24.0×24.0
63	童話あそび	エンゾ・マリ	1965	ダネーゼ社	紙	9.0×18.1
64	16の動物	エンゾ・マリ	1957	ダネーゼ社 1972	プラスチック	25.0×34.0
65	16の魚	エンゾ・マリ	1974	ダネーゼ社	プラスチック	24.7×33.7
66	お絵描きカード	エンゾ・マリ	1978	ダネーゼ社	紙	49.0×16.8
67	パノラマ構成	ジョバンニ・ベルグラノー	1974	ダネーゼ社	木	72.0×115.0
68	葉っぱをつけよう(木)	ブルーノ・ムナーリ	1973	ダネーゼ社	ゴム・紙	33.0×33.0
69	葉っぱをつけよう(つた)	ブルーノ・ムナーリ	1975	ダネーゼ社	ゴム・紙	33.0×33.0
70	ABCを組立てよう	ブルーノ・ムナーリ	1960	ダネーゼ社	塩化ビニール	33.0×33.0
72	迷路遊び	ブルーノ・ムナーリ	1973	ダネーゼ社	紙	33.0×33.0
73	プラス・マイナス	ブルーノ・ムナーリ	1970	ダネーゼ社	塩化ビニール	33.0×33.0
79	本に出会う前の本	ブルーノ・ムナーリ	1979	ダネーゼ社	木・紙・布	9.8×9.8
80	バード・ツリー	福田繁雄	1965		木	26.5×21.0×9.0
81	ホーム	福田繁雄	1967		木	23.8×20.0×2.3
82	卵の中の6羽の鳥	福田繁雄	1966		木	22.0×16.0×2.5
83	陶器のパズルー立方体	有岡進			陶土	7.0×7.0×7.0
84	陶器のパズルー円錐	有岡進			陶土	径11.0×高10.0
85	キュービックアニマル くま	梅田素博	1983		木・布	10.0×10.0×10.0
86	キュービックアニマル だちょう	梅田素博	1983		木・布	10.0×10.0×10.0
87	テラノザウルス	平野友一	1985		合成紙(塩化ビニール)	21.5×20.5×24.0
88	プロトケラトプス	平野友一	1985		合成紙(塩化ビニール)	21.7×10.6×10.0
89	プテラノドン	平野友一	1990		合成紙(塩化ビニール)	15.1×27.8×4.5
90	ひなとたまご	中川久嗣	1985		たまご	22.5×17.3×14.2
91	引出し自動車	中川久嗣	1985		木	37.3×18.8×18.2
92	トレーラーと組立て家屋	中川久嗣	1985		木	79.6×16.0×18.0
93	デコイ	中川久嗣	1985		木	31.0×17.5×17.0
94	ミゼット	中川久嗣	1985		木	16.0×9.0×10.5
95	チューリップ	古渡章	1988		木	75.0×80.0×105.0
96	K 30(大)	遠藤裕(きずな工房)	1984		木・紐	径21.0
97	K 30(小)	遠藤裕(きずな工房)	1984		木・紐	径20.0
98	雪の結晶	遠藤裕(きずな工房)	1984		木・紐	径16.0
99	ランビッグ・アニマル	遠藤裕(きずな工房)	1983		木・紐	25.4×13.6×5.4
100	ジグ・ワールド	飛山裕幸	1986		木	31.0×31.0×31.0
102	根っこの樹	吉崎元造	1982		紙	20.0×20.0×40.0
103	コントラクツリー	吉崎元造	1982		紙	33.0×27.0×49.0
104	4ジャンゴの城	吉崎元造	1990		紙	13.0×18.0×74.0
105	自由への目論見	菅沼緑	1988		木	35.0×18.0×77.0
106	自由の種類	菅沼緑	1988		木	33.0×52.0×40.0
107	ヨシモトキューブ no.1	吉本直貴	1971		プラスチック	5.0×5.0×5.0
108	ヨシモトキューブ no.2	吉本直貴	1971		プラスチック	5.0×5.0×5.0
109	ヨシモトキューブ no.3	吉本直貴	1971		プラスチック	5.0×5.0×5.0
110	51本 組木	山中成夫(山中組木工房)	1966		木	25.8×25.8×25.8
111	19本 組木	山中成夫(山中組木工房)	1966		木	13.5×13.5×13.5
112	6本 組木	山中成夫(山中組木工房)	1960		木	10.8×10.8×10.8
113	赤玉	山中成夫(山中組木工房)	1960		木	22.3×22.3×22.3
114	オリマルズ	田代耕司	1980		紙	9.0×20.5-65.0
116	鳩笛	柳宗理	1968	柳工業デザイン研究会	木	8.3×4.5×7.0
117	かめ	柳宗理	1965	柳工業デザイン研究会	木	11.6×9.0×4.6

NO.	作品名	作家名等	制作年等	制作会社等	素材等	寸法 (cm)
118	樹々のつみ木		1978	海馬室内木地制作所	木	26.2×26.2×7.0
119	イタヤキツネ					径10.0×高11.2
120	カラーフォーム	カラーフォーム社	1951	The Museum of Modern Art New York	紙, ビニール	30.5×36.1
121	カードの家	チャールズ・イームズ	1952	ニューヨーク近代美術館		紙8.9×5.8
123	トラック	シュライヒ社			プラスチック	32.0×14.0×12.0
124	スポーツ・ワーゲン	シュライヒ社			プラスチック	23.0×9.3×6.8
128	ミニエアプレーン	シュライヒ社			プラスチック	11.0×14.2×7.5
130	ワーゲン	シュライヒ社			プラスチック	16.0×9.0×5.5
131	鳥の親子	アントニオ・ヴィタリー		シャープ	木	12.7×9.0×10.0
132	あひるの家	アントニオ・ヴィタリー	1944	シャープ	木	8.9×11.0×12.0(大) 8.6×8.9×9.7(小)
133	羊	アントニオ・ヴィタリー		シャープ	木	9.3×3.9×7.8
134	子羊	アントニオ・ヴィタリー		シャープ	木	7.8×3.0×5.5
135	長いとり	アントニオ・ヴィタリー		シャープ	木	14.0×3.3×4.0
136	長い魚	アントニオ・ヴィタリー		シャープ	木	12.8×3.9×2.5
138	木のお城	マリオ・フィスター		フィスター社	木	11.5×6.7×9.0

小企画展

和の技・洋の心-多色摺木版による海外現代版画展

会期：1995(平成7)年8月5日-9月17日(38日間)

会場：展示室 A

主催：目黒区美術館

担当学芸員：矢内みどり

同時開催 手と目の冒険広場 積むかたち+組むかたちIIパズル・パズル・アート展

浮世絵の伝統を持つ日本の木版に着目した米国の版画工房により、多くのアーティストが、京都の伝統的木版摺師を訪れたり、米国在住の日本人摺師がアーティストと共同作業を行ったりして多色摺木版による現代版画を制作してきた。

本展ではこうして生まれた新境地の木版約50点により構成、また版の見本や摺りの行程をうかがうことのできる展示も併せて行った。

●カタログ

寸法：29.6×21.0cm

ページ数：8ページ

内容：ごあいさつ(福永重樹)/摺師略歴/日本木版
技法の現代感覚(中村英樹)/図版/出品リスト

●ポスター

サイズ：B2, B3(手と目の冒険広場 積むかたち+組むかたち
IIパズル・パズル・アート展と共通)

●チラシ

サイズ：A4(裏面 手と目の冒険広場 積むかたち+組むかたち
IIパズル・パズル・アート展)

●主要関連記事

「日本木版技法の現代感覚」中村英樹(『ハイブリッド・アートの
誕生-東西アート融合に向けて』現代企画室, 1996年)



会場風景

出品目録

NO.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	版数・色数・エディション	版元
1	メール・バクナー	無題	1990	33.7×46.7	10版 17色 P.P.(ed.40)	Hlene Kurtz Edition
2	メール・バクナー	無題	1990	33.8×47.2	15版 20色 P.P.(ed.40)	Hlene Kurtz Edition
3	ウィリアム・ブライス	京都	1987	103.5×70.5	19版 7色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
4	フランチェスコ・クレメンテ	私	1982	43.0×57.0	14版 45色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
5	フランチェスコ・クレメンテ	朝	1982	43.0×57.0	14版 45色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
6	フランチェスコ・クレメンテ	自画像	1990	72.6×56.4	46版 16色 O.T.P.(ed.150)	Crown Point Press
7	チャック・クロース	レスリー	1986	79.5×64.0	51版 19色 O.T.P.(ed.150)	Crown Point Press
8	チャック・クロース	アレックス・カツ	1992	67.5×55.0	100版 200色 (ed.75)	Pace Edition
9	ロバート・カティンガム	ローリング・ストグシリーズ 13	1993	58.5×58.5	42版 60色 (ed.50)	Cleveland Print Club
10	リチャード・ディーベンコーン	オークル	1983	69.5×96.7	19版 12色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
11	リチャード・ディーベンコーン	ダブル・エックス	1987	58.7×44.0	1版 1色 O.T.P.(ed.50)	Crown Point Press
12	エリック・フィシル	無題	1988	42.0×42.0	26版 9色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
13	ヘレン・フランケンセーラー	ヒマラヤ杉の丘	1988	51.5×63.1	13版 10色 A.P.(ed.75)	Crown Point Press
14	アル・ヘルド	パチンコ	1989	67.0×85.0	34版 17色 O.T.P.(ed.125)	Crown Point Press
15	ブライアン・ハント	窓	1986	55.0×44.0	25版 7色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
16	ブライアン・ハント	デュエット : 風	1986	45.0×36.5	1版 1色 O.T.P.(ed.25)	Crown Point Press
17	ブライアン・ハント	デュエット : 雷	1986	45.0×36.5	1版 1色 O.T.P.(ed.25)	Crown Point Press
18	井田照一	ガーデン・プロジェクト 一木, 紙, 火, 雨-垂直と水平の間	1986	74.0×53.5	13版 8色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
19	ドナルド・ジャッド	無題 1 「無題」 10点組より	1992	58.8×79.0	2版 各色3度摺 O.T.P.(ed.30)	Creative Works Editions
20	ドナルド・ジャッド	無題 2 「無題」 10点組より	1992	58.8×79.0	2版 各色3度摺 O.T.P.(ed.30)	Creative Works Editions
21	アニシ・カブア	無題	1990	70.0×60.0	24版 3色 O.T.P.(ed.75)	Crown Point Press
22	アニシ・カブア	無題	1990	70.0×60.0	22版 3色 O.T.P.(ed.75)	Crown Point Press
23	アレックス・カツ	緑色のキャップ	1985	45.0×61.5	23版 13色 R.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
24	アレックス・カツ	泳ぐ人	1990	59.3×69.0	26版 9色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
25	ロバート・クシュナー	ダフネ I	1985	82.0×63.2	26版 22色 O.T.P.(ed.150)	Crown Point Press
26	ロバート・クシュナー	牡丹	1991	各46.5×46.5	1版 41バリエーション O.T.P.	Crown Point Press
27	ロバート・クシュナー	水仙	1994	54.5×39.2	15版 10色 P.P.(ed.50)	Center for Woodblock Print, Art & Science
28	ソル・ルウィット	四隅から出る弓形	1986	58.4×82.5	12版 5色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
29	ソル・ルウィット	黒く縁取られた四方向の 線の帯 (水平・長方形)	1993	26.7×72.4	20版 29度摺 P.P.(ed.125)	Walanabe Studio
30	ロバート・マンゴールド	5色のフレーム	1985	63.2×53.5	23版 10色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
31	ロバート・モスコウィツ	ムーン・ドッグ	1988	48.5×31.8	16版 4色 O.T.P.(ed.75)	Crown Point Press
32	ロバート・モスコウィツ	赤と黒	1988	35.0×61.4	16版 5色 O.T.P.(ed.75)	Crown Point Press
33	A. R. ベンク	ターゲット (『ホーネン・イン・ ソーツ』シリーズ, 7点組より)	1992	103.0×89.0	12版 3色 P.P.(ed.50)	Creative Works Editions
34	A. R. ベンク	テンプテーション (『ホーネン・ イン・ソーツ』シリーズ, 7点組より)	1992	103.0×89.0	15版 7色 P.P.(ed.50)	Creative Works Editions
35	ジュディー・ファフ	代々木II	1985	81.0×91.4	26版 18色 P.P.(ed.75)	Crown Point Press
36	デヴィッド・サーレ	はさみとナイトクラブの あるポートレイト	1987	63.0×76.0	39版 11色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
37~39	ピーター・シューフ	無題	1994	3点組 各23.0×31.0	(#1)9版20度摺(#2#3) 8版14度摺 P.P.(ed.125)	Tomoko Ligouri Editions
40	ショーン・スカリ	ナルシサス	1991	48.0×37.0	10版 13色 P.P.(ed.30)	Garner Tullis Studio
41	ホセ・マリア・シシリア	アセビ	1989	64.5×77.0	22版 5色 B.A.T.(ed.100)	Crown Point Press
42	ホセ・マリア・シシリア	シキブ	1989	64.8×76.9	20版 6色 B.A.T.(ed.100)	Crown Point Press
43	パット・ステア	京都 キク	1982	42.0×54.5	20版 26色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
44	パット・ステア	ヒマワリ	1986	67.8×100.5	26版 16色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
45	ウエイン・チーボ	ヒル・ストリート	1987	94.5×62.0	39版 16色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press
46	デイヴィッド・F.トルー	カット・フラワー, 思いがけない	1989	77.5×109.0	31版 16色 O.T.P.(ed.150)	Crown Point Press
47	デイヴィッド・F.トルー	こわれやすい翼	1989	53.0×63.0	26版 14色 O.T.P.(ed.100)	Crown Point Press
48	ウィリアム・T.ワイリー	イーリー・グロット (無気味な小屋)? おおきに	1982	57.0×75.0	26版 85色 O.T.P.(ed.200)	Crown Point Press

摺師 (所蔵先) 名 No. 1. 2. 8. 9. 40 篠原奎次 29. 37. 38. 39 浜中卓治 その他 戸田 正

エコール・ド・ニース 1950-1995展

会期：1995(平成7)年10月6日-11月10日(31日間)
 会場：展示室ABC, 展示ロビー, エントランスホール,
 主催：目黒区美術館, 毎日新聞社
 協力：日本航空, ヤマト運輸, 美術出版社
 後援：フランス文化省, フランス大使館, ニース・マタン紙
 企画協力：プレスキット
 担当者：渡辺光三(副館長)
 同時開催：画材と素材の引き出し博物館

南仏ニースはパリに次ぐ文化都市であり、第二次世界大戦後も様々な作家を輩出し、フランスの戦後美術をリードしてきた。このニースの一群のアーティストたちは、美術評論家たちによって「エコール・ド・ニース」と呼ばれた。

本展はクライン、セザールをはじめとする20人のアーティストの作品100点を一堂に集め、さらに写真、ポスターといった資料も交え、日本で初めて「エコール・ド・ニース」の全貌を紹介した。

●カタログ

寸法：21.0×29.9cm
 ページ数：116ページ

内容：あいさつ(目黒区美術館, 毎日新聞社)／エコール・ド・ニースを求めて(中村隆夫)／エコール・ド・ニース, エコール・ド・ヴィ؟! (ピエール・レスタニ)／ニースという視点(クロード・フルネ)／エコール・ド・ニースの軌跡(フレデリック・アルトマン)／主要作品目録／

●ポスター

サイズ：B2, B3

●チラシ

サイズ：A4

●主要関連記事

「ニースが育んだ絵画の透明性とエネルギー」中村隆夫, 月刊美術1995年10月号
 「保養地の陽光思わせる作品群」朝日新聞1995年10月24日夕刊



会場風景

イヴ・クライン、セザール、アルマン、マルセル・レイス、ベン……
「エコール・ド・ニース1950-1995」展
 エコール・ド・ニースの全貌が日本で初めて明らかにされる。

会期：'95年10月6日(金)～11月10日(金)

会場：目黒区美術館 同時開催「画材と素材の引き出し博物館」

〒153 東京都目黒区目黒2-4-24 TEL. 03-3214-1201
 ■観覧料：一般200円(60歳以上) 学生100円(18歳以上) 300円(40歳以上) / 11月10日 100円(100円)
 ※1) 10名以上の団体料金、別途要する場合はお問い合わせください。
 ※2) 観覧料には消費税(画材と素材の引き出し博物館)も含まれています。
 ■主催：目黒区美術館 / 毎日新聞社
 ■協力：日本航空 / ヤマト運輸 / 美術出版社
 ■後援：フランス文化省 / フランス大使館 / ニース・マタン紙
 ■企画協力：プレスキット TEL. 03-3268-7011 / Editions d'Art J. Boudin



20世紀後半、ニースがアートの発信地となった。

ECOLE DE NICE 1950-1995

B2 ポスター

出品目録

NO.	作家名	作品名	制作年	素材等	寸法 (mm)
1	セザール	ファニ・ファニ	1981-1991	ブロンズ	2,450×1,230×2,330
2		双子のケンタウロス	1983-1995	ブロンズ	1,210×950×1,200
3		潰された自動車のコラージュ	1994	メタル	1,010×1,520×130
4		小さな鶏	1994	鋳鉄	260×190×110
5		コッコ	1957	ブロンズ	310×170×330
6		水筒	1988	メタル	520×605×410
7		潰されたフェラーリ	1994	メタル	510×430×70
8		潰されたフェラーリ	1994	合成樹脂	510×430×70
9		潰されたバイク	1995	合成樹脂	500×420
10	アルマン	長い間に	1983	真鍮	640×560×460
11		アンドレ・ヴェルデの肖像	1982	ミックスメディア	1,000×800
12		トーテム	1987	ブロンズ	2,250×930×810
13		豹	1989	ブロンズ	1,300×1,000×530
14		ミ・メディア・フィーノ	1966	樹脂・楽器	620×165×115
15		アングル＝サージュ	1995	ブロンズ	340×140×140
16		燃やされたヴァイオリン	1971	樹脂・楽器	800×500×70
17		罪に通じる悪趣味	1972	楽器	1,230×1,230×215
18	ベン	美術史は土産屋の問題でしかない	1995	木・キャンバス	1,500×2,140×270
19		時は流れる	1995	時計・キャンバス	600×600
20		アルチンボルド	1994	ミックスメディア	960×770
21		他を見よ	1982	アクリル・キャンバス	1,950×1,300
22		君は……	1993	アクリル・キャンバス	1,300×1,950
23	ソスノ	ミロのヴィーナス	1995	鉄板	2,000×970×100
24		無題	1985	大理石・ブロンズ	440×190×170
25		耳を澄まして	1993	大理石	490×410×450
26		空虚と充満	1993	大理石	400×190×100
27		ヘルメス	1987	ブロンズ	390×240×140
28		未完	1994	大理石	650×200×190
29		立方体のある頭部	1995	ブロンズ	270×240×200
30		トルソのヴァリエーション	1994	ブロンズ	235×145×85
31		ヴィーナス	1995	ブロンズ	250×140×140
32		立方体のある頭部	1995	大理石	1,200×570×610
33	ジッリ	流失	1981	木	2,330×1,340
34		木	1995	鉄	1,800×1,100×1,580
35	ファリ	鉄	1992	鉄	500×250×250
36		無題	1994	プラスチック	1,150×500×530
37	ニヴェズ	無題	1993	木	900×900
38		ディプティック	1994	木	1,220×2,440
39		無題	1993	木	740×740
40		無題	1995	ブロンズ	280×250×50
41		ピラミッド	1995	鋼板	300×300×320
42		ピラミッド	1995	鋼板	2,000×2,800×1,400
43	シューバック	3本の棒	1995	木	2,100×980×500
44	モヤ	ピノキオ	1995	キャンバス	2,800×1,850
45		ピノキオ	1995	鋼板	420×140×220
46		ロバ	1993	キャンバス	900×1,200
47		ロバ(2体)	1995	メタル	1,850×1,540×1,930 350×395×300
48		モヤと牡牛	1995	メタル	410×510×340
49		牡牛	1995	鋼板	1,710×2,100×1,460
50	カルティエ	お嬢さん	1994	石・鉄	2,550×800×700
51		ランナー(4体)	1994	石・鉄	640×440×350
52		カメラマン	1995	石・鉄	870×550×540

NO.	作家名	作品名	制作年	素材等	寸法 (mm)
53		犬	1995	石・鉄	550×580×800
54		三つの宗教	1995	鉄	1,300×900×260
55		古靴	1990	ブロンズ	180×160×270
56		ゴルフシューズ	1994	ブロンズ	230×120×230
57		サクソフォン	1994	楽器・真鍮	710×320×190
58		コントラバス	1990	楽器・鉄	1,900×650×1,200
59		ジャズ・コントラバス	1995	ブロンズ・鉄	420×190×140
60		戦士	1994	石・鉄	2,550×1,200×1,800
61	アロッコ	横糸を抜いた絵画	1981	布と木	2,290×1,260
62	キャヴィアック	ブルージーンズよ永遠に	1993	ブロンズ	1,830×820×1,330
63		ジーンズの女	1993	ブロンズ	330×210×170
64		ジーンズの女	1995	ブロンズ	320×180×140
65		ポケットの中の日本円	1994	ブロンズ	210×166×60
66		ポケットの中のゴルフ	1994	ブロンズ	250×165×70
67		それはポケットの中に、そして永遠に	1991	ブロンズ	1,700×800×400
68		歩くジーンズ	1995	ブロンズ	270×180×90
69	カラム	我、喉乾きけり	1995	キャンバス・釘	1,910×730
70		愛する権利	1995	キャンバス	730×1,165
71		奇跡を待ちながら	1995	キャンバス	730×1,165
72		イメージに用心せよ	1995	キャンバス	730×1,165
73		ネム・ヴェム・ケ・サン・テム	1995	キャンバス	730×1,165
74	ヴェルデ	宇宙進化論	1968	アクリル・キャンバス	1,280×900
75		肥沃な空間	1988	アクリル・キャンバス	650×500
76		偶像	1961	アクリル・キャンバス	1,200×1,500
77		プラスチックの光	1969	プラスチック	910×1,320
78		そしてもし破壊的な力が	1982	アクリル・キャンバス	1,140×1,470
79	レイス	凝縮した美しい夏	1962	シルクスクリーン	1,930×500
80		抽象的なコラージュ	1958	布・グワッシュ	230×300
81		抽象	1958	グワッシュ	650×500
82		ミラー	1961	アサンブラージュ	600×360
83	クライン	モノクローム・ブルー	1959	キャンバス	550×460
84		青いヴィーナス	1961	石膏・顔料・樹脂	695×320×230
85		青いスポンジ		スポンジ	340×140
86		地球は青かった			360
87		赤・オレンジの流失		グワッシュ	325×420
88		モノクローム：オレンジ	1951	グワッシュ	330×220
89		緑の樹々	1946	グワッシュ	200×250
90		カーニュ・シュル・メール	1946	キャンバス	610×500
91		サーベル	1946	グワッシュ	180×110
92		炎の絵画	1961	アスベスト	500×2,000
93	シャルヴォラン	無題	1993	ミックスメディア	2,100×1,300
94	マッカフェッリ	無題	1994	木	1,000×400
95	ミゲル	無題	1994	木・鉄筋コンクリート	820×700
96	マス	カージャ・ムッシュ	1973	コルク栓・ピン	1,220×2,040
97	レスタニ、ジッリ、 ファリ、ヴネ、 アルマン、ヴェルデ	われわれの天文台	1970	ミックスメディア	500×500×500

小企画展

画材と素材の引き出し博物館

会期：1995(平成7)年10月6日-11月10日(31日間)

会場：ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：降旗千賀子

同時開催：エコール・ド・ニース 1950-1995展

当美術館では開館以来、美術に関わる様々な素材に目を向け「画材と素材の引き出し博物館」の制作を続けている。現時点で画材、木、紙、金属の4種類が完成し引き出し数もトータルで81個になった。

画材や素材は、それ自体鑑賞の対象となるものではないが、それを見直してゆくと、人々の手と技が介在した“モノ”の魅力が秘められている。画材や素材に関する素朴な問いかけからの答を、実物を用いてビジュアルにパッケージしたのが「画材と素材の引き出し博物館」である。本展ではこれらを展示し、引き出し一つ一つの中に納められた“モノ”の魅力を紹介した。さらに一般書籍として刊行された引き出し博物館カタログも紹介した。

●ポスター

サイズ：B2,B3(エコール・ド・ニース
1950-1995展のポスターに表示)

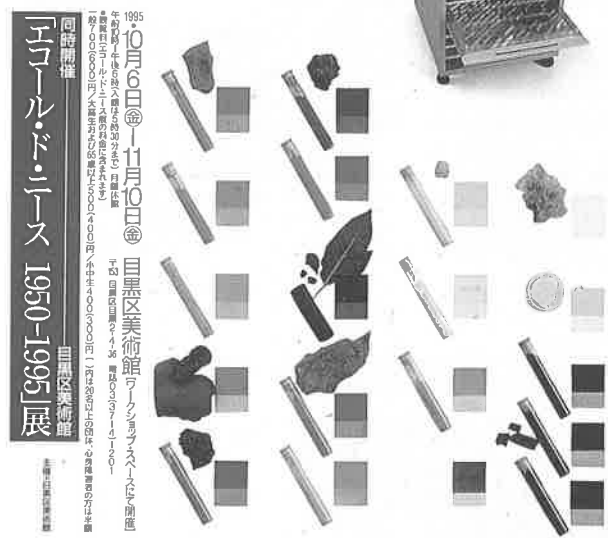
●チラシ

サイズ：B5
デザイン：大石一義

●書籍：「画材と素材の引き出し博物館」目黒区美術館編中央公論 美術出版 1995

画材と素材の引き出し博物館 DRAWERS: The Museum Inside

目黒区美術館では開館以来、美術に関わるさまざまな素材に目を向け、「画材と素材の引き出し博物館」の制作を続けております。現時点で、画材、木、紙、金属の4種類が完成し、引き出し数もトータルで81個になりました。画材や素材は、それ自体鑑賞の対象となるものではありませんが、それを見直してゆくと、人々の手と技が介在した“モノ”の魅力が秘められていることに、あらためて気がつきます。チューブに入った絵具が使われるようになる以前は、どのようなものから色を得ていたのか。紙が選ばれるようになる以前は、どのようなものを使っていたのか。画材や素材に関するこうした素朴な問いかけからの答を、実物を用いてビジュアルにパッケージしたのが「画材と素材の引き出し博物館」です。引き出し一つ一つの中におさまられた“モノ”の魅力をぜひご堪能ください。



B5 チラシ

生誕百年記念 里見勝蔵展

会期：1995(平成7)年11月18日—1996(平成8)年1月15日(44日間)

会場：展示室 ABC, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール,

主催：目黒区美術館, 京都国立近代美術館, 読売新聞社, 美術館連絡協議会

協賛：花王

担当学芸員：山田敦雄

巡回スケジュール：1995年7月18日—8月27日 京都国立近代美術館

10月6日—11月5日 鳥取県立博物館

1996年1月27日—3月3日 郡山市立美術館

洋画家・里見勝蔵(1895-1981)は、東京美術学校を卒業後まもなく渡仏し、ヴラマンクに学び、自由で自立的な色彩で対象を描き出すフォーヴィスムの方法を自己のものとした。帰国後は、新鮮な作風で一躍注目を集め、1939年協会や独立美術協会の創立などにも主要な役割を果たした。激しい色彩、裸婦をはじめ大胆なフォルムと構図など、その作品は我が国の近代の洋画を考える上で忘れることの出来ない大きな影響を残している。本展は生誕百年を機に、その生涯をフランス時代、帰国後の作風確立から最晩年まで、170点余の油彩・素描・彫塑ほか多彩な資料を展観、画家里見勝蔵の大きな足跡をはじめて本格的に回顧、紹介した。

●カタログ

寸法：22.0×29.0 cm

ページ数：184ページ

内容：あいさつ(主催者)／謝辞／フォーヴの旗手里見勝蔵(富山秀男)／里見勝蔵氏と私の父との巡り合い(久保文)／図版／里見勝蔵と京都の風土(島田康寛)／渡欧の成果—ヴラマンクとの出会い(三谷巍)／華やかさと孤独(山田敦雄)／裸婦連作(山野映嗣)／「巴里通信」以後—里見勝

●ポスター

サイズ：B1, B2

●チラシ

サイズ：A4



B2 ポスター

出品目録

NO.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	出品歴	所蔵先
●油彩						
1	職工	1917	油彩・カンヴァス	80.4×65.0	第4回二科展	
2	下濱の風景	1917	油彩・カンヴァス	60.5×72.5	第4回日本美術院展	
* 3	自画像	1919	油彩・カンヴァス	60.8×45.3	(東京美術学校卒業制作)	東京芸術大学芸術資料館
4	下落合風景	1920	油彩・カンヴァス	58.7×72.0		
5	舞姫	1921	油彩・カンヴァス	60.6×50.0	第8回二科展《肖像》	京都市美術館
* 6	裸婦	1921頃	油彩・カンヴァス	72.6×60.5		神奈川県立近代美術館
7	肖像	1923	油彩・カンヴァス	35.5×27.3		
8	青年像	1924	油彩・カンヴァス	60.5×50.3		
9	オーヴェルの正面	1924	油彩・カンヴァス	50.0×60.0	第1回1930年協会展	
10	マリヌの記念	1924	油彩・カンヴァス	73.2×92.0	第12回二科展	
11	溪谷の春	1924	油彩・カンヴァス	72.0×104.0	第12回二科展	京都国立近代美術館
12	マリヌ風景	1924	油彩・カンヴァス	49.8×60.5		
13	風景(川辺の花)	1924	油彩・カンヴァス	53.0×72.5		
14	静物	1924	油彩・カンヴァス	50.0×60.6		
15	キャフェ・デ・ザルチスト	1924	油彩・カンヴァス	69.0×95.0	第1回聖徳太子奉賛展	
16	風景ーネル・ラ・ヴァレー	1924	油彩・カンヴァス	53.5×64.5	第1回1930年協会展	
17	ポントワーズの雪景	1924頃	油彩・カンヴァス	58.0×70.5	第1回聖徳太子奉賛展	
18	静物	1924頃	油彩・カンヴァス	59.7×72.2		
19	静物	1924頃	油彩・カンヴァス	65.2×92.0		京都国立近代美術館
20	洋梨と葡萄	1924頃	油彩・カンヴァス	60.0×81.0		
21	雪景	1924-25	油彩・カンヴァス	33.7×45.7		大阪市立近代美術館建設準備室
22	雪景ーリラダムー	1924-25	油彩・カンヴァス	37.5×45.5		
23	ストーヴ	1924-25	油彩・カンヴァス	55.4×44.0		
24	雪景	1925	油彩・カンヴァス	65.4×80.6		目黒区美術館
25	エトルタの怒濤(エトルタ)	1925	油彩・カンヴァス	73.0×91.8	第1回1930年協会展	盛岡橋本美術館
26	室内(女)	1927	油彩・カンヴァス	81.0×116.8		東京国立近代美術館
27	少女(ピアノの前の)	1927	油彩・カンヴァス	91.0×65.3		
28	軍人	1927	油彩・カンヴァス	74.0×60.0		
29	石膏像のある静物	1927	油彩・カンヴァス	91.0×72.8	第14回二科展	東京国立近代美術館
30	石膏のある静物	1927	油彩・カンヴァス	59.0×71.5		
31	静物(梨と鴨のある)	1927頃	油彩・カンヴァス	92.0×63.0		盛岡橋本美術館
32	男の肖像	1928	油彩・カンヴァス	45.5×37.9		
33	赤と緑の静物	1928	油彩・カンヴァス	60.0×79.4		
34	少女	1928	油彩・カンヴァス	80.0×60.5	第3回1930年協会展	
* 35	娘の化粧	1928	油彩・カンヴァス	80.3×65.2	第15回二科展	広島県立美術館
* 36	女	1928	油彩・カンヴァス	53.5×73.5	第3回1930年協会展	京都市美術館
37	女	1928	油彩・カンヴァス	60.7×82.5	第15回二科展	
38	女	1928	油彩・カンヴァス	80.3×116.7	第16回二科展	目黒区美術館
39	女	1928頃	油彩・カンヴァス	45.5×53.0		富岡市立美術博物館
40	女	1928頃	油彩・カンヴァス	92.0×65.2	第16回二科展	京都国立近代美術館
41	裸女	1928頃	油彩・カンヴァス	33.4×24.3		
42	女	1929	油彩・カンヴァス	74.0×100.0	第4回1930年協会展	茨城県近代美術館
43	女	1930	油彩・カンヴァス	79.7×115.7		愛知県美術館
44	女	1930	油彩・カンヴァス	65.0×92.0	第17回二科展	三重県立美術館
45	女(裸婦)	1930	油彩・カンヴァス	80.6×116.9		福岡市美術館
46	女二人(二女)	1930	油彩・カンヴァス	132.5×162.5	第17回二科展	板橋区立美術館
47	顔	1930	油彩・カンヴァス	45.5×33.3	第2回自選展(1970年)	
48	和服の女	1930	油彩・カンヴァス	65.5×53.2	第2回自選展(1970年)	
* 49	マネキンの静物	1930	油彩・カンヴァス	90.9×116.7	第1回独立美術協会展	静岡県立美術館
50	黄色の裸婦	1930頃	油彩・カンヴァス	73.1×100.0		
51	女	1931	油彩・カンヴァス	90.7×65.3	第2回独立美術協会展	山口県立美術館

NO.	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	出品歴	所蔵先
* 52	K 婦人像	1931	油彩・カンヴァス	100.2×73.0	第1回独立美術協会展《肖像》	広島県立美術館
53	ヴァイオリン	1931頃	油彩・カンヴァス	61.0×73.0		
** 54	花のある静物	1931-32	油彩・カンヴァス	65.2×53.0	第2回独立美術協会展	神奈川県立近代美術館
55	扇を持つ女	1932	油彩・カンヴァス	65.5×91.5	第2回独立美術協会秋季展	
56	画室にて	1932	油彩・カンヴァス	135.5×126.5	第2回独立美術協会秋季展	
57	紫陽花	1932	油彩・カンヴァス	73.0×59.0		
58	婦人像	1932	油彩・厚紙	22.8×17.5		
59	少女像	1932頃	油彩・カンヴァス	65.2×53.0		
60	静物	1932頃	油彩・カンヴァス	53.0×64.9		
** 61	女	1933	油彩・カンヴァス	65.2×50.0	第3回独立美術協会展	神奈川県立近代美術館
62	婦人像	1933	油彩・カンヴァス	55.5×40.5	第1回自選展(1968年)	
63	顔	1933	油彩・厚紙	26.5×21.0		
64	少女像	1934頃	油彩・カンヴァス	65.2×53.1	第4回独立美術協会展	
65	横たわる裸婦	1934頃	油彩・カンヴァス	65.2×91.0		盛岡橋本美術館
66	少女	1935	油彩・カンヴァス	53.0×33.0	第5回独立美術協会展	青梅市立美術館
67	風景	1935	油彩・カンヴァス	65.2×90.7	第5回独立美術協会展	
68	少女	1935頃	油彩・カンヴァス	48.0×59.0		
69	仏像	1936	油彩・カンヴァス	100.0×72.5	第1回自選展	神奈川県立近代美術館
70	女	1936	油彩・カンヴァス	92.0×116.7		東京国立近代美術館
71	女	1936頃	油彩・カンヴァス	71.5×60.1		
72	肖像(Y嬢)	1938	油彩・カンヴァス	53.0×33.3		大阪市立近代美術館準備室
73	女	1937	油彩・カンヴァス	72.8×91.0		京都国立近代美術館
74	婦人像	1937頃	油彩・板	45.5×37.5		
75	裏磐梯	1938	油彩・カンヴァス	55.5×67.5		大阪市立近代美術館準備室
76	秋三果	1938頃	油彩・カンヴァス	33.9×53.5		
77	椿	1938頃	油彩・カンヴァス	59.0×70.5		
78	柘榴	1939頃	油彩・カンヴァス	72.8×53.0		
79	画家の妻(婦人像)	1940	油彩・板	53.5×33.5		愛知県美術館
80	不動像	1944	油彩・カンヴァス	116.7×60.0		京都市美術館
81	梨	1947頃	油彩・板	18.8×29.8		
82	山家	1955	油彩・カンヴァス	65.0×81.0		
83	石切り場	1959	油彩・カンヴァス	58.0×72.0		
84	丘の家	1959頃	油彩・カンヴァス	50.0×60.5		
85	老樹	1960	油彩・板	116.8×91.0	第4回現代日本美術展 《イビザ野にて》	東京国立近代美術館
86	イビザの山野	1962頃	油彩・カンヴァス	53.5×45.5		
87	マリーヌの麦畑	1963	油彩・カンヴァス	80.3×100.0		
88	イル・ド・フランス	1963	油彩・カンヴァス	65.2×80.3	第37回国画会展	
89	曠野	1964	油彩・カンヴァス	89.2×115.8		京都国立近代美術館
90	花束	1965頃	油彩・カンヴァス	80.4×65.5		
91	ラ・トゥルイエール	1966	油彩・カンヴァス	97.2×116.7	第40回国画会展	盛岡橋本美術館
92	女の顔	1972頃	油彩・カンヴァス	81.5×65.5	第46回国画会展	神奈川県立近代美術館
93	吾子(アコ)	1973	油彩・カンヴァス	65.2×53.0	第47回国画会展	
94	顔	1974頃	油彩・板	41.5×32.0		
95	女の顔	1976	油彩・カンヴァス	101.5×60.5	国画会50周年記念展	京都国立近代美術館
96	顔	1977	油彩・カンヴァス	92.0×73.0		東京国立近代美術館
97	食卓	1979	油彩・カンヴァス	25.0×54.0	里見勝蔵作品展 (もりもと画廊・1980年)	
98	顔	1979	油彩・カンヴァス	91.7×66.2	第53回国画会展	大阪市立近代美術館準備室
99	顔	1980	油彩・厚紙	23.8×16.2	第54回国画会展	
●素描						
100	ルイ・フィリップ橋	1921	鉛筆・紙	25.2×33.3		
101	パリ	1921	コンテ・紙	33.3×25.2		
102	バルコニー	1921	鉛筆・紙	42.5×25.8		

NO.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	出品歴	所蔵先
103	肖像	1921	コンテ・紙	33.0×25.2		
104	自画像	1921頃	鉛筆・紙	33.3×25.2		
105	帽子をかぶった自画像	1921頃	木炭・紙	33.3×25.2		
106	林檎	1921頃	鉛筆, 水彩・紙	25.2×33.3		
107	裸婦	1921頃	コンテ・紙	25.8×42.5		
108	裸婦	1921頃	コンテ・紙	42.5×25.8		
109	裸婦	1921頃	コンテ・紙	42.5×25.8		
110	裸婦	1921頃	コンテ・紙	42.5×25.8		
111	裸婦	1921頃	コンテ・紙	42.5×25.8		
112	裸婦	1921頃	コンテ・紙	42.5×25.8		
113	男	1921頃	コンテ・紙	42.5×25.8		
114	男	1921頃	コンテ・紙	42.5×25.8		
115	オーヴェル・シュル・オワーズ	1922頃	鉛筆・紙	33.3×25.2		
116	オーヴェル・シュル・オワーズ	1922頃	鉛筆・紙	25.2×33.3		
117	静物	1922頃	鉛筆・紙	33.0×25.3		
118	少年	1922頃	鉛筆・紙	25.2×33.3		
119	家族	1922頃	鉛筆・紙	33.3×25.2		
120	子供	1922頃	鉛筆, 水彩・紙	33.3×25.2		
121	肖像	1922頃	コンテ・紙	33.3×25.2		
122	裸婦	1922頃	鉛筆・紙	33.0×25.3		
123	エリカ	1924	鉛筆・紙	33.0×25.3		
124	女	1928頃	鉛筆・紙	25.8×42.5		
125	女	1928頃	鉛筆・紙	25.8×42.5		
126	裸婦	1929頃	木炭・紙	28.1×22.4		

●立体作品

127	顔	1968頃	テラコッタ	15.5×18.8		
128	顔	1968頃	テラコッタ	10.5×11.5		
129	顔	1968頃	テラコッタ	9.1×10.0		
130	顔	1968頃	テラコッタ	9.7×8.3		
131	顔	1968頃	テラコッタ	11.3×9.4		
132	顔	1968頃	テラコッタ	11.5×11.4		
133	顔	1968頃	テラコッタ	16.0×13.6		
134	顔	1968頃	テラコッタ	12.6×11.2		
135	顔	1968頃	テラコッタ	9.5×7.0		
136	石顔50点	1970-80	油彩・石	5.6×3.8~18.7×12.4		

リスト以外に、パレット、筆類、スケッチブック、書簡・はがき、写真等を展示。
ただし「*」は当館では展示せず、「**」は所蔵者の都合により12月末まで出品。

めぐろの子どもたち展

平成7年度目黒区立幼稚園、
小・中学校連合展覧会

会期：1996(平成8)年1月20日—2月4日(14日間)

会場：展示室ABC, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール, 区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会, 同小学校長会, 同中学校長会, 同心身障害学級設置校長会, 目黒区教育会,
目黒区教育委員会, 目黒区美術館

同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡 児童・生徒絵画展

目黒区立の幼稚園・小学校・中学校・心身障害学級の幼児・児童・生徒が平成7年度に制作した作品を展示した。創作・鑑賞活動をとおして、幼児・児童・生徒の表現意欲に応え、豊かな人間性を育む情操教育の一助となることをめざすとともに、区民の方々に広く供し、目黒区の教育に対する一層の理解を得られるように努めた。

なお、今年度は、目黒区と米国ジョージア州チェロキー郡友好協力事業の一環としてチェロキー郡の児童・生徒の作品を区民ギャラリーに展示した。

●リーフレット

寸法：A3(縦長四つ折)

デザイン：キャラクター

内容：ごあいさつ(主催者)/幼稚園/心身障害
学級/小学校・図工/小学校・書写/中学校・美術/中学
校・書写/展示案内

●ポスター

サイズ：B3

デザイン：キャラクター

●出展数：3,150点



めぐろの子どもたち展
—平成7年度 目黒区立幼稚園 小・中学校連合展覧会—

心身障害学級 ●●● 絵画、工作
手工芸、陶芸作品

幼稚園 ●●● 絵画、工作作品

中学校 ●●● 美術、書写作品

小学校 ●●● 絵画、工作、書写作品

と き=平成8年1月20日(土)—2月4日(土) ところ=目黒区美術館 〒153 目黒区目黒2-4-36
午前10時~午後6時(入館は5時30分まで) 月よう休館
でんわ 03-3711-1157(ダイヤルイン) 0120-13-1201(テレホンサービス)

主催=目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立心身障害学級設置校長会、目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会
同時開催=米国ジョージア州チェロキー郡 児童・生徒絵画展

B3ポスター

目黒区の美術・書—1995

会期：1996(平成8)年2月10日—3月3日(20日間)

会場：展示室ABC, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール, 区民ギャラリー

主催：目黒区美術館

本展は、目黒区在住・在勤の美術家・書家が過去1年間に制作し、公募展や個展に出品した作品を、ジャンル・会派・団体を越え、一堂に会して展覧した。7回目を迎えた本年は総計175作家が出品、目黒区における美術と書の制作活動の活況を示す展覧会となった。なお、今年度は今後の「目黒区の美術・書」展運営の参考とするため、7月に過去の出品者239人に対しアンケート調査を行い、その集計結果を内覧会当日配布した。

●出品目録

寸法：21.0×29.7

ページ数：12ページ

内容：ごあいさつ(福永重樹)／出品リスト

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：A4, ハガキ大

MEGURO ART ANNU
1996年
2月10日[土]—3月3日[日]
10:00—6:00pm (ただし入館15:30時まで)
1月10日休館(2/12日休館、2/13日休館)
目黒区美術館 目黒区目黒2-4-36
Tel. 3711-1201 フリーダイヤル 0120-13-1201
主催=目黒区美術館

目黒区在住の作家が1995年に、
個展・公募展に発表した作品を紹介。

入場料—無料

目黒区美術館
1995

目黒区目黒(西口)駅より徒歩10分
東急バス(池之端駅)目黒区役所下車徒歩5分

B3 ポスター

出品目録

NO.	作家名	作品名	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴
●油彩等					
1	相原吉夫	朝陽	油彩, キャンバス	116.7×90.9	
2	青木邦子	花園のある洋館	油彩, キャンバス	135.0×172.0	朱葉会展(1995.6.1~6.10) 東京都美術館
3	青山光治	ピクニックの家族	油彩・キャンバス	95.6×121.6	個展(1995.1.9~1.14) 日比谷やまがた画廊
4	青山 孝	潮音 95-13	油彩, キャンバス	162.0×162.0	独立展(1995.10.17~10.31) 東京都美術館
5	赤穴桂子	終りの始まり (ヘッセ, デミアンより)	油彩, キャンバス	72.7×100.0	赤穴桂子個展(1996.11~12) 美術ジャーナル画廊
6	赤穴 宏	みどりの記憶	油彩, キャンバス	136.0×136.0	第59新制作展(1995.9.19~10.3) 東京都美術館
7	浅見千恵子	寄り添って	油彩, キャンバス	134.0×166.0	第91回太平洋展(1995.5.20~5.30) 東京都美術館
8	渥美澄子	アトリエの一隅	油彩, キャンバス	112.1×145.5	示現会展(1995.4.6~4.21) 東京都美術館
9	天野政雄	油彩, キャンバス	7117	161.2×130.3	新構造展(1995.6.12~6.22) 東京都美術館
10	一柳 幸	薫風の山門	油彩, キャンバス	97.0×130.3	サロン・ド・トーキョー展(1995.10.22~10.28) 交通会館
11	井上早枝子	ふたり	油彩, キャンバス	130.3×162.0	第49回女流画家協会展(1995.5.21~5.30) 東京都美術館
12	上間尚子	琉球舞踊「本貫花」	油彩, キャンバス	162.0×112.0	日展(1995.11.2~11.24) 東京都美術館
13	牛込眞智子	華の調べ(II)	油彩, キャンバス	130.3×162.1	新芸術展(1995.11.25~12.1) 東京都美術館会友努力賞
14	内田千代子	relation - B	アクリル, ミクストメディア	162.2×130.3	第17回エンバ美術コンクール展とエンバ中国近代 美術館(1995.2.8~4.9) エンバ中国近代美術館, 永上町立上野記念美術館
15	越後瑤子	レクイエム	油彩, キャンバス	183.0×120.0	新構造展(1995.6.12~6.22) 東京都美術館
16	太田冬美	青の回廊	アクリル, キャンバス	112.0×145.5	両用の目・現代の絵画展(1995.1.31~2.5) 日本橋三越本店
17	大塚荘治	早春詩	油彩, キャンバス	116.7×90.9	太平洋展(1995.5.20~5.30) 東京都美術館
18	大淵繁樹	長崎暮色	油彩, キャンバス	143.3×172	日展(1995.11.2~11.24) 東京都美術館
19	岡田美年子	歎び	油彩, キャンバス	112.0×146.0	旺玄展(1995.5.21~5.30) 東京都美術館
20	小河美智子	静物	油彩, キャンバス	137×170.5	第71回白日展(1995.3.26~4.4) 東京都美術館
21	荻野藤枝	昼の月	油彩, キャンバス	130.3×162.1	日輝展(1995.12.13~12.19) 東京都美術館
22	長部朝子	思い出の児島先生	油彩, キャンバス	116.7×90.9	大調和会展(1995.3.14~3.24) 東京都美術館
23	小野のり子	平和の祈り	油彩, キャンバス	112.1×145.5	東光会展(1995.4.23~5.7) 東京都美術館
24	片山ともみ	楽園	油彩, キャンバス	116.7×80.3	パラディゾ(1995.9.19~9.22) 目黒区民ギャラリー
25	香取栄次郎	中目黒晩秋	油彩, キャンバス	116.7×90.9	新構造展(1995.6.12~6.22) 東京都美術館
26	河内 光	人・ひと	銅板	162.0×194.0	第59回新制作展(1995.9.19~10.13) 東京都美術館

NO.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
27	木川満子	追想	油彩, キャンバス	143.5×110.5	
28	糸川 清	埴輪	油彩, キャンバス	130.3×162.1	一水会展(1995.9.19~10.2) 東京都美術館・佳作賞
29	黒沢梧郎	飛天	油彩, キャンバス	80.3×116.7	同人展(1995.5.10~5.16) 米沢市市民ギャラリー
30	小園ケイ子	いのちの樹-15	油彩, キャンバス	162.1×130.3	第13回萌画会展(1995.9.6~9.11) BELL・GALLERY(大森)
31	小堀幸子	春の響き	油彩, キャンバス	116.7×90.9	一期会展(1995.5.22~8.30) 東京都美術館・大衆賞
32	古茂田美津子	祭の夜	油彩, キャンバス	130.3×194	新制作展(1995.9.18~10.3) 東京都美術館
33	後藤岳楓	雫の譜	油彩, キャンバス	90.9×72.7	第34回大調和展(1995.3.14~3.24) 東京都美術館
34	斎藤勤也	H7	油彩, キャンバス	162.1×130.3	自由美術協会展(1995.10.17~10.31) 東京都美術館
35	佐藤徳一	風薫る庭園(ロワール)	油彩, キャンバス	149.0×180.0	第33回全展(1995.8.20~8.30) 東京都美術館・全展美術奨学賞
36	佐野美喜男	虫	油彩, キャンバス	145.5×112.1	第55回美術文化展(1995.3.26~4.4) 東京都美術館
37	佐野雪枝	紫陽花の頃	油彩, キャンバス	162.1×130.3	一線展(1995.10.5.~10.14) 東京都美術館
38	澤野水纓	彼岸桜	油彩, キャンバス	127.0×183.0	澤野水纓個展(1995.5.24~5.31) メキシコ市文化センター カラサム・ギャラリー
39	柴野純子	祈り	油彩・キャンバス, 木	162.1×162.1	二紀会(1995.10.17~10.31) 東京都美術館
40	進藤幹弘	秋色架橋	油彩, キャンバス	112.1×145.5	攀展(1995.9.18~9.24) 銀座アートギャラリー
41	菅田いな	アトリエ	油彩, キャンバス	97.0×130.3	都民美術展(1995.12.6~12.12) 都美術館
42	菅野利彦	ドウ ソレイユ	アクリル, キャンバス	91.0×182.0	目黒区美術家協会展(1995.9.5~9.10) 目黒区美術館区民ギャラリー
43	杉山栄吉	運河沿いの風景	麻, キャンバス	130.3×162.1	都展(1995.12.6~12.12) 東京都美術館
44	関戸伊三郎	首里城瑞泉門	油彩, キャンバス	107.0×140.0	
45	瀬谷貴久枝	play	油彩, キャンバス	162.0×162.0	女流画家協会展(1995.5.21~5.30) 東京都美術館
46	芹澤恭子	レッスン風景	油彩, キャンバス	112.1×145.5	第64回朔日会展(1995.5.9~5.19) 東京都美術館
47	染谷栄里	谷川岳六月	油彩・キャンバス額	149.0×116.0	らそわ(La soie)展(1995.10.16~10.21) 大八木画廊
48	高山彩花	透明なとき	油彩, キャンバス	90.9×116.7	たぶろう展(1995.5.31~6.10) 東京都美術館
49	田口正子	ラメール シリーズ より(その9)	油彩, キャンバス	162.0×130.5	仁科展(1995.9.1~9.16) 東京都美術館
50	田中正義	上高地穂高岳	油彩, キャンバス	112.1×145.5	都展(1995.12.16~12.12) 東京都美術館
51	種房ひさ子	八朔の舞妓	油彩, キャンバス	162.1×130.3	日展(1995.11.2~11.24) 東京都美術館
52	田村由利子	クレーンの港	油彩, キャンバス	112.1×193.9	一創会展(1995.1.22~1.27) 東京都美術館
53	大工原武司	春を待つ村	油彩, キャンバス	130.3×162.1	創元展(1995.4.7~4.21) 東京都美術館
54	戸田芳江	ペトラ -ヨルダン-	油彩, キャンバス	110.0×90.0	群炎展(1995.2.13~2.26) 東京都美術館

NO.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
55	土肥 朗	蒼空	油彩, キャンバス	161.0×130.3	示現会展(1995.4.6~4.21) 東京都美術館
56	中井幸一	光と影のアンソロジー	アクリル・印刷インク, キャンバス	100.0×218.4	モダンアート協会展(1995.4.6~4.21) 東京都美術館
57	西 大記	アポロドーロス・コンプレックス	アクリル, キャンバス	117.0×117.0	個展(1995.10.12~10.17) 紀伊國屋画廊
58	西川加耶子	サモワールと, 人形と	油彩, キャンバス	90.9×116.7	第71回記念白日展(1995.3.26~4.4) 東京都美術館
59	入海佐世子	おしゃべり	油彩, キャンバス	133.0×91.8	第67回新構造展(1995.6.12~6.22) 東京都美術館会友推薦
60	芳賀 力	アトリエの一隅	油彩, キャンバス	116.7×90.9	無花果会展(1995.10.2~10.9) IMA ギャラリー
61	橋本百合子	チャトルの婦人	油彩, キャンバス	145.5×112.1	個展(1995.11.13~11.18) 花梨ギャラリー
62	長谷川政子	行き交うカサブランカの人たち	油彩, キャンバス	162.0×130.0	第47回立軌展(1995.2.7~2.19) 東京セントラル美術館
63	原 久子	ハンモックの猫(A)	油彩, キャンバス	102.0×135.0	日洋展(1995.7.8~7.16) 東京都美術館
64	原 正明	ハネ橋のある風景	油彩, キャンバス	90.0×120.0	
65	平松 譲	東京湾岸	油彩, キャンバス	130.3×162.1	白日展(1995.3.26~4.4) 東京都美術館
66	本目勇市	夕焼にクラゲとカッパ	油彩, キャンバス	114.0×148.0	第67回新構造展(1995.6.12~6.22) 東京都美術館
67	松永茂樹	SATAY CLUB 広場風景	油彩, キャンバス	112.1×145.5	二紀展(1995.10.17~10.31) 東京都美術館
68	丸毛利久	ウルビーノ	油彩, キャンバス	112.1×145.5	第91回記念太平洋美術会(1995.5.20~5.30) 東京都美術館
69	宮坂栄一	道	油彩, キャンバス	116.6×72.8	第22回季風会展(1995.4.18~4.23) ロイヤルサロングインザ(銀座)
70	村上彌生	夫々の時 II	油彩, キャンバス	116.7×90.9	'95都展(1995.12.6~12.12) 東京都美術館
71	森田万樹	風の軌跡	油彩, キャンバス	162.0×130.3	モダンアート展(1995.4.6~4.21) 東京都美術館
72	柳瀬俊泰	Wasted Time - 近くて遠い街	油彩, キャンバス	130.3×194.0	委員による春の日洋展(1995.4.10~4.16) 東京セントラル美術館
73	山内恵美子	記憶のそとから	油彩, キャンバス	118.0×182.0	リラの会(モダンアート女性会員グループ展) (1995.10.19~10.24) 竹川画廊
74	山中真貴子	1995 SPAZIO I	油彩, キャンバス	193.9×259.1	新制作展(1995.9.19~10.3) 東京都美術館
75	山本道子	女たち	油彩, キャンバス	162.0×130.3	日洋展(1995.7.8~7.16) 東京都美術館
76	若松芳明	昭和新山(北海道)	油彩, キャンバス	46.5×55	区民作品展(1995.9.26~10.1) 目黒区美術館区民ギャラリー
●水彩等					
77	板津陽子	私の猫	水彩, 紙	97.0×130.0	近美展(1995.11.25~12.1) 東京都美術館・努力賞
78	小代三保子	ささやき	透明水彩絵具・ガッシュ, 紙	97.0×130.3	水彩連盟展(1995.3.26~4.4) 東京都美術館
79	大聖 宏	神のセレモニー(III)	水彩, 紙	72.8×60.6	第15回記念彩玄展(1995.10.29~11.4) 東京交通会館
80	浜田澄子	温かい闇 2	墨・水彩, コラージュ etc., 和紙	90.0×60.0	Attractive Japan(1995.10.2~10.7) 藍画廊

NO.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
81	二方とし子	WOMEN	アクリル絵具, コラージュ, 和紙	48.0×38.0	イフ・グループ展(1995.5.11~5.16) ギャラリー・イフ
82	町田厚子	soil & soul	インク・鉛筆による ドローイング, 紙	73.0×103.0	町田忍・厚子 二人展(1995.11.30~12.5) 京王デパート
83	水谷仁美	過ぎゆく夏 II	透明水彩, 紙	116.0×90.0	水彩連盟展(1995.3.26~4.4) 東京都美術館
84	安田清一	閑日	水彩, 紙	97.0×130.0	第35回蒼騎会展(1995.10.5~10.14) 東京都美術館
85	山岸寛子	ワンダフルクリスマス (Wonderful Christmas)	紙のコラージュ・アクリル・ パステル, 紙	76.0×106.2	第20回新芸術展(1995.11.25~12.1) 東京都美術館
●版画					
86	稲葉由子	採集	和紙	52×40.5	An Exhibition(1995.4.6~1995.4.18) Cork Gallery Averyfisher Hall The nessa cohen fund grants
87	長はるこ	Le labyrinthe(迷宮)	NECO プリント+エアロフラック シュカラー、ネパール和紙	85.0×122.0	サロン・ド・フィナル展, 太陽美術展 (1995.6.24~7.2, 1995.11.25~12.1) 祐天寺ギャラリーフィナル, 東京都美術館
88	土屋正男	すみれ野(良寛歌より)	型紙版	117.0×87.0	第45回板展(1995.6.11~6.22) 東京都美術館
89	船坂芳助	My Space and My Dimension - M14 (私の次元と空間)	木版・シルクスクリーン	59.0×56.0	日本版画協会展(1995.4.6~4.21) 東京都美術館
90	元藤郁子	五月 - No. 4 -	シルクスクリーン	55.0×87.0	自由美術協会展(1995.10.17~10.31) 東京都美術館
●日本画					
91	荒井華秋	長屋門(駒場)	紙本墨彩, 額	130.5×162.2	日本南画院展(1994.3.14~1994.3.24) 東京都美術館
92	岩田染華	藤	紙本墨彩, 額	130.3×97.0	日本水墨院展(1995.7.20~7.25) 朝日生命ギャラリー・審査員賞
93	岩本美代子	一隅	紙本着彩, 額	194.0×130.3	日本画院展(1995.5.8~5.15) 東京都美術館
94	加々路伸子	いのり	和紙, ボード, 額	95.5×77	パピルスグループ紙画展(1995.6.6~6.12) 田中八重洲画廊
95	川喜多俊秀	無心	切り絵, 色紙, 額		目黒区勤労者美術展(1995.7.23~7.30) 目黒区美術館区民ギャラリー
96	川喜多麗香	長瀬一景	墨絵, 色紙, 額	色紙額	目黒区勤労者美術展(1995.7.23~7.30) 目黒区美術館区民ギャラリー
97	澤井白陽	新緑奔流	紙本着彩, 額	194.0×130.0	日本南画院展(1994.3.14.~1994.3.24) 東京都美術館
98	下山豊水	竹	紙本墨彩, 額	93×32×2	ソシアル絵画展(1995.5.22~5.28) ソシアル絵画協会会場・努力賞
99	菅田 渡	彩の岳	紙本着彩, 額	193.9×130.3	第42回新美術協会展(1995.6.1~6.10) 東京都美術館
100	橘 熙子	奏でる	紙本着彩, 額	116.7×90.9	参議院文化祭(1995.1.10~1.13) 参議院第9委員室
101	田中玉紅	春韻	絹本着彩, 額	72.7×60.6	精華会展, カトリック美術家協会展 (1995.4.17~4.22, 1995.5.4~5.10) IMA ギャラリー, 朝日ギャラリー
102	土屋あづみ	お月様と一緒に	紙本着彩, 額	162.3×112.3	都民展(1995.12.6~12.12) 東京都美術館
103	中島善子	白牡丹	紙本着彩, 額	130.3×163.5	第31回都展(1995.12.6~12.12) 東京都美術館

NO.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
104	中村豊園	萌春	紙本着彩, 額	130.3×161.2	第42回新美術協会展(1995.6.1~6.10) 東京都美術館
105	森 和彦	赤い風景	紙本着彩, 額	116.7×116.7	春季企画展(1995.3.16~3.21) 日本橋高島屋
106	吉田米子	パリの晝下がり	和紙(新日本画), 額	107.2×87.2	パピルスグループ紙画展(1995.6.6~6.12) 田中八重洲画廊
●彫刻・立体					
107	阿部昌義	遠くなる音 一海へー	FRP	170.0×60.0×60.0	第80回二科展(1995.9.1~9.16) 東京都美術館
108	磯田喜子	化粧	桐粉粘土レリーフ	40.9×31.8	'95群炎展(1995.2.13~2.26) 東京都美術館
109	小林達也	六つの直方体	黒御影石	31.0×31.0×22.0	7 BOXES(1995.6.16~6.21) GALLERY FRESCA
110	二ノ宮裕子	静かな時間	石膏	20.0×40.0×40.0	
111	安河内敦子	シェル No. 1	ガラス・接着・磨	40.0×50.0×30.0	東京ガラスアート展'95(1995.10.5~10.12) JA長野県ビル・アクティールホール・優秀賞
●工芸					
112	雨山智子	夢の残像(I)	捺染布	108.0×108.0	雨山智子作品展(1995.8.7~8.13) ギャラリーアメリア
113	有賀則子	カザレスの家	シルクスクリーンプリント	70.0×90.0	美しい家並展(1995.9.15~9.20) 銀座松坂屋
114	井高歸山	黄玉磁瑠璃釉壺	磁器	80.0×70.0×70.0	
115	今井慶子	古代からのメッセージ	描き割り七宝, 匱彫(9点組)	80.0×68.0(額サイズ)	二人展(1995.2.8~2.14) 大宮高島屋「薔薇の間」
116	狩野 充	年輪	工業用ガラス, ブラックライト, フォトボンド	64.4×60.0×45.0	第12回ハンズ大賞作品展(1995.4.1~4.10) Bunkamura ザ・ミュージアム
117	鴨 康子	広場の風	牛革レリーフ	73.0×117.0	第34回現代工芸美術展(1995.3.26~4.4) 東京都美術館
118	桑原玲子	木枯し	石塑粘土	70.0×40.0×30.0	日本創作人形協会展(1995.11.24~11.29) 東急日本橋店
119	煙山 博	火焰花器	粘土(手びねり)	25.0×20.0×20.0	区民作品展(1995.9.24~10.1) 目黒区美術館区民ギャラリー
120	小山弘治	銀彩花器	白磁	18.0×17.0×14.0	第11回小山弘治作陶展(1995.1.17~1.29) 東京セントラル美術館
121	高橋 操	雨女	石塑粘土	35.0×15.0×13.0	きそこまドールミュージアム(1995.8.1~8.31) 木曾駒高原スキー場ウッディハウス
122	種田昌子	遠い日	石粉粘土	70.0×40.0×40.0	第13回日本創作人形協会展(1995.11.24~11.29) 東急日本橋店3階サロン
123	玉井 豊	REVERSE	豚の生皮(オブジェ, ランプシェード)	120.0×45.0×45.0	TRIPLE TRIP, IRO (1995.6.7/6.21/7.19/9.20/11.15) BLUE (クラブ), YELLOW (クラブ)
124	中村きよ	飛鳥・悠々	木彫, 胡粉彩色・布張・紙張(二体)	各38.0×16.0×23.0	新構造社展(1995.6.12~6.22) 東京都美術館研究賞
125	二方秀樹	宇宙時計	真鍮, ムーブメント(エッチング)	29.0×29.0	工芸展(1995.5.14~5.20) 東京都交通会館
126	町田 忍	バイオリンケースの蓋	皮革	90.0×20.0	町田忍・厚子展(1995.11.30~12.5) 京王デパート
127	松平由紀子	①プロジェ(ブローチ+オ2 ブジェ)1, ②プロジェ2, ③ブローチ1, ④ブローチ	銀, ステンレス(ジュウリー)	①7×6×11.5②2.5 ×2.5×11.7③1.5× 18.5④1.5×13.5	The Art of Jewellery - 美の力 (1995.5.3~5.21) 伊丹市立工芸センター

NO.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
128	村田知子	No.1~3ブローチ, No.4~No.6ブローチ	銀(ジュウリー, 6個1組)	(No.1~No.3) 7×7 ×2(Nb.4~Nb.5) 18×12.5×1	二人展(1995.8.22~8.31) 100%ギャラリー
129	山本仲子	有線七宝格子華文飾筥	銅板・七宝釉薬	26.8×11.0×8.2	日本伝統工芸展(1995.9.20~1996.1.30) 日本橋三越他
130	横澤雅子	野の花	有線七宝・彫金	25.0×25.0	'95マコ彫金教室発表会(1995.11.14~11.19) 大黒屋ギャラリー
特別出品					
131	市嶋千枝子 (1928~1994)	カッパドキヤの岩窟 海の幻想	綴織 綴織	122.0×92.0 84.0×121.0	創造展(1979)会員賞 創造展(1981)
●書					
132	青木瑞苑	遠蹈獨遊・月既授衣	篆刻・額	39.0×30.0	第47回毎日書道展(1995.7.8~7.11) 東京都美術館
133	浅香恵堂	福如雲	篆刻・額	42.0×37.0	新興書道展(1995.1.19~1.25) 東京都美術館
134	天野白陽	漢字書	額	240.0×60.0	正方書道展(1995.9.12~9.17) 人形町好文画廊
135	飯島華窓	吉植庄亮の歌	料紙・額	75.0×72.0	日本書道専門学校卒業制作展賛助出品 (1995.3.4~3.7) 日本書道専門学校
136	池田少雲	臨, 鄭文公碑(鄭道昭書)	軸	240.0×60.0	(財)書壇院竹心展(1995.3.28~4.2) 東京セントラル美術館アネックス
137	石田久敏	日本国憲法第九条	雅仙紙・額	32.0×93.0	反核平和展(1995.6.23~6.25) 大田区民プラザ
138	上松一條	掩偽	額	140.0×70.0	上松一條展(1995.8.22~8.27) 東京セントラル美術館
139	内田遼唱	松風	額	166.0×45.0	
140	江澤遥雲	勞而不伐(易経)	篆刻軸	99.5×32.0	読売書法展(1995.8.13~8.19) 東京都美術館
141	荻須耕陽	李白詩 江上吟	額	240.0×60.0	日本書壇院展(1995.6.24~6.29) 東京都美術館
142	小野桂甫	風の中の	軸	200.0×45.0	日本の女流書展(1995.7.25~7.30) 東京セントラル美術館
143	小原紫琴	良寛うた	額	240.0×60.0	書壇院展(1995.12.21~12.27) 東京都美術館
144	影山房子	うなる髪	額	242.0×61.0	毎日書道展(前期展かな部)(1995.7.13~7.16) 東京都美術館
145	河村和子	落葉松の	額	240.0×60.0	第47回毎日書道展(1995.7.8~7.11) 東京都美術館
146	北島菁丘	船	額	60.0×180.0	第47回書道同文展(1995.6.24~6.30) 東京都美術館
147	木下聖湖	冬のゆふべ	額	60.0×180.0	
148	栗山鳳雪	絜矩道	額	240.0×45.0	東方書道展(1995.8.1~8.6) 東京都美術館
149	林 抱牛	玉	軸	182.5×74.5	第3回国際書法東京大展(1995.11.28~12.3) 東京セントラル美術館
150	佐伯杏花	天如水	額	138.0×35.0	諸作家展 上野の森美術館
151	首藤佳泉	囊寶子碑節臨	額	136.0×52.0	柳蛙書道展(1995.9.16~9.22) 山梨県立美術館・特選
152	鈴木翠石	晏安寺(李紳詩)	軸	274.0×64.0	日本書道院展(1995.6.24~6.29) 東京都美術館

NO.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
153	関 墨水	論語句	額	91.0×182.0	第12回産経国際書展(1995.7.30~8.7) サンシャイン文化会館
154	田中赤城	漢字	軸	200.0×70.0	北城展(1995.5.30~6.14) 上野の森美術館
155	田中葉玉	うき草	軸	136.0×52.5	第17回総蒼書道展(1995.1.31~2.5) 東京都美術館・佳作
156	田淵観齋	游藝	額	120.0×72.0	日書画展上海展(1995.1.4~1.11) 上海美術館・審査員出品
157	丹治思郷	信愛	額	89.5×89.5	であい展(個展)(1995.7.20~7.23) 兵庫県民アートギャラリー
158	續木湖山	苍発笏風雨(干武陵語)	額	60.0×240.0	毎日書道展(1995.7.8~7.11) 東京都美術館
159	中井史朗	清新有韻	画仙紙・軸	180.0×45.0	翔鶴書展(1995.12.15~12.22) ギャラリー尚美(宇都宮市)
160	中山紅雪	李白詩	額	74.0×82.0	墨の藝術展(1995.10.17~10.22) 東京セントラル美術館
161	永井菁光	壺中日月長	篆刻・額	39.0×29.0	謙慎書道(1995.2) 東京都美術館
162	野田春華	生呑活剝	額	60×38.5	第12回読売書法展(1995.8.13~8.19) 東京都美術館
163	服部虚舟	韶光養徳	篆刻・額	6.0×6.0	第12回読売書法展(1995.8.13~8.19) 東京都美術館
164	林 邃溪	臘月	額	166.0×45.0	
165	久本右情	學室	刻字・額	20.0×25.0	江川吟舟遺墨展 添付(1995.10.17~10.22) アートサロン毎日
166	藤原紫英	寒山詩	軸	小画箋半折	学書院同人展,(1995.4.8~4.12, 学書院銀座ギャラリー, 学書院大連展(1995.10.27~10.31) 中國大連市
167	藤原紫水	王維詩	軸	小画箋全紙	学書院代表院人展,学書院大連展(1995.1.4~1.8, (1995.10.27~10.31)学書院銀座ギャラリー,中 國大連市
168	堀田小葉	あしびきの	額	60.0×180.0	第49回日書展(1995.1.4~1.9) 東京都美術館・特選
169	持田春翠	粕谷栄市の詩“ある日”より	額	35.0×134.2	現代の詩と書の世界(1995.5.30~6.4) 東京セントラル美術館
170	森本妙子	万葉の歌	額	260.0×66.5	第43回独立書展(1995.1.11~1.16) 東京都美術館
171	保浦玉英	白居易詩 琵琶行	額	230.0×60.0(2幅)	東邦展(1995.1.31~2.5) 東京都美術館
172	安原白水	七言対句	額	小画箋半折	学書院同人展,学書院大連展 (1995.4.8~4.12,1995.10.27~10.31) 学書院銀座ギャラリー,中國大連市・読売新聞社賞
173	山崎方石	悠久无疆	篆刻・軸	100.5×31.6	日展(1995.11.2~11.24) 東京都美術館
174	山田春華	亀遊沼	軸	108.0×73.0	高松書道展(1995.10.1~10.3) 大宮ソニックシティ市民ホール
175	渡辺三代子	石鼎の句	軸	135.0×35.0	日本の書展(1995.1.31~2.5) 東京セントラル美術館

所蔵作品展IX

描かれたからだ

会期：1996(平成8)年3月9日—4月7日(26日間)

会場：展示室ABC, 展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

同時開催：「からだのワークショップIからだと話そう！」

“人体”は西欧の美術の中では最も重要なテーマとして、ギリシャ時代から現代に至るまで描き続けられてきた。目黒区美術館では、開館前から日本人作家の留学を中心とする習学期の作品を収集して来たが、これらの中には、こうした“人体”の表現と取り組んだものが少なくない。本展では、その中から、近現代の日本人作家が西欧絵画のエッセンスともいえる人体表現とどのように取り組んだかを示す作品を選択、「1.教科書としての“からだ”から表現された“からだ”へ」、「2.痕跡としての“からだ”」、「3.顔のない“からだ”そして“顔”」の3部構成で展示。質感やヴォリュームの表現方法の模索にはじまる人体表現を出発点に、現代美術における作品と身体のかかわりまで、描くことと“からだ”の関係についての考察を試みた。

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：A4



B3 ポスター

出品目録

NO.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
I 教科書としての「からだ」から表現された「からだ」へ					
1	川村清雄	裸体習作(1)	1873~81頃	コンテ・紙	31.9×23.9
2	川村清雄	裸体習作(2)	1873~81頃	コンテ・紙	31.5×23.5
3	山下新太郎	素描(1)	1905	鉛筆・紙	25.0×17.5
4	山下新太郎	素描(2)	1906	鉛筆・紙	31.0×23.0
5	山下新太郎	素描(3)	1907	鉛筆・紙	31.4×25.0
6	白滝幾之助	素描(1)	1904~10頃	木炭・紙	61.8×48.0
7	白滝幾之助	素描(2)	1904~10頃	木炭・紙	62.5×48.3
8	白滝幾之助	素描(3)	1904~10頃	木炭・紙	62.0×48.0
9	白滝幾之助	素描(4)	1904~10頃	木炭・紙	62.0×48.0
10	澤部清五郎	素描(1)	1912	木炭・紙	62.2×47.4
11	澤部清五郎	素描(2)	1911~12頃	木炭・紙	62.2×47.4
12	澤部清五郎	素描(3)	1911	木炭・紙	62.2×47.4
13	澤部清五郎	素描(4)	1912	木炭・紙	62.2×47.4
14	霜鳥正三郎	素描(1)	1911~12頃	木炭・紙	62.2×48.2
15	霜鳥正三郎	素描(2)	1911~12頃	木炭・紙	62.4×47.8
16	鈴木 誠	裸婦	1920	木炭・紙	64.0×47.0
17	中村義夫	日本髪 <small>の</small> 裸婦(1)	不詳	油彩・キャンバス	60.0×45.0
18	中村義夫	男子裸像	不詳	油彩・キャンバス	60.8×45.7
19	三輪四郎	裸婦習作	1923~24	油彩・キャンバス	73.3×59.3
20	加山四郎	裸体習作	1931	油彩・キャンバス	91.0×60.6
21	森田元子	裸婦	1925~27	油彩・キャンバス	72.9×60.8
22	島村三七雄	裸婦	1929	油彩・キャンバス	91.0×65.4
23	田中 保	素描(1)	1920~30	木炭・紙	64.6×50.2
24	田中 保	素描(2)	1920~30	木炭・紙	64.6×50.2
25	国吉康雄	素描(1)	1912	木炭・紙	62.3×47.6
26	国吉康雄	素描(2)	1912	木炭・紙	62.3×47.6
27	国吉康雄	素描(3)	1912	木炭・紙	62.3×47.6
28	国吉康雄	素描(4)	1912	木炭・紙	62.3×47.6
29	石垣栄太郎	素描(1)	不詳(1930年代?)	コンテ・紙	48.0×60.5
30	石垣栄太郎	素描(2)	不詳(1930年代?)	コンテ・紙	48.0×60.5
31	石垣栄太郎	素描(3)	不詳(1930年代?)	コンテ・紙	60.5×48.0
32	石垣栄太郎	素描(4)	不詳(1930年代?)	コンテ・紙	60.5×48.0
33	石垣栄太郎	素描(5)	1950	コンテ・紙	35.1×42.2
34	石垣栄太郎	素描(6)	不詳	コンテ・紙	45.0×60.5
35	藤田嗣治	裸婦	1929	鉛筆・紙	71.5×128.5
36	鈴木 誠	室内群像	1930	油彩・キャンバス	144.3×176.2
37	木下孝則	裸婦	1932頃	油彩・キャンバス	111.9×145.5
38	若山為三	茶色い服 <small>の</small> 婦人	1922~24	油彩・キャンバス	91.7×64.2
39	北 蓮蔵	コンセルジュ	1929	油彩・キャンバス	146.3×113.8
40	宮本恒平	訪問名詞	1932	油彩・キャンバス	130.4×162.4
41	椿 貞雄	裸 <small>の</small> アンドレ	1932	油彩・紙	21.3×26.6
42	高島達四郎	少年青帽	1927	油彩・キャンバス	116.9×72.9
43	伊原宇三郎	カナペ <small>の</small> 女	1926	油彩・キャンバス	89.3×145.5
44	里見勝蔵	女	1928	油彩・キャンバス	80.3×116.7
45	清野 恒	エチュードE	1938	油彩・キャンバス	72.8×53.4
46	清野 恒	エチュードD	1938	油彩・キャンバス	73.0×61.0
47	岡本唐貴	先端にたつ女三態(東京パック原画)	1930	水彩・紙	26.0×19.6
48	岡本唐貴	都会(東京パック原画)	1930	水彩・紙	27.9×21.2
49	太田三郎	カナペ <small>に</small> 凭る	1928	油彩・キャンバス	53.0×65.5
50	中川紀元	女 <small>と</small> 猫	1920	油彩・キャンバス	143.8×59.2
51	木内 克	裸婦	1927	油彩・厚紙	50.0×66.0
52	山口 薫	椅子 <small>にも</small> たれる裸婦	1930~31	油彩・キャンバス	72.8×60.7

NO.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
53	矢橋六郎	裸婦	1932	油彩・キャンバス	72.9×91.0
54	坂田一男	浴室の二人の女	1928	油彩・キャンバス	100.1×81.0
55	荒井龍男	曠茫	1938頃	油彩・キャンバス	112.0×145.5
56	古茂田守介	二人の裸婦	1953	油彩・キャンバス	97.0×145.5
57	岡田謙三	五人	1949	油彩・キャンバス	202.2×319.2
58	鶴岡義雄	海辺	1949	油彩・キャンバス	193.0×131.0

II 痕跡としての「からだ」

顔のない「からだ」

59	田淵安一	影の通り道	1959	油彩・キャンバス	160.3×90.4
60	池田満寿夫	ベッドに横たわる女	1964	油彩・キャンバス	65.2×80.3
61	池田満寿夫	黒い女	1964	油彩・キャンバス	80.3×65.2
62	菅井 汲	白	1956	水彩・紙	81.1×67.2
63	今井俊満	黒い太陽	1956	油彩・キャンバス	60.1×92.3
64	今井俊満	新緑	1958	油彩・キャンバス	100.0×110.0
65	堂本尚郎	コンポジション	1959	油彩・キャンバス	114.3×162.2
66	浅野弥衛	無題	1966	油彩・キャンバス	72.7×90.9
67	村上友晴	無題	1980～82	油彩・キャンバス	162.0×130.0
68	浅野弥衛	無題	1967	油彩・キャンバス	72.0×90.5
69	今井俊満	ゴーゴーガール	1965	ドローイング, カラージュ	65.0×50.0
70	今井俊満	黒い太陽	1965	塗料・紙	65.0×50.0
71	高木由利子	イジューと鏡, ポートベロー通り'88	1988	ゼラチン・シルバークラフト	43.7×35.3
72	服部冬樹	オリエンタリズム・1988	1988	ゼラチン・シルバークラフト	26.0×22.0
73	元永定正	作品	1961	油彩・キャンバス	133.0×99.0
74	白髪一雄	天機星-智多星	1964	油彩・キャンバス	134.0×274.5
75	白髪一雄	赤帝	1967	油彩・キャンバス	182.0×257.5

III 顔のない「からだ」, そして「顔」

顔のない「からだ」

76	星野真吾	喪中の作品(赤)	1965	岩絵具・箔・和紙	182.0×91.0
77	星野真吾	喪中の作品(碧)	1965	岩絵具・箔・和紙	183.0×122.5
78	国吉康雄	足をつかむ右向きの裸婦	1916～18	エッチング・紙	7.6×10.2
79	国吉康雄	ベッドに横たわる裸婦	1916～18	エッチング・紙	7.5×10.0
80	国吉康雄	抱き合う男と女	1916～18	エッチング・紙	7.6×10.1
81	国吉康雄	一人が眠っている二人の裸婦	1916～18	ドライポイント・紙	7.6×10.1
82	国吉康雄	パイプとテーブルのそばの抱擁	1916～18	ドライポイント・紙	10.1×7.6
83	荒井龍男	裸婦	不詳	油彩・板	22.7×15.6
84	伊藤 廉	裸体習作	1931	グワッシュ・紙	44.5×26.5
85	清水登之	裸婦	1914	木炭・紙	62.3×48.0
86	白滝幾之助	素描(5)	1904～10頃	木炭・紙	62.5×48.0
87	白滝幾之助	素描(6)	1904～10頃	木炭・紙	62.0×48.0
88	中村義夫	日本髪のある裸婦(2)	不詳	油彩・キャンバス	71.0×37.8
89	石橋和訓	裸婦習作	1905頃	油彩・キャンバス	90.5×50.0
90	古茂田守介	踊り子達	1946	油彩・キャンバス	112.5×146.0
91	田中 保	素描(3)	1920～30	木炭・紙	64.6×50.2
92	古茂田守介	臥せる女	1946	油彩・キャンバス	91.0×116.5
93	田中 保	金髪のある裸婦	1920～30頃	油彩・キャンバス	88.5×91.2
94	沢部清五郎	くつ下の女	1912	油彩・キャンバス	51×40.5
95	藤田嗣治	レスリング	1927	水彩・紙	60.0×122.0

「顔」

96	小野佐世男	新緑の街(東京パック原画)	1929	墨・水彩・紙	21.6×20.1
97	小野佐世男	若さよさらば(東京パック原画)	1929	墨・水彩・紙	19.4×25.6
98	安本亮一	ほんもく夏夜(東京パック原画)	1930	墨・水彩・紙	23×20.1
99	安本亮一	おゝロシアお前までもが!?(東京パック原画)	1932	墨・水彩・紙	30.8×21.6
100	向井潤吉	ある慈善演奏会(東京パック原画)	1932	水彩・ポスターカラー・紙	23.1×19.8

NO.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
101	小川治平	我が金権の好対照(東京パック原画)	1921	墨・水彩・紙	25.3×20.2
102	小川治平	首を無くした哀れな亡者共は…(東京パック原画)	1921	ポスターカラー・紙	24.2×20.5
103	鹿子木孟郎	自画像	1894	油彩・紙	32.0×24.0
104	須山計一	自画像	1926	油彩・キャンバス	53.0×41.0
105	藤田嗣治	自画像	不詳	木版・紙	21.0×15.0
106	藤田嗣治	赤毛の女	1917	水彩・紙	26.5×20.0
107	藤田嗣治	房州白浜にて	1935	水彩・紙	34.5×28.5
108	北川民次	女	1935	油彩・パーティクルボード	61.9×45.7
109	野田英夫	車中の少女	1932	油彩・パーティクルボード	37.4×35.4
110	坂本繁二郎	老婆習作	1923	油彩・板	41.1×32.2
111	佐分 真	男の肖像	1930頃	油彩・キャンバス	46.0×38.0
112	足立源一郎	婦人	不詳	油彩・キャンバス	60.5×50.0 cm
113	加山四郎	ザッキン像	1960年	油彩・キャンバス	45.5×38.0 cm
114	田中阿喜良	顔	不詳	油彩・キャンバス	35.1×27.6
115	野見山曉治	アニタ	1955~57	インク・グワッシュ・紙	49.0×32.0
116	松原直子	ヴァイニー	1963	木版・紙・パネル貼	61.0×61.0
117	浜田知明	首	1951	エッチング・アクアチント・紙	15.3×14.8
118	駒井哲郎	顔(びっくりしている少女)	1975	アクアチント(亜鉛版)・紙	23.0×21.0
119	木下 晋	無-I	1992	鉛筆・ケント紙	165.0×99.5
120	木下 晋	無-III	1992	鉛筆・ケント紙	165.0×99.5
121	宇佐美圭司	プロフィールのこだま:積層	1976	油彩・キャンバス	214.0×196.0
122	今井俊満	黒猫と少女	1965	ドローイング, コラージュ	65.0×50.0
123	今井俊満	男	1965	ドローイング, コラージュ	65.0×50.0
124	工藤哲巳	記憶の独立	1980	木, プラスチック, 塗料他	68.6×50.0×11.0
125	浜田知明	顔(「見える人より」)	1975	銅版・紙	41.0×31.5
126	浜田知明	顔(「見える人より」)	1975	銅版・紙	41.0×31.5
127	浜田知明	情報過多の人間(「見える人より」)	1975	銅版・紙	41.0×31.5
128	名井萬亀	割れた顔	1950	油彩・キャンバス	53.4×41.5
129	名井萬亀	自画像	1950	油彩・キャンバス	46.0×38.5
130	名井萬亀	素描(1)(2)	1950~51	鉛筆・紙	40.5×29.2
131	柄澤 齊	肖像V ロドルフォ・ブレダン (「肖像シリーズ」より)	1981~83	木口木版・紙	
132	柄澤 齊	肖像XII 上田秋成(「肖像シリーズ」より)	1981~83	木口木版・紙	
133	柄澤 齊	肖像XIV ヨハン・セバスチャン・バッハ (「肖像シリーズ」より)	1981~83	木口木版・紙	

II. 教育普及

1. ワークショップ

■手と目の冒険広場

積むかたち+組むかたちII

※展覧会についてはP. 22 参照

ア. 都市の積み木

講師：鈴木 明(建築エディター)

日時：8月5日, 6日, 12日, 13日

10:30-16:30

参加者数：小学4年以上 17名

積み木は、遊びを通して都市をつくることのできる夢のある玩具。このコースでは、都市を構成している“かたち”の要素をあらたな目で発見し、都市をさまざまな角度から見直すために開催。導入では、積み木や木端を使い建築の基本的な形—アーチやドームの仕組みを体験した後、自分自身の身体寸法を元に、身体定規(モデュレール)を作成した。このモデュレールを持ち街に繰出し、都市を構成するさまざまな寸法を計り、自分の身体との関係を認識した。その際に収集したさまざまなオブジェをカラーージュして街の体験を平面に再現し、最後に積み木や木端を使って散策した街を全員で制作した。



都市の積み木

イ. パズルのガクガク・アニメーション

講師：グループ・ピース

日時：8月9日, 10日, 16日, 17日

10:30-16:30

参加者数：小学5年以上 16名

正方形の紙をいくつかに切り離し変化させる組み合わせパズルを基本に、形やストーリーが変化してゆくアニメーションをグループ単位で制作した。導入では、組み合わせパズルや知恵の板でその楽しみ方を理解し、並行して一つのストーリーを考えた。正方形や三角などシンプルな基本的形態を切り離し、徐々に変化させて動物や人や風景をつくり8ミリビデオカメラでコマどりした後、音楽や吹き込み

を入れて10分位のアニメーションを完成させた。



パズルのガクガク・アニメーション

ウ. モザイク・モザイク・ランド

講師：榎本 寿紀(ワークショップ・スタッフ)

日時：8月22日, 23日, 24日

10:30-16:30

参加者数：小・中学生 26人

20cm角の四角に切ったダンボールのモザイクカードを作り、線と面で構成して繋ぎの変化を楽しんだ。ダンボールカードのモザイクは、裏表に対角線か円弧で2つに仕切り、2色に塗り分け、各グループ144枚のカードを作成した。このモザイクカードを広げ、脚立に乗って全体をみまわしながら、具象的な形、抽象的な形を構成しモザイク模様のパリエーションを競いあった。最後は隣のグループとカードを取り替えてカラフルなモザイクランドを制作した。



モザイク・モザイク・ランド

エ. 雪の結晶—きずなの秘密

講師：遠藤 裕(立体構成作家)

日時：9月2日、3日

13:30-16:30

参加者数：高校生以上 24名

トイ・コレクション所蔵作家の遠藤氏は、“きずな”シリーズと題して、一つのユニットに紐をかけながらつくる立体を研究している。このコースでは、“きずな”が生まれた過程と、そのシステムの秘密をお話しを交えて公開していただいた。現在少なくなっている“手で考える”ことに触れ、参加者が実際に結晶体を組み上げることにより、基礎造型の基本を再確認する貴重な体験となった。



雪の結晶—きずなの秘密

オ. 一枚の紙から生まれた恐竜の「TAMAGO」

講師：平野 友一(立体構成作家)

日時：9月9日、10日

13:30-16:30

参加者数：高校生以上 14名

トイ・コレクション所蔵作家の平野氏は、グラフィックデザイナーとして活躍している他に、一枚の平面が立体に変化するオブジェ「TAMAGO」を制作している。



一枚の紙から生まれた恐竜の「TAMAGO」

このコースでは、平野氏の制作意図に関するお話しをうかがいながら、切れ目が入った一枚のたまごの紙がどのように変化するか「TAMAGO」から恐竜に展開する過程を体験

した。プテラノドン、トリケラトプス、テラノザウルスなど5種類の恐竜を公開していただいた。

カ. 私の知恵の板(1日ワークショップ番外編)

講師：榎本 寿紀(ワークショップ・スタッフ)

日時：8月19日

10:30-16:30

参加者数：11人

参加者が各々、正方形をタテ・ヨコ・ナナメの線を基本に切り離し、自分独自の組み合わせパズル「知恵の板」をつくり、それでいろいろな形を楽しみながら構成した。

キ. なぞのモザイク(1日ワークショップ番外編)

講師：榎本 寿紀(ワークショップ・スタッフ)

日時：8月26日

10:30-16:30

参加者数：9人

公園、歩道等で足元にあるモザイクの形を集め、組み合わせ、いろいろな形を創った。

ク. 遊びの広場—なぞなぞのかたち(自由参加)

講師：ワークショップ・スタッフ

日時：8月8日、11日、15日、18日、19日、20日、25日、26日、27日、29日、30日、31日、9月1日、2日、3日、9日、10日、15日、16日、17日

13:00-17:00

参加者数：延787人

丸、三角、四角などの色紙を好きな形に切り刻み、並び替えいろいろな楽しい絵を作り鑑賞した。

■からだのワークショップI

からだと話そう！

ア. Mask,Body,Movement—もう一人の自分を見る

講師：吉江 庄蔵(彫刻家)

日時：3月10日、17日、24日

10:30-16:30

参加者数：小学五年生以上 25名

舞踏家土方巽の舞台美術に長いこと関わってきた吉江庄蔵氏を講師に招き、自分の顔・体・動きについて改めて知るという内容で開催したコース。初日は、顔。自分の顔を石膏でとりライフマスクをつくって自分の顔を内側から見る体験を行い、顔のもつ意味を確認した。2日目は、からだ。自分のからだの癖や形を記憶している着古した衣服を持ちより、エントランスホールやワークショップの空間に自由に構成して、身体について論議した。3日目は、白と黒の洋服を各自が身に纏い、白黒のバック紙の前で、動きながら身体の動きの話へと発展させた。



Mask, Body, Movement —もう一人の自分を見る

イ. からだから生まれる形と動き—イメージの身体表現

講師：池宮 中夫(舞踏家)

協力：ノマド

日時：3月20日, 23日, 30日, 31日

10:30-16:30

参加者数：小学3年生以上 23名

現代的なダンスカンパニー「ノマド」を率いる池宮中夫氏とそのグループによる、身体表現の可能性をこころみたコース。所蔵作品展「描かれたからだ」の展示作品から、「お昼の散歩」として、各自が気に入った作品をゆっくり選んで感想を書き、それを元に自分がどのように動けるかを試していった。その導入として、身体をリラックスするために、基本的な呼吸や動作から始まり、音、光、言葉の要素での動きへと発展させ、普段改めて考えることがない身体を意識し、表現活動へと展開させていった。途中、現代のダンス表現についてのスライドレクチャーを挟み、からだの表現の可能性への意識を深めていった。最後には、自分が選んだ1点と向き合い、そのイメージに沿って衣装やメイク、音響を考えて公開ダンスショーを展示室などで開催した。



からだから生まれる形と動き—イメージの身体表現

ウ. 顔でしゃべるカオカオ星人

講師：榎本 寿紀(ワークショップ・スタッフ)

日時：3月27日, 28日

10:30-16:30

参加者数：小学校1年以上中学生 34名

自分の顔を見直すため、生活とは離れた顔の表現にチャレンジ。顔を白塗りし、百面相で表情をつくり、どれだけ顔の筋肉が動かせるか、どんな種類の表情ができるかを試した。展示室では作品の顔の表情を再現するなどお互いの顔の表情を楽しんだ。最後には、言葉を使わないで顔の筋肉だけで表現する小さな劇をおこなった。



顔でしゃべるカオカオ星人

エ. カラダ・コラージュ1・2

講師：大森 裕二(グラフィック・デザイナー)

川村 伸秀(編集者)

日時：3月16日, 4月6日

10:30-17:00

参加者数：大学生以上 35名

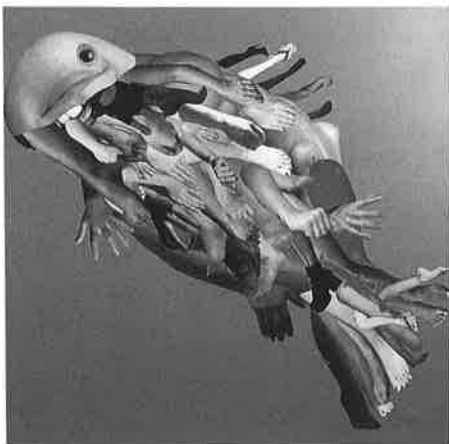


カラダ・コラージュ 1・2

雑誌・グラビアに載っているカラダの写真をバラバラに切抜き、35cm四方のパネルにコラージュした。カラダの写真は、身体の部分としてでなく、あくまでも一つの形としてとらえ、それを構成することで、画面に全く新しい意味を持

たせるような導入を行った。

作品完成の後、カラダの動きにみられる東西の比較などを、演劇表現や民俗習慣の資料によるスライド・ショーを行った。



カラダ・コラージュ 1・2

オ. みんな一緒にギャラリー・ツアー1・2

講師：ワークショップスタッフ

日時：3月26日、4月2日

13:30-15:00

参加者数：9名

体をテーマにした展覧会「描かれたからだ」を鑑賞した。

2. 美術講座

区民等に美術への理解を深めてもらうため、7年度は二幕仕立てとした。Part 1 では染色による色と技法の秘密をめぐる話を中心に三人の染色作家を、Part2 では里見勝蔵展の会場で、画家里見と人間・里見にせまる話を中心に美術評論家等三人を講師に招き、美術講座を5回開催した。

① Part1

●演題：日本の染における色

講師：三浦 景生(京都市立芸術大学名誉教授)

田 孝郎(染織作家)

開催日：12月2日

参加者：48人

●演題：太陽で染める

講師：山口 通恵(京都芸術短期大学助教授)

開催日：12月9日

参加者：31人

② Part2

●演題：里見勝蔵の位置

講師：島田 康寛(京都国立近代美術館学芸課長)

開催日：1月13日

参加者：68人

●演題：里見勝蔵と佐伯祐三

講師：朝日 晃(美術評論家)

開催日：1月14日

参加者：90人

●演題：里見勝蔵というひと

講師：久保 文(翻訳家)

開催日：1月15日

参加者：100人

3. ギャラリーツアー

手と目の冒険広場「積むかたち+組むかたち」、「和の技・洋の心」展開催中区立第三中学校などの生徒・教諭を対象にギャラリーツアーを実施した。

開催日：9月5日

参加者：区立第3中学校1年生から3年生 44人

開催日 9月8日

参加者 区立五本木小学校5年生 59人

開催日 9月12日

参加者 目黒星学園小学校 116人

開催日 9月13日

参加者 区立五本木小学校4年生 60人

開催日 9月14日

参加者 区立菅刈小学校2年生、あすなろ学級 63人

4. 展覧会関連事業

●戦後文化の軌跡1945-1995展

ア. シンポジウム・戦後社会と視覚文化

(ア) 第1部

パネラー：池田満寿夫(美術家)、原 広司(建築家)

藤原 新也(写真家)、三浦 雅士(文芸評論家)

開催日：4月20日

参加者：200人

(イ) 第2部

講演：唐 十郎(劇作家、小説家、俳優)

パネラー：井上 明彦(京都市立芸術大学助教授)

恩地 元子(音楽研究家)、松葉 一清(朝日新聞社学芸部次長、柏木 博(デザイン評論家)、

村上 知彦(まんが評論家)

開催日：4月22日

参加者：179人

(ウ) 第3部

パネラー：浅田 彰、建畠 哲(美術評論家、多摩美術大学助教授)、島田 雅彦(作家)、彦坂 尚嘉(美術家)

開催日：4月23日

参加者：207人

イ. ミュージック・イン・ミュージアム

(ア) 美術するミュージシャン—70年代から80年代へ I

演 奏：早川 義夫+楠 均, 大久保 晋, 渡辺 勝,
森 俊也, 原マスミユニット

開 催 日：5月4日

参 加 者：248人

(イ) 福島泰樹短歌絶叫二十五周年記念コンサート

出 演：福島 泰樹, 石塚 俊明, 菊池 雅志, 龍,
永畑 雅人

開 催 日：5月5日

参 加 者：133人

(ウ) 美術するミュージシャン—70年代から80年代へ II

演 奏：恒松 正敏+VISIONS, 突然段ボール+モー
リー・ロバートソン+チコ・ヒゲ

開 催 日：5月6日

参 加 者：98人

ウ. 映像表現の戦後

開 催 日：4月28日, 29日, 30日, 5月3日

参 加 者：延390人

Ⅲ. 入館状況

展 覧 会 名	会 期	開催日数 (日)	入館者数 (人)		会 場	備 考
			総 数	1日平均		
古茂田守介の全貌展 サウンドワークショップ I	7年3月11日～ 7年4月9日	8 (7年度)	2,383 (7年度)	298 (7年度)	A, B, C, L, W, E	全期間26日 5,130人
戦後文化の軌跡 1945 - 1995	7年4月19日～ 7年6月4日	41	20,545	501	A, B, C, L, W, E, G センター展示場	
土門拳展	7年6月21日～ 7年7月23日	29	24,569	847	A, B, C, L, W, E	
積むかたち+組むかたち II パズル・パズル・アート 和の技・洋の心 多色摺木版による海外現代版画	7年8月5日～ 7年9月17日	38	6,000	158	A, B, C, L, W, E	
エコール・ド・ニース展 画材と素材の引き出し博物館	7年10月6日～ 7年11月10日	31	4,762	154	A, B, C, L, W, E	
生誕百年記念 里見勝蔵展	7年11月18日～ 8年1月15日	44	5,743	131	A, B, C, L, W, E	
めぐろの子どもたち展	8年1月20日～ 8年2月4日	14	9,452	675	A, B, C, L, W, E, G	
目黒区の美術・書 - 1995 -	8年2月10日～ 8年3月3日	20	2,366	118	A, B, C, L, W, E, G	
所蔵作品展IX 描かれたからだ からだのワークショップ I	8年3月9日～ 8年4月7日	20 (7年度)	1,070 (7年度)	54 (7年度)	A, B, C, L, W, E	全期間26日 1,515人
合 計		245	76,890	314		

注 A = 展示室 A, B = 展示室 B, C = 展示室 C, L = 展示ロビー, W = ワークショップ室, E = エントランスホール, G = 区民ギャラリー

IV. 作品収集

●目黒区美術館資料収集基本方針

目黒区美術館資料の収集については、優れた美術作品(以下「作品」という。)と、その理解を深めるうえで補助的な役割を果たし得る資料(以下「補助資料」という。)を、次の項目により計画的に収集する。

記

1. 近代から現代に至るわが国の美術の流れを体系的に理解するうえで有益な作品
2. 作品の成立する過程、素材および技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品および補助資料
3. その他、目黒区美術館の所蔵品としてふさわしい作品および補助資料

収集対象

作 品 平面(洋画, 日本画, 素描, 版画, 書など)

立体(彫刻, 工芸など)

映像(写真, 映画, ビデオなど)

補助資料 素材・工程・技法などに関わる補助資料

作品制作に関わる書簡, 日記など

上記収集に関わる文献

●収蔵作品件数

年 度	平 面	立 体	映 像	工 芸	コレクション	計
昭和56～平成6	561	15	10	12	1	599
平成7	266	5			1	272
計	827	20	10	12	2	871

平成7年度 収蔵作品一覧

○購入作品

作 家 名	作 品 名	制作年	寸 法(cm)	素 材
伊原 宇三郎	カナベの女	1926	89.3×145.5	油彩・キャンバス
太田 喜二郎	風景(仮題)	1908-13	65.2×50.1(15P)	油彩・キャンバス
石橋 和訓	裸婦習作	1905頃	90.5×50.0	油彩・キャンバス
三輪 四郎	裸体習作	1923-4	73.3×59.3	油彩・キャンバス
成井 弘	上海裏夜景	1950	53.5×45.5(10F)	油彩・キャンバス
成井 弘	静物	1951	45.5×53.3(10F)	油彩・キャンバス
成井 弘	ルクサンプール公園	1954	45.7×38.0(8F)	油彩・キャンバス
成井 弘	時計台のある風景	1954	53.4×33.5(10M)	油彩・キャンバス
成井 弘	マロニエの花の咲く頃	1954	45.7×38.0(8F)	油彩・キャンバス
成井 弘	花	不明	45.7×33.3(8P)	油彩・キャンバス
若林 奮	銅版画集 52記	1995		銅版 9/52
高野 三三男	ヴァイオリンのある静物	1937頃	65.5×80.5(25F)	油彩・キャンバス
マニユエル・ブリュッケル出版特集版画集(49冊揃)		1938-63	版画限定150~250	

○寄贈作品

作 家 名	作 品 名	制作年	寸 法(cm)	素 材
槻尾 宗一	吊花器 (Cat.No.96)	1955-59	h. 34.215.2×13.7	鉄
槻尾 宗一	花器 (Cat.No.95)	1955-59	h. 28.0d.11.4	鉄
槻尾 宗一	鉄花器 (Cat.No.93)	1957	h. 122.2d.39.4	鉄
槻尾 宗一	花器 (Cat.No.94)	1958	h. 110×32.4	鉄
槻尾 宗一	ユニット花器 (Cat.No.91)	1995	h. 129.610ピース/ 各h.32.9×18.7	鉄
高野 三三男	253点			油彩等

V. 作品等貸出

○作品貸出

作 品 名	作 家 名	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名
肉屋 車中の女 女	清水登之 野田英夫 北川民次	7.4.15～7.6.10	練馬区立美術館	アメリカン・シーンの日本人画家たち
母と子 リュクサンブール公園	青山義雄 青山義雄	7.5.1～7.6.25	茨城県近代美術館	中村彝賞記念・青山義雄展
詩画集『卵』 プロフィールのこだま：積層	日和崎尊夫 宇佐美圭司	7.4.8～7.11.20	朝日新聞社 (広島市現代美術館, 兵庫県立近代美術館 福岡県立美術館)	戦後文化の軌跡 1945 - 1995
セーヌ河 花売り 幕合 五人	岡田謙三 岡田謙三 岡田謙三 岡田謙三	7.6.20～7.8.10	愛媛県立美術館	岡田謙三展
雪景 女	里見勝蔵 里見勝蔵	7.7.12～8.3.15	京都国立近代美術館 鳥取県立博物館 郡山市立美術館 美術館連絡協議会 読売新聞大阪本社	情熱の画家・フォーヴの旗手 「生誕100年記念 里見勝蔵展」
食卓	高島達四郎	7.7.27～7.9.30	宮城県美術館	家族の肖像－日本のファミリーポートレート－
五人の少女	安原喜明	7.8.9～7.12.18	東京国立近代美術館	生活の中の工芸展
戦争A－鎮魂歌－思い出す人々 戦争B－文明の没落 ゴーゴーガール 黒猫と少女	飯田善國 飯田善國 今井俊満 今井俊満	7.9.9～7.10.30	練馬区立美術館	「現代美術の手法(1) －コラージュ」展
浴室の二人の女	坂田一男	7.9.12～7.11.15	群馬県立近代美術館	「絵の中の女たち」展
無限の網 B	草間彌生	7.9.13～7.12.	東京都現代美術館	レボリューション/ 美術の60年代
少年 青帽	高島達四郎	7.9.26～7.12.10	尾道市立美術館	小林和作と美の交友－梅原龍三郎から須田国太郎まで
大砲のある静物	福沢一郎	7.9.27～7.11.21	富岡市立美術博物館 福沢一郎記念美術館	「福沢一郎と昭和初期の洋画」展
信号台	岡鹿之助	7.10.11～7.12.1	上野の森美術館	「長谷川潔・岡鹿之助」二人展
時間層	岩井俊雄	7.11.28～8.1.28	東京都写真美術館	「映像工夫館 作品展 ムーヴィングイメージ 映画発明100周年
1964年頃	三上 誠	7.12.11～8.4.13	東京都現代美術館	「よみがえる1964年」展 (仮称)
アルルカン	矢橋六郎	8.3.25～8.7.24	神奈川県立近代美術館 兵庫県立近代美術館	「サーカスがやって来た！」展
時間層	岩井俊雄	8.2.7～8.8.24	Museum of Contemporary Art	「PHANTASMAGORIA： Pre-Cinema to Virtuality」

○教育普及用教材貸出

教 材 名	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名
予兆一光 (スライド, 榎倉康二作)	7.11.28~7.12.20	東京藝術大学美術学部附属 写真センター	「写真で語る」IV展
画材の引き出し博物館 1 天然顔料 [天平の色-日本画] 2 天然顔料 [現代の天然岩絵具-日本画] 19 筆 [日本画] 20 刷毛 [日本画]	7.11.28~8. 1.10	板橋区立美術館	「こどものためのびじゅつかん」展
素材の引き出し博物館-金属 1 いろいろな金属-鉱石と金属 1 2 いろいろな金属-鉱石と金属 2 3 金属の表情-表面処理 1 4 金属の表情-表面処理 2 5 金属の特性-展延性 1 6 金工技法 3 - 鋳金 11 金工技法 4 - 鍛金 12 金工技法 5 - 鍛造 13 さわれる金属 1-遊 14 さわれる金属 2-音 15 さわれる金属 3	8. 2.13~8. 4. 2	滋賀県立近代美術館	「冒険美術-大地のささやき」展

VI. 刊行

1. ピリエ(目黒区美術館ニュース)

目黒区美術館では、美術館活動の広報を目的に、美術館ニュース「ピリエ」を発行している。「ピリエ」(Piliers)は、フランス語で「柱、支柱」あるいは「支柱となる人、物」のことで、当館のエントランスホール正面にある4本の柱を意味している。

第12号

発行：1995年9月1日

サイズ：A4

ページ数：4頁

第13号

発行：1996年3月25日

サイズ：A4

ページ数：6頁

2. 目黒区美術館年報 平成6年度

発行：1996年3月31日

サイズ：A4

ページ数：64頁



ピリエ No.12



ピリエ No.13



年報平成6年度版

VII. 区民ギャラリー

展 覧 会 名	期 間	延日数	主 催 者	入場者数
かたちなきかたち	7. 4. 4～7. 4. 9	6	武蔵美工芸工業デザイン科 五師 魂	250
碧 -日本画6人展-	7. 6. 8～7. 6.11	4	中川牧子	150
フェノメナン展	7. 6. 8～7. 6.11	4	中嶋精次	75
ATELIER EBIS 展	7. 6.13～7. 6.18	6	ATELIER EBIS 斎藤典久	250
三人展	7. 6.20～7. 6.25	6	平川佐織	200
18人展	7. 6.27～7. 7. 2	6	柳楽雄平	320
第11回コンテンポラリーアート展	7. 7. 4～7. 7. 9	6	コンテンポラリーアート協会 小野友之	306
結合	7. 7.11～7. 7.16	6	平原 祐	95
目黒イーゼル会展	7. 7.11～7. 7.16	6	目黒イーゼル会 天野政雄	350
第38回「明日への手」児童美術展	7. 7.18～7. 7.23	6	芸術による教育の会 寺尾	1,790
目黒区勤労者美術展	7. 7.25～7. 7.30	6	目黒区 勤労福祉会館	378
らゆう会展	7. 8. 1～7. 8. 6	6	らゆう会 天野政雄	290
恭栄書道展	7. 8. 8～7. 8.13	6	恭栄書道院 屋代友規	700
CROQUIS & 油彩展	7. 8.15～7. 8.20	6	三堀和男	250
More Textile	7. 8.22～7. 8.27	6	武蔵美工芸工業デザイン科 羽鳥明子	285
翠粋酔展	7. 8.29～7. 9. 3	6	片岡利郎	160
三人展 -空即是色-	7. 8.29～7. 9. 3	6	中川雅代	150
目黒区美術家協会展	7. 9. 5～7. 9.10	6	目黒区美術家協会 天野政雄	350
ひまわりの種展	7. 9.12～7. 9.17	6	山本園子	128
ばんち展	7. 9.12～7. 9.17	6	望月比呂子	150
パラディゾ～南国より～ スタジオ・ポートレート	7. 9.19～7. 9.22	4	片山ともみ	85
水耀会展	7. 9.19～7. 9.22	4	水耀会 植山 豊	180
区民作品展 (美芸作家協会)	7. 9.23～7.10. 1	9	目黒区 美芸作家協会	1,731
欣成会・久根会 第2回 書画展	7.10. 3～7.10. 8	6	欣成会 出水田久子 久根会 相原映美	400
ひろはたゆうこの版画と仕事展	7.10.10～7.10.12	3	廣島裕子	100
第30回 目黒区文化祭 「自主グループ発表会」	7.10.13～7.10.15	3	目黒区目黒区文化団体連合	450
えふけい水彩画展	7.10.17～7.10.22	6	えふけい会 秋本不二春	450
佐渡版画村・もくめ会交流展	7.10.24～7.10.29	6	もくめ会 鈴木 普	700
佐渡版画村・もくめ会交流展	7.10.31～7.11. 5	6	佐渡版画村美術館 高橋 保	500
花展 花結	7.11. 7～7.11.12	6	篠塚春尚	220
DAMY'S	7.11.14～7.11.16	3	新堂大介	92
墨洋書道展	7.11.14～7.11.16	3	墨洋会 橋本秋蛙	173
第30回目黒区文化祭 「茶道華道展覧会」	7.11.17～7.11.19	3	目黒区社会教育課	1,065
第30回目黒区文化祭 「ユネスコ美術展」	7.11.21～7.11.26	6	目黒区社会教育課	380

展 覧 会 名	期 間	延日数	主 催 者	入場者数
和紙絵展	7.11.28～7.12. 3	6	豊園会 中村裕子	715
氷魚（ひを）	7.11.28～7.12. 3	6	船山佳苗	250
第七十五回 立正大学書道展	7.12. 5～7.12.20	6	松本吉宗	50
すごい勢いで泳ぐ	7.12. 5～7.12.10	6	相野谷威雄	184
I am ...	7.12.12～7.12.17	6	松浦 孝	220
6 HASARDS - 6つの偶然 - 展	7.12.12～7.12.17	6	河内孝夫	140
堤慶展	7.12.19～7.12.24	6	堤 慶	192
超猿	7.12.19～7.12.24	6	三好友晴	125
こたつ座談会式展覽まつり大会	7.12.26～7.12.27	2	富岡明子	93
新春 50 人展 '96 「創るのが好き！」	8. 1. 5～8. 1. 7	3	鷹美術 与儀ユキ子	242
二人展	8. 1. 9～8. 1.15	7	佐藤拓人	350
「締め」多摩美術大学卒業制作展	8. 3. 5～8. 3.10	6	多摩美大芸術学科 船渡川由夏	200
キューバ現代美術展 蒼い空・碧い海・緑の島で	8. 3.12～8. 3.17	6	目黒区国際室	350
EXHIBITION!	8. 3.19～8. 3.24	6	市毛友一郎	100
緑が丘写真クラブ 第5回作品展	8. 3.19～8. 3.24	6	緑が丘写真クラブ 高梨隆太	350
吉村格与と仲間たち アメリカン・パッチワーク・キルト展	8. 3.26～8. 3.31	6	吉村格与	473
合 計		274		17,187

VIII. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきた。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくため、ボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)運営、ワークショップ活動補助等を行うことを中心に、幅広い活動を目指している。

1. ボランティア数 67名

2. 活動内容

(1) ラウンジ運営

活動時間：午後0時30分から4時30分まで
(ラウンジ営業時間は午後1時から4時まで)

当番：原則として2名

(2) ワークショップ講座アシスタント

ワークショップ・手と目の冒険広場「積むかたち＋組むかたちⅡパズル・パズル・アート」

*どなたでもワークショップ・遊びの広場
「なぞなぞのかたち」

内容：丸、三角、四角などの色紙を好きなかたちに切り刻み、並びかえて絵を作った。

日時：8月8, 11, 15, 18, 19, 20, 25, 26, 27, 29, 30, 31日, 9月1, 2, 3, 9, 10, 15, 16, 17日 全20日

参加者数：27名(延べ95名)

(3) 作品カード整理, 資料整理

作品カードの写真の貼り替えとチラシ等の整理を行うボランティアを募集した。

期間：作品カード整理 7年11月～8年2月

資料整理 7年11月～継続中 毎月1回

参加者数：作品カード整理 6名

資料整理 2名

(4) チラシ等の発送作業 年6回

(5) トイコレクションアウトリーチ活動

不動児童館に2回出かけ、試験的に実施した。

(6) その他

懇親会等実施

3. 年間活動記録

7年 4月15日 懇親会

7月15日 展覧会鑑賞会「土門拳展」

解説：重田誠(学芸員)

8月19日 展覧会鑑賞会「和の技・洋の心」

解説：矢内みどり(学芸員)

9月23日 美術館見学会 向井潤吉記念館

参加者数：13名

9月26日 コーヒ教室

参加者数：20名

10月6日 館長講演「美術館よもやま話」

展覧会鑑賞会「エコール・ド・ニース」

解説：中村隆夫(評論家)

参加者数：25名

10月～ 曜日別美術館見学会

11月 参加者数：6班42名

11月25日 展覧会鑑賞会「里見勝蔵展」

解説：山田敦雄(学芸員)

11月29日 バスツアー

神奈川近代美術館, 鎌倉国宝館

参加者数：28名

8年 1月29日 全国博物館ボランティア研究協議会

(主催・国立科学博物館)

参加者数：4名

2月22日 美術館見学会 東京農工大学繊維博物館

参加者数：3名

3月23日 平成7年度総合会議

参加者数：40名



トイコレクション アウトリーチ活動



ボランティア総会

IX. 名簿

(1) 財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同, 平成8年3月31日現在)

役職	氏名	備考
理事	田中 立久	目黒区助役
〃	平尾 眞	目黒区教育委員会教育長
〃	中島 巖	(財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
〃	内山 武夫	東京国立近代美術館次長
〃	加藤 玲子	目黒ユネスコ協会会長
〃	望月千世子	弁護士
〃	小角 勝美	目黒区教育委員会生涯学習部長
〃	福永 重樹	目黒区美術館長
監事	松田 幸夫	目黒区工業団体連合会会長
〃	石田 寛治	目黒区収入役

(2) 財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同, 平成8年3月31日現在)

役職	氏名	備考
評議員	今井 礼子	目黒区議会議員
〃	下岡 興治	目黒区議会議員
〃	森 美彦	目黒区議会議員
〃	川崎恵利子	目黒区議会議員
〃	福田 富夫	前目黒区教育委員会委員長
〃	岩内 豊鯨	目黒区立第十一中学校長
〃	平島 明	目黒区立菅刈小学校長
〃	深美 成男	都立芸術高等学校長
〃	赤穴 宏	洋画家
〃	岩壁富士夫	日本画家
〃	續木 敏郎	書作家
〃	安原 喜孝	陶芸家
〃	岡田 嘉子	目黒区子ども会連合会副会長
〃	山下 愛子	目黒区婦人団体連合会会長
〃	谷田 泰司	目黒区住区住民会議連絡協議会
〃	望月 昇	目黒区文化団体連合会常任理事
〃	黛 政男	目黒地区労働組合協議会副議長

(3) 目黒区美術館資料収集委員会

(順不同, 平成8年3月31日現在)

役職	氏名	備考
委員長	三木 多聞	徳島県立近代美術館長
委員	桑原 住雄	武蔵野美術大学教授
〃	細野 正信	山種総合研究所美術館開設準備室長
〃	長谷部満彦	福島県立美術館長
〃	真室 佳武	東京都美術館副館長

X. 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号

地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区

敷地面積：2,033.53m²

建ぺい率：66.45%

容積率：199.61%

構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造

地上3階・地下1階

建物高さ：17.89m

延床面積：4,059.21m²

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ(乾式工法)

工期：着工昭和60年12月2日

竣工昭和62年3月31日

設計・監理：株式会社日本設計事務所

建築：株式会社竹中工務店東京本店

空調設備：株式会社朝日工業社本店

衛生設備：足立工業株式会社東京支店

電気設備：中国電気工事株式会社東京支店

昇降機設備：横浜エレベータ株式会社

●面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10m²

展示室B：170.46m²

展示室C：65.80m²

展示ロビー：44.80m²

ワークショップ：148.47m²

廊下・階段・その他：203.17m²

小計：951.8m²

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53m²

控室：14.5m²

区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82m²

小計：592.85m²

研究調査

資料室：102.79m²

修復室：46.09m²

小計：148.88m²

収蔵

収蔵庫A：408.36m²

収蔵庫B：53.85m²

前室：48.53m²

荷解室：62.58m²

搬出入口：56.57m²

展示用具室：73.40m²

エレベーター・倉庫・その他：229.63m²

小計：932.92m²

管理

事務室：58.05m²

館長室：32.47m²

理事長室：24.58m²

中央管理室：20.64m²

休養室：24.29m²

ワークショップ準備室：31.36m²

映像準備室：14.40m²

廊下・階段・その他：178.18m²

小計：383.97m²

ホール等

エントランス：169.85m²

ラウンジ：55.84m²

ベビーコーナー：5.27m²

廊下・その他：343.58m²

小計：574.54m²

機械室等

機械室：277.14m²

電気室：67.59m²

エレベーター機械室・自家発電電気室・その他：129.52m²

小計：474.25m²

合計：4,059.21m²

XI. 沿革

- 昭和45年 長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
- 昭和54年 7月 長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定
12月 美術館開設準備室設置
- 昭和55年 3月 目黒区美術博物館建設検討委員会設置
4月 「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
- 昭和56年 1月 目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」
3月 目黒区美術博物館建設専門委員設置
4月 目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定
11月 目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定
- 昭和57年 2月 博物館併設構想から美術館単独構想へ変更
3月 第一回資料収集委員会開催—資料収集を開始
10月 区制施行50周年記念事業に位置づけ
- 昭和59年 2月 目黒区美術館(仮称)基本構想策定(58年6月策定開始)
10月 目黒区美術館(仮称)基本設計策定
- 昭和60年 3月 目黒区美術館(仮称)実施設計策定
6月 目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
8月 目黒区美術館開設準備顧問就任
目黒区美術館マーク制作
11月 「プレビュー・目黒区美術館」展開催(11/12-11/17)
12月 目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)
- 昭和61年 7月 美術館管理運営の財団委託方針決定
9月 「プレビュー・目黒区美術館2」展開催(9/9-9/15)
12月 目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
- 昭和62年 3月 「目黒区美術館条例」公布
4月 目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
10月 財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
11月 目黒区美術館開館(11/15)

XII. 案内

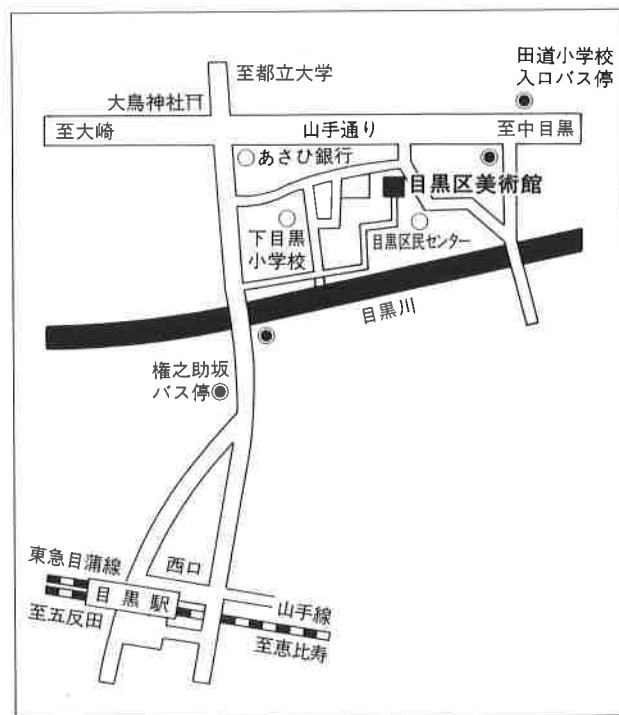
観覧時間：午前10時—午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日：月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)

年末年始

観覧料：展覧会ごとにその都度定める。



交通案内：

- J R 山手線目黒駅(西口)，東急目蒲線目黒駅より徒歩10分
- バス，渋谷駅より東急 渋41—大井町駅行，田道小学校入口下車3分

目黒駅より東急，都営

- 黒01—大岡山小学校行
 - 黒02—二子玉川園行
 - 黒06—三軒茶屋行
 - 恵73—弦巻営業所行
 - 東98—等々力操車場行
- 権之助坂下車
下車3分

平成7年度

目黒区美術館年報

1997年3月25日発行

編集・発行—目黒区美術館

〒153 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201(代)

印刷——(株)大塚工芸